

平成 17 年度 経済産業省委託
環境問題対策調査等委託費

循環型経営促進基盤整備事業

環境配慮設計普及状況基礎調査 報告書

平成 18 年 3 月

財団法人 製造科学技術センター
インバース・マニュファクチャリングフォーラム

概要

本調査では、環境配慮設計について、その概念や実践に関する普及状況を、キーワード検索、ヒアリングによって調査した。

キーワード検索では、環境報告書、新聞記事、雑誌記事を対象とした。環境報告書では、業種ごとにキーワードの出現頻度を整理し、企業の中での普及状況を把握した。新聞記事、雑誌記事では、マスメディアにおけるキーワードの使用状況を調べた。全体として、一般的な環境関連のキーワードと比較すると、環境配慮設計に関するキーワードの使用頻度は概ね低い傾向にあった。環境配慮設計が比較的多く使用されているのは、環境報告書では製造業であり、新聞記事では経済紙や工業新聞、雑誌記事においては日経エコロジーなどであった。

また、企業の環境関連部署担当者へのヒアリングにより、キーワードの普及度、実践度について調査した。この調査でも製造業に加えて、直接的または間接的に製造業の環境配慮設計の実施に影響を与えている様々な業種における状況を調べた。結果として、環境配慮設計に関するキーワードの認知度は一般的な環境キーワードと比較すると低い傾向にあるものの、メディアでよく取り上げられるキーワードや、法律に関連するキーワードは認知度が高かった。また、製造業でも、中小企業やセットメーカーに部品を納入するサプライヤーでは実践が難しうである。

さらに環境配慮設計における先進企業数社については、環境配慮設計のプロセスについて詳細にヒアリングし、実態を把握した。先進的な企業の多くは最終製品メーカーであり、従来の品質を作りこむプロセスに環境配慮を組み込んで進める体制が整っている。こうしたメーカーはサプライヤーに対しても、納入部品への環境への配慮の取り組みを求めることもある。

全般的に環境配慮設計は製造業では普及し始めており、その重要性を認識している企業が多いが、環境配慮設計が受容され、環境配慮製品の需要が高まるような社会的な条件が整うことを求めたり、企業単独での取り組みの難しさを感じている企業があったりするなど、今後の普及に関しての課題も明らかとなった。

はじめに

インバース・マニュファクチャリングは、循環型社会において、製造業が、大量生産／大量廃棄から、適量生産／再利用へ移行するために、目指すべき「もの作りシステム」として吉川弘之氏（当時東京大学総長）が提唱したものである。このシステムは、通常の製造プロセスに加えて、製品の長寿命化や、使い終わった製品からの部品／原料を得る逆プロセスを含む循環型の製品ライフサイクルを実現するものであり、また、製品ライフサイクル全体を通じて、環境負荷を最少にする製造システムと言い換えることもできる。

インバース・マニュファクチャリングフォーラムは、この、インバース・マニュファクチャリングを実現するために、1996年に、産業界、行政、大学等の研究機関が協調して設立した組織で、財団法人製造科学技術センターに事務局をおいている¹。

インバース・マニュファクチャリングフォーラムでは、創設以来、インバース・マニュファクチャリングコンセプトの確立、アップグレード可能な家庭用情報端末機器の試作、製品リサイクル情報システムプロトタイプ運用などを行ってきている。とくに、製品のライフサイクルについての設計、管理はインバース・マニュファクチャリングの中心課題の一つであり、その中の重要項目である環境配慮製品設計の製造業における実施状況については、従来から注目していたものである。

今回の、環境配慮設計普及状況基礎調査では、経済産業省から、財団法人製造科学技術センターが受託して、インバース・マニュファクチャリングフォーラムのメンバーから成る、「環境配慮設計普及度調査委員会」を結成し、調査検討の指導／助言を行った。さらに、製造業における環境配慮設計の実施状況について、委員自らが企業ヒアリングを行い、要点のとりまとめにあたった。なお、キーワード分析、環境配慮設計の普及状況調査の一部については、(株)イーエムエスアイが分担した。

日本の製造業が、国際競争力を発揮できるようにするためにも、より高度な環境配慮設計を実施できるよう、今回の調査結果を活かして、今後の改善、改良への提案や、環境配慮設計の先進的な事例の水平展開を進めて行く事が必要である。

なお、今回の調査では、多くの企業の環境報告書を参照させて頂いた。また、キーワードの浸透状況や環境配慮設計の実施状況につき、具体的にヒアリングを行っており、本報告書にはこれらの要約を、企業名を伏せて記載してある。末尾ながら、調査にご協力いただいた企業への謝意を表記する。

¹ インバース・マニュファクチャリングフォーラム ホームページ
<http://www.mstc.or.jp/inverse/main.htm>

環境配慮設計普及度調査委員会

委員長	梅田靖	大阪大学大学院 工学系研究科 機械工学専攻 教授
委員	岡村宏	芝浦工業大学 システム工学部 機械制御システム学科 教授
	藤本淳	東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授
	山際康之	東京造形大学 造形学部 特任教授
	増井慶次郎	産業技術総合研究所 先進製造プロセス研究部門 主任研究員
	小林英樹	(株) 東芝 研究開発センター 主任研究員
	吉田啓一	松下電器産業 (株) 環境本部 参事
オブザーバ	遠藤薫	経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課 課長補佐
	土屋博史	経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐
	中桐裕子	経済産業省 製造産業局 産業機械課 技術係長
	秦智之	(株) イーエムエスアイ サステナビリティ・ディビジョンマネージャー
事務局	高橋慎治	(財) 製造科学技術センター 生産環境室 主席研究員
	間野隆久	(財) 製造科学技術センター 調査開発部 課長代理

目次

第1章 背景と目的	1
第2章 キーワードの使用状況.....	3
2.1. 環境報告書	4
2.2. 新聞記事	12
2.3. 雑誌記事	32
第3章 環境配慮設計の普及状況に関するヒアリング	55
3.1. 調査方法	55
3.2. 調査結果	59
3.3. 調査結果の分析.....	60
3.4. まとめ	68
第4章 環境配慮設計プロセスの実際.....	71
4.1. ヒアリングによる調査の内容.....	71
4.2. ヒアリング結果.....	76
4.3. ヒアリング結果のまとめ.....	98
第5章 まとめと展望.....	103
5.1. まとめ	103
5.2. 環境配慮設計の普及のために.....	105
5.3. 今後の課題と展望.....	106

第1章 背景と目的

近年わが国では、環境意識の社会的高揚と循環型社会基本計画を初めとする行政の取り組みなどにより、製造業において環境に配慮した製品づくりが積極的に進められるようになってきている。今後も、二酸化炭素削減の必要性増大や天然資源の逼迫等により、ますます環境配慮設計の重要性が高まるものと考えられる。

しかしながら、現在の環境配慮設計の現状としては、省エネ設計や3R（リデュース、リユース、リサイクル）設計、有害物質使用量の削減といった個々の環境側面を捉えたものが多く、製品ライフサイクルの最適化という視点では未だ十分な検討が行われているとはいえない状況ではないだろうか。

そこで、日本国内における環境配慮設計の現状把握と情報共有化及び今後の環境配慮設計の推進向上施策検討の資料とするため、本調査を行うこととなった。

関連調査としては、平成16年度の調査「循環ネットワーク整備事業—環境配慮情報提供の現状調査」（経済産業省、平成17年3月）がある。この調査では、環境報告書、雑誌、新聞記事での環境配慮情報提供に関するキーワードの使用状況およびその文脈を調査しており、環境報告書では「環境効率」「環境配慮型製品」「環境配慮製品」「環境配慮設計」の使用頻度が高く、電気機器、精密機器・その他製造、化学・医薬品などのグローバル化が進んでいる業種での使用頻度が高いとされている。また、環境報告書においては、エンドユーザが一般消費者で環境の取り組みが企業評価や企業価値につながると考えている企業での「環境配慮型製品」「環境配慮製品」の使用が多いとされている。また、環境専門誌のキーワード検索により、キーワードの引用頻度はその専門誌の専門領域に依存すること、特集記事の有無もキーワードの使用に大きく影響するとされている。この調査では、環境報告書での環境配慮設計などのキーワードの引用が無い業種や企業があること、環境専門誌での環境配慮設計等の概念や指標の普及、浸透がまだ十分なレベルにあるとはいえないと結論付けられている。課題として環境報告書でのキーワードの使用の無い業種での取り組みの調査やサンプル数を増やしての調査などがあげられている。

本調査では、昨年度の課題も踏まえ、以下の方法で環境配慮設計に関するキーワードの調査を行った。

- 環境配慮設計に関するキーワードの検索（環境報告書、新聞、雑誌）
- 環境配慮設計に関するキーワードの普及状況と実践に関するヒアリング
- 環境配慮設計のプロセスの実態に関するヒアリング

環境報告書の調査では、昨年度の結果を踏まえ、関連キーワードの使用状況との比較、2004年度と2005年度の環境報告書でのキーワード使用の状況の変化などを探った。また、新聞記事でのキーワード検索によって、一般に接する機会の多いメディアでのキーワードの使用状況を探った。環境配慮設計に関するキーワードの普及状況と実践に関するヒアリングでは、環境報告書でのキーワード使用の少ない業種も調査範囲として、環境報告書の記述のみにとらわれない環境配慮設計や環境一般への取り組みに関してのキーワードの認知度や実践についての聞き取りを行った。また、環境配慮設計の先進的な取り組みや成功事例として、電気・電子機器、自動車などの企業における環境配慮設計の実際のプロセスについてのヒアリングも行った。

なお、本報告書中の調査結果における業種は、日本標準産業分類の大分類を参考にし、中分類については各調査結果に合わせた分類としている。

第2章 キーワードの使用状況

本章では、環境配慮設計の考え方や実践の普及状況を環境報告書、新聞記事、雑誌記事におけるキーワードの使用状況からまとめる。環境配慮設計の普及状況を他の環境に関連するキーワードの使用状況との比較から検討できるよう、関連キーワードの使用状況もあわせて調査した。

調査の対象とした環境配慮設計の関連キーワードは以下のとおりである。

- 環境配慮設計、エコデザイン、DfE (Design for Environment)
- 環境配慮型製品、環境配慮製品、環境配慮型商品、エコプロダクト (エコプロダクツ)、グリーンプロダクト (グリーンプロダクツ)
- 環境配慮情報
- 環境効率、エコ・エフィシェンシー
- ファクター (ファクターX, ファクター10 など)
- ライフサイクルアセスメント、LCA (Life Cycle Assessment)
- ライフサイクル設計、ライフサイクルデザイン、LCD (Life Cycle Design)
- ライフサイクルマネジメント、ライフサイクル管理

また、環境配慮設計との普及状況の比較のために調査した関連キーワードは以下のとおりである。

- 廃棄物・リサイクルガバナンス
- 環境リスクマネジメント、環境リスク管理
- 地球温暖化、京都議定書、COP
- 環境マネジメント
- ISO 14001 (ISO 14000)
- 3R、リデュース、リユース、リサイクル
- エコラベル、エコマーク、エコリーフ

2.1. 環境報告書

環境報告書、社会・環境報告書、サステナビリティ報告書、CSR 報告書などにおける環境配慮設計に関するキーワードの使用状況をまとめる。

2.1.1. キーワード検索対象

社会・環境報告書データベース 2005²に掲載されている企業・団体の環境報告書を調査対象として環境報告書におけるキーワード検索を行った。調査対象企業については、本調査を実施した 2005 年 12 月時点での掲載企業である。このグループを、グループ A とする（図 2-1）。

社会・環境報告書データベース 2005 に掲載されている企業・団体については、2005 年度の環境報告書とあわせて 2004 年度の環境報告書も調べている。グループ A では、環境配慮設計に関するキーワードの使用状況を一般的な環境関連のキーワードの使用状況と比較するため、一般的な環境関連のキーワードについても使用状況を検索している。

また、2004 年度の環境報告書については、2004 年版の環境報告書にけるキーワード使用状況を調査した平成 16 年度調査におけるキーワード検索結果データも参照できることから、特定のキーワードについては、前述の社会・環境報告書データベース 2005 での 2004 年度版の検索結果データとあわせて、2004 年度版と 2005 年度版でのキーワード使用状況の違いについて検討する際に利用する。2004 年度版と 2005 年度版での使用状況の変化をより広く把握するため、社会・環境報告書データベース 2005 に掲載されておらず、平成 16 年度調査の対象であった企業については、キーワードを平成 16 年度調査とあわせて 2005 年度の環境報告書におけるキーワード検索を行っている。このグループをグループ B とする（図 2-2）。

また、2005 年度の環境報告書については、環境報告書プラザに掲載されている企業の一部について、グループ B のキーワードと同じキーワードで検索を行った（グループ C、図 2-3）。

² 社会・環境報告書データベース 2005: <http://www.ecorepo.com/php/index.php>
調査対象企業は付録 1 に示す。

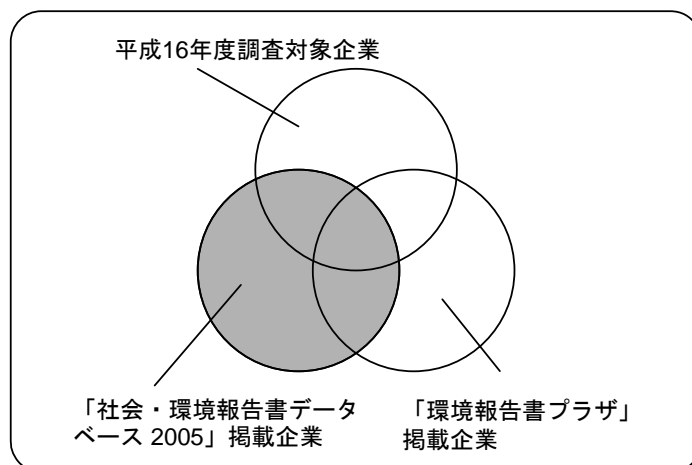


図 2-1: キーワード検索対象企業 (グループ A)

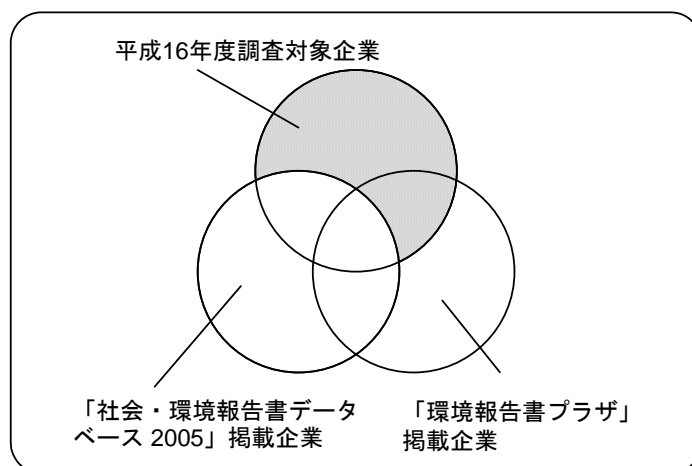


図 2-2: キーワード検索対象企業 (グループ B)

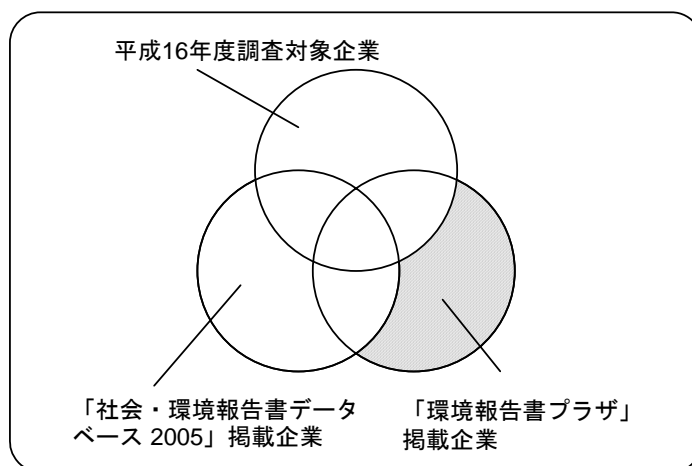


図 2-3: キーワード検索対象企業 (グループ C)

調査した企業の業種ごとの数を以下に示す。

調査対象企業数 (A、B)	企業数
製造業	230
建設業	19
電気・ガス・熱供給・水道業	15
情報通信業	9
運輸業	10
卸売・小売業	24
金融・保険業	6
不動産業	2
飲食店、宿泊業	3
サービス業	1
公務	1
合計	320

調査対象企業数 (C)	企業数
製造業	13
情報通信業	1
建設業	2
卸売・小売業	1
合計	17

2.1.2. 検索結果

グループ A では、一般的な環境関連のキーワードと環境配慮設計に関するキーワードの出現傾向が明らかになった。業種を問わず、「地球温暖化」、「京都議定書」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リサイクル」のキーワードの出現回数が多かった。製造業においては環境配慮設計に関連するキーワードの出現も多かった。年別の特徴としては、11 業種中 7 業種で、「京都議定書」の出現回数が増加した。

グループ B および C では、環境配慮設計に関するキーワード間での出現傾向が明らかになった。「エコプロダクト」、「環境効率」、「ファクター」といったキーワードが多く出現している。環境配慮設計に関するキーワードでは、「環境配慮設計」の出現回数がやや多かった。環境配慮製品に関するキーワードでは、「エコプロダクト」が最も多く、次いで「環境配慮型製品」が多かった。「グリーンプロダクト」は情報通信業のみで出現した。「環境効率」が、5 業種中 4 業種で出現したが、「エコ・エフィシエンシー」は出現回数ゼロだった。

■ グループ A、B

グループ A では、環境配慮設計に関するキーワードに加えて、一般的な環境関連のキーワードの使用状況を調べた。この結果を表 2-1 に示す。

全体として、「地球温暖化」、「京都議定書」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リサイクル」の 5 つのキーワードで出現回数が突出していた。

製造業では、「地球温暖化」、「京都議定書」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リサイクル」のキーワードの出現回数が多かった。年度別で見ると、「京都議定書」の出現回数が著しく増加した。これは、2005 年 2 月に京都議定書が発効した影響があると考えられる。

「LCA」、「ライフサイクルアセスメント」は、環境配慮型設計や環境配慮型製品に関するキーワードの出現回数よりも少なかった。「環境配慮設計」関連と「環境配慮製品」関連で比較すると、製品関連のキーワードの出現回数の方が高い傾向にあった。「廃棄物・リサイクルガバナンス」は 2004 年では出現しなかったが、2005 年には「DfE」よりも出現回数が多くなっている。

建設業では、「地球温暖化」、「京都議定書」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」の出現回数が比較的多かった。「環境配慮設計」も比較的多かったが、「地球温暖化」等と比較するとやや少なかった。

電気・ガス・熱供給・水道業では、「環境効率」、「地球温暖化」、「京都議定書」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リサイクル」のキーワードの出現回数が多かった。「環境効率」と「リデュース」、「リユース」の出現回数が同レベルであった。

表 2-1: 環境配慮設計に関するキーワードの出現回数：グループA、B

			パ ナ ソ ン ス	環 境 リ ス ク マ ネ ジ ン グ	環 境 リ ス ク 管 理	環 境 配 慮 設 計	エ コ デ ザ イン	D f E	環 境 配 慮 型 製 品	環 境 配 慮 製 品	環 境 配 慮 型 商 品	環 境 配 慮 型 商 品 (エ コ プ ロ ダ ク ト)	グ リ ン プ ロ ダ ク ト (グ リ ン プ ロ ダ ク ト)	環 境 配 慮 情 報	環 境 効 率	シ ー エ コ ・ エ フ ィ シ ェ ン	フ ァ ク タ ー
製造業	電気電子機器	2004	0.00	0.27	0.20	0.32	0.12	0.12	0.47	0.26	0.14	0.53	0.17	0.05	0.47	0.02	0.17
製造業	電気電子機器	2005	0.08	0.26	0.18	0.30	0.17	0.08	0.38	0.26	0.14	0.50	0.14	0.05	0.41	0.00	0.21
製造業	輸送用機械器具	2004	0.00	0.41	0.14	0.14	0.05	0.05	0.32	0.00	0.00	0.18	0.00	0.00	0.32	0.00	0.00
製造業	輸送用機械器具	2005	0.00	0.32	0.14	0.18	0.05	0.05	0.23	0.18	0.00	0.27	0.00	0.00	0.23	0.00	0.00
製造業	一般機械器具	2004	0.00	0.44	0.33	0.11	0.00	0.00	0.67	0.44	0.33	0.11	0.00	0.00	0.44	0.00	0.00
製造業	一般機械器具	2005	0.00	0.33	0.22	0.22	0.00	0.00	0.44	0.44	0.11	0.11	0.00	0.00	0.22	0.00	0.00
製造業	精密機械器具	2004	0.00	0.00	0.00	0.57	0.14	0.14	0.14	0.14	0.00	0.43	0.00	0.00	0.14	0.00	0.14
製造業	精密機械器具	2005	0.00	0.14	0.00	0.29	0.14	0.00	0.29	0.14	0.14	0.57	0.00	0.00	0.43	0.00	0.14
製造業	食品・医薬品	2004	0.00	0.13	0.05	0.00	0.03	0.00	0.18	0.11	0.05	0.08	0.03	0.00	0.13	0.00	0.00
製造業	食品・医薬品	2005	0.00	0.18	0.08	0.00	0.03	0.00	0.11	0.11	0.05	0.18	0.00	0.00	0.11	0.00	0.00
製造業	繊維工業	2004	0.00	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.50	0.50	0.00	0.75	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	繊維工業	2005	0.00	0.25	0.25	0.25	0.00	0.00	0.50	0.75	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	衣服・繊維製品	2004	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	衣服・繊維製品	2005	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	家具・装備品	2004	0.00	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00
製造業	家具・装備品	2005	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.50	1.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00
製造業	建材・住宅設備	2004	0.00	0.00	0.25	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.75	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	建材・住宅設備	2005	0.00	0.00	0.50	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
製造業	バルブ・紙・紙加工品	2004	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.17	0.33	0.50	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00
製造業	バルブ・紙・紙加工品	2005	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.33	0.17	0.33	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00
製造業	印刷	2004	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.67	0.00	0.67	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00
製造業	印刷	2005	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.33	0.33	0.33	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00
製造業	化学工業	2004	0.00	0.10	0.00	0.13	0.06	0.00	0.32	0.23	0.13	0.13	0.00	0.00	0.16	0.06	0.03
製造業	化学工業	2005	0.06	0.03	0.03	0.13	0.03	0.00	0.26	0.23	0.13	0.10	0.00	0.00	0.23	0.03	0.06
製造業	石油製品	2004	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.17	0.33	0.33	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00
製造業	石油製品	2005	0.00	0.17	0.17	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00
製造業	プラスチック製品	2004	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	プラスチック製品	2005	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	ゴム製品	2004	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.50	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
製造業	ゴム製品	2005	0.25	0.25	0.00	0.25	0.25	0.00	0.25	0.25	0.25	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
製造業	窯業・土石製品	2004	0.00	0.29	0.00	0.14	0.14	0.00	0.00	0.14	0.00	0.14	0.00	0.00	0.29	0.14	0.00
製造業	窯業・土石製品	2005	0.00	0.43	0.00	0.29	0.14	0.00	0.14	0.14	0.00	0.29	0.00	0.00	0.43	0.14	0.00
製造業	鉄鋼業	2004	0.00	0.50	0.25	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	鉄鋼業	2005	0.25	0.50	0.25	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.25	0.75	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
製造業	非鉄金属	2004	0.00	0.00	0.40	0.20	0.00	0.00	0.40	0.40	0.00	0.20	0.00	0.20	0.20	0.00	0.00
製造業	非鉄金属	2005	0.00	0.00	0.40	0.00	0.20	0.00	0.60	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00
製造業	金属製品	2004	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.67	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	金属製品	2005	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.67	0.67	0.00	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
製造業	その他	2004	0.00	0.33	0.17	0.33	0.17	0.00	0.33	0.67	0.33	0.67	0.00	0.00	0.50	0.00	0.17
製造業	その他	2005	0.00	0.67	0.33	0.33	0.33	0.00	0.33	0.33	0.50	0.67	0.00	0.00	0.33	0.00	0.50
製造業	(総平均)	2004	0.00	0.25	0.13	0.19	0.09	0.05	0.38	0.24	0.14	0.37	0.06	0.02	0.32	0.02	0.07
製造業	(総平均)	2005	0.05	0.25	0.15	0.19	0.10	0.03	0.34	0.25	0.14	0.39	0.05	0.02	0.30	0.01	0.10

情報通信業では、「地球温暖化」、「京都議定書」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リデュース」、「リユース」の出現回数が比較的多かった。「LCA」も比較的多かったが、「地球温暖化」等と比較すると少なかった。

運輸業では、「地球温暖化」、「京都議定書」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リユース」、「リサイクル」の出現回数が比較的多かった。

卸売・小売業では、「地球温暖化」、「京都議定書」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リユース」、「リサイクル」、「エコマーク」の出現回数が比較的多かった。「環境配慮型商品」も比較的多かったが、「地球温暖化」等と比較すると少ない。

金融・保険業では、「地球温暖化」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リサイクル」の出現回数が比較的多かった。環境配慮設計や環境配慮製品に関するキーワードの出現回数は極端に少なかった。

不動産業は、「エコプロダクト」、「地球温暖化」、「ISO 14001」、「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」の出現回数が比較的多かった。

飲食店・宿泊業では、環境配慮型設計や環境配慮型製品（エコプロダクト除く）に関するキーワードの出現回数は極端に少なかった。環境配慮型設計や環境配慮型製品（エコプロダクト除く）に関するキーワードの出現回数は極端に少なかった。

■ 2004年度と2005年度の違い

「環境配慮設計」に関連するキーワードは、業種によって増減があり、一概にキーワードの使用が増えているとは言い切れない。ただし、環境報告書の編集方針で、毎年異なるトピックスを盛り込む場合もあるため、環境配慮設計に関する普及状況を把握するには、過去数年の動向と、今後の動向もあわせて見ていくことが必要である。また、環境への取組みをウェブページに掲載する企業も多くなっていると考えられ、環境報告書とウェブページによる情報公開をあわせた調査も必要であろう。

「京都規定書」はキーワードとして使用する企業が増えており、また「廃棄物・リサイクルガバナンス」は2004年度の使用はゼロであったが、2005年度には製造業、建設業の一部で使用されるようになっている。

■ グループ C

グループ C ではグループ B と同じく環境配慮設計に関連するキーワードの出現回数を調べた。結果のまとめを参考までに表 2-2 に示す。

表 2-2: 環境配慮設計に関するキーワードの出現回数 : グループ C

			ガ バ ナ ン ス	ト リ ス ク マ ネ ジ メ ン	環 境 リ ス ク 管 理	環 境 配 慮 設 計	エ コ デ ザ イ ン	D f E	環 境 配 慮 製 品	環 境 配 慮 製 品	環 境 配 慮 型 製 品	エ コ プ ロ ダ ク ト (エ コ プ ロ ダ ク ト)	ク リ ン プ ロ ダ ク ト (グ リ ン プ ロ ダ ク ト)	環 境 配 慮 情 報	環 境 効 率	エ コ ・ エ フ ィ シ エ ン シ ー	フ ァ ク タ ー
製造業	アイ・オー・データ機器	2005	0	0	0	7	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
製造業	アヲハタ	2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	イーヤマ	2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	イビデン	2005	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	ウシオ電機	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
製造業	愛三工業	2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	愛知機械工業	2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	伊藤園	2005	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	井関農機	2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	荒川化学工業	2005	0	0	0	0	0	0	2	0		1	0	0	0	0	0
製造業	市川毛織	2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造業	曙ブレーキ工業	2005	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0
製造業	有沢製作所	2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信業	朝日新聞社	2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	安藤建設	2005	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	浅沼組	2005	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売・小売業	イオンモール	2005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

(表 2-2 つづき)

			ラ イ フ サ イ ク ル ア セ ス	L C A	ラ イ フ サ イ ク ル 設 計 (L C D)	ラ イ フ サ イ ク ル マ ネ ジ メ ン ト	ラ イ フ サ イ ク ル 管 理	地 球 温 暖 化	京 都 議 定 書	C O P (会 議)	環 境 マ ネ ジ メ ン ト	I S O 1 4 0 0 1	I S O 1 4 0 0 0	3 R	リ サ イ ク ル	リ ユ ース	リ デ ユ ース	エ コ ラ ベ ル	エ コ マ ー ク	エ コ リ フ	C O P (消 費 効 率)	
製造業	アイ・オー・データ機器	2005	0	0	0	0	0	1	-	-	1	2	-	1	34	3	3	-	-	-	-	
製造業	アヲハタ	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
製造業	イーヤマ	2005	0	1	2	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
製造業	イビデン	2005	4	11	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
製造業	ウシオ電機	2005																				
製造業	愛三工業	2005	0	0	0	0	0	5	1	-	6	12	-	1	22	4	2	-	1	-	-	
製造業	愛知機械工業	2005	0	0	0	0	0	4	-	-	16	11	-	-	28	-	-	-	-	-	-	
製造業	伊藤園	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
製造業	井関農機	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
製造業	荒川化学工業	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
製造業	市川毛織	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
製造業	曙ブレーキ工業	2005	0	1	0	0	0	6	3	9	6	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
製造業	有沢製作所	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
情報通信業	朝日新聞社	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
建設業	安藤建設	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
建設業	浅沼組	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
卸売・小売業	イオンモール	2005	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

2.2. 新聞記事

新聞記事におけるキーワードの出現状況を調査した。調査対象とした新聞は以下のとおりであり、調査対象期間は2005年1月から2005年12月とした。インターネット上の新聞記事データベース検索サービスを利用して検索を行った。

- 読売新聞
- 朝日新聞
- 毎日新聞
- 日経新聞
- 産経新聞
- 日刊工業新聞
- 日経産業新聞
- 北海道新聞
- 河北新聞
- 東京新聞
- 中日新聞
- 西日本新聞

以下のキーワードについて、検索を行った。

- 環境配慮設計
- 環境調和設計
- 環境設計
- エコデザイン
- DfE
- 環境配慮型製品
- 環境配慮製品
- 環境配慮型商品
- 環境調和型製品
- 環境調和製品
- 環境調和型商品
- エコプロダクト
- グリーンプロダクト
- 環境配慮情報
- ライフサイクルアセスメント
- LCA
- ライフサイクル設計
- ライフサイクルマネジメント
- ライフサイクル管理
- RoHS 指令
- ELV 指令
- エコ・エフィシェンシー
- 環境効率
- ファクター
- 廃棄物・リサイクルガバナンス
- 環境リスクマネジメント
- 環境リスク管理

また参考として、以下の一般的な環境に関するキーワードについても検索した。

- エコラベル
- エコマーク
- エコリーフ
- 環境マネジメント
- ISO14001
- ISO14000

2.2.1. 検索結果

なお、キーワードの使用状況は、キーワードの使用されている記事の数とした。同一の記事中で同じキーワードが複数回が使用されていても1件となる。

「環境配慮設計」の新聞での出現回数が10、「エコデザイン」が54、「環境設計」が59だった。「環境配慮設計」が日刊工業新聞と日経産業新聞での出現回数が多く、一般紙での出現回数は0回であるのに対し、「エコデザイン」と「環境設計」は一般紙での出現の方が多かった。

以下にキーワードごとの集計結果をまとめる。

キーワード	環境配慮設計																																																								
出現回数	10																																																								
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日刊工業新聞と日経産業新聞で使用されている。 一般紙では使用されていない。 																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> 	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	日刊工業新聞	1			2		1		1	1		1		7	日経産業新聞			1		1	1							3		1	0	1	2	1	2	0	1	1	0	1	0	10
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																												
日刊工業新聞	1			2		1		1	1		1		7																																												
日経産業新聞			1		1	1							3																																												
	1	0	1	2	1	2	0	1	1	0	1	0	10																																												

キーワード	環境調和設計
出現回数	0
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> この表現は使用されていない。

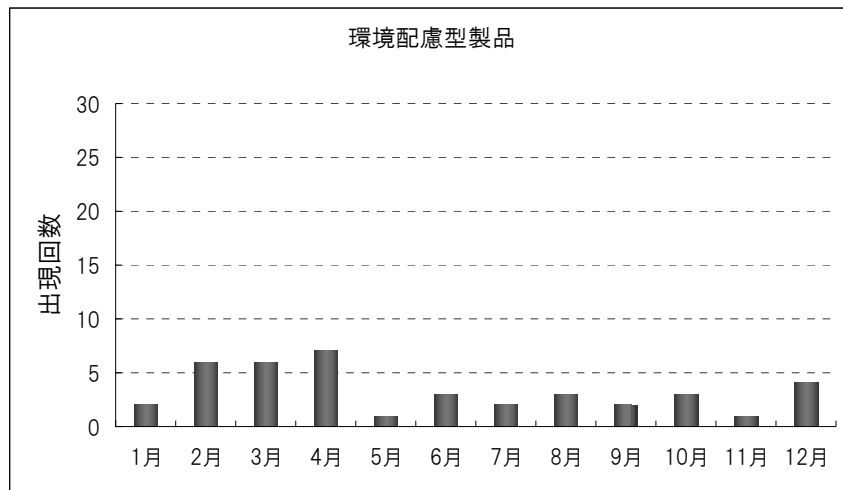
キーワード	環境設計																										
出現回数	59																										
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般紙での出現回数がやや多かったが、日本経済新聞、日刊工業新聞、日経産業新聞でも数回ずつ使用されていた。 ● なお、「環境」の設計や住環境という文脈で使用されているものがほとんどであり、製品の環境配慮設計にあたるものはない。 																										
	<div style="text-align: center;">環境設計</div> <table border="1"> <caption>環境設計の出現回数（月別）</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>2</td></tr> <tr><td>2月</td><td>6</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1</td></tr> <tr><td>4月</td><td>4</td></tr> <tr><td>5月</td><td>13</td></tr> <tr><td>6月</td><td>7</td></tr> <tr><td>7月</td><td>5</td></tr> <tr><td>8月</td><td>2</td></tr> <tr><td>9月</td><td>3</td></tr> <tr><td>10月</td><td>6</td></tr> <tr><td>11月</td><td>6</td></tr> <tr><td>12月</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>	月	出現回数	1月	2	2月	6	3月	1	4月	4	5月	13	6月	7	7月	5	8月	2	9月	3	10月	6	11月	6	12月	4
月	出現回数																										
1月	2																										
2月	6																										
3月	1																										
4月	4																										
5月	13																										
6月	7																										
7月	5																										
8月	2																										
9月	3																										
10月	6																										
11月	6																										
12月	4																										

キーワード	エコデザイン																																																																																																																																							
出現回数	54																																																																																																																																							
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 他の環境配慮設計関連のキーワードと比較して、一般紙での出現回数が多い。 愛・地球博の紹介記事で、EXPO エコマネー事業に関わった「NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム」の名前として多く使用されている。(固有名詞の一部として使われている。) 																																																																																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>毎日新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>読売新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>中日新聞</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>日本経済新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> 		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	朝日新聞			1	1	1	1	2					3		9	毎日新聞			1			1		1						3	読売新聞			1		1	3	2		2	1		1	1	12	中日新聞		1	1	2	1	1		2		5		3		16	日本経済新聞			1	1					1		1			4	日刊工業新聞		1			1	1	1				1	2		7	日経産業新聞				1				1				1		3	合計		2	5	5	4	7	5	4	3	6	2	10	1	54
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																										
朝日新聞			1	1	1	1	2					3		9																																																																																																																										
毎日新聞			1			1		1						3																																																																																																																										
読売新聞			1		1	3	2		2	1		1	1	12																																																																																																																										
中日新聞		1	1	2	1	1		2		5		3		16																																																																																																																										
日本経済新聞			1	1					1		1			4																																																																																																																										
日刊工業新聞		1			1	1	1				1	2		7																																																																																																																										
日経産業新聞				1				1				1		3																																																																																																																										
合計		2	5	5	4	7	5	4	3	6	2	10	1	54																																																																																																																										

キーワード	DfE
出現回数	1
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日刊工業新聞 2005年10月25日付の「TAMA 協、中小のプロダクトデザイン向上へ取り組み」という記事でのみ使用されている。

キーワード	環境配慮型製品
出現回数	40
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日刊工業新聞、日経産業新聞での出現回数が多いが、一般紙での使用も見られる。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
朝日新聞			1										1
毎日新聞										1			1
読売新聞				1									1
河北新聞				1									1
東京新聞												1	1
中日新聞			1										1
西日本新聞								1					1
日刊工業新聞	1	4	1	4		1	1	1	1	1	1		16
日経産業新聞	1	2	3	1	1	2	1	1	1	1		3	17
合計	2	6	6	7	1	3	2	3	2	3	1	4	40



キーワード	環境配慮製品																																																																																																																																																								
出現回数	37																																																																																																																																																								
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日刊工業新聞、日経産業新聞での出現回数が多いが、一般紙での使用も見られる。 日本経済新聞では、「環境配慮型製品」でなく「環境配慮製品」を使用している。 																																																																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>東京新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>中日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>西日本新聞</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日本経済新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>3</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p>環境配慮製品</p> <table border="1"> <caption>環境配慮製品の出現回数（月別）</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>2</td></tr> <tr><td>2月</td><td>5</td></tr> <tr><td>3月</td><td>4</td></tr> <tr><td>4月</td><td>3</td></tr> <tr><td>5月</td><td>2</td></tr> <tr><td>6月</td><td>0</td></tr> <tr><td>7月</td><td>3</td></tr> <tr><td>8月</td><td>6</td></tr> <tr><td>9月</td><td>0</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1</td></tr> <tr><td>11月</td><td>6</td></tr> <tr><td>12月</td><td>5</td></tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	河北新聞							1				1		2	東京新聞												1	1	中日新聞								1					1	西日本新聞		3											3	日本経済新聞				2			2				5	3	12	日刊工業新聞		1	3					1					5	日経産業新聞	2	1	1	1	2			4		1		1	13	合計	2	5	4	3	2	0	3	6	0	1	6	5	37	月	出現回数	1月	2	2月	5	3月	4	4月	3	5月	2	6月	0	7月	3	8月	6	9月	0	10月	1	11月	6	12月	5
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																																												
河北新聞							1				1		2																																																																																																																																												
東京新聞												1	1																																																																																																																																												
中日新聞								1					1																																																																																																																																												
西日本新聞		3											3																																																																																																																																												
日本経済新聞				2			2				5	3	12																																																																																																																																												
日刊工業新聞		1	3					1					5																																																																																																																																												
日経産業新聞	2	1	1	1	2			4		1		1	13																																																																																																																																												
合計	2	5	4	3	2	0	3	6	0	1	6	5	37																																																																																																																																												
月	出現回数																																																																																																																																																								
1月	2																																																																																																																																																								
2月	5																																																																																																																																																								
3月	4																																																																																																																																																								
4月	3																																																																																																																																																								
5月	2																																																																																																																																																								
6月	0																																																																																																																																																								
7月	3																																																																																																																																																								
8月	6																																																																																																																																																								
9月	0																																																																																																																																																								
10月	1																																																																																																																																																								
11月	6																																																																																																																																																								
12月	5																																																																																																																																																								

キーワード	環境配慮型商品																																																																																																																														
出現回数	28																																																																																																																														
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日本経済新聞、日刊工業新聞、日経産業新聞での出現回数が多いが、一部一般紙での使用も見られる。 																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>読売新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>河北新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>中日新聞</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本経済新聞</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> 	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	毎日新聞									1			1	2	読売新聞			1			1							2	河北新聞									1				1	中日新聞	1												1	日本経済新聞	1			1		5		1				1	9	日刊工業新聞		1	1				1		1			1	5	日経産業新聞				1	2		1	1	2			1	8	合計	2	1	2	2	2	6	2	2	4	1	0	4	28
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																		
毎日新聞									1			1	2																																																																																																																		
読売新聞			1			1							2																																																																																																																		
河北新聞									1				1																																																																																																																		
中日新聞	1												1																																																																																																																		
日本経済新聞	1			1		5		1				1	9																																																																																																																		
日刊工業新聞		1	1				1		1			1	5																																																																																																																		
日経産業新聞				1	2		1	1	2			1	8																																																																																																																		
合計	2	1	2	2	2	6	2	2	4	1	0	4	28																																																																																																																		

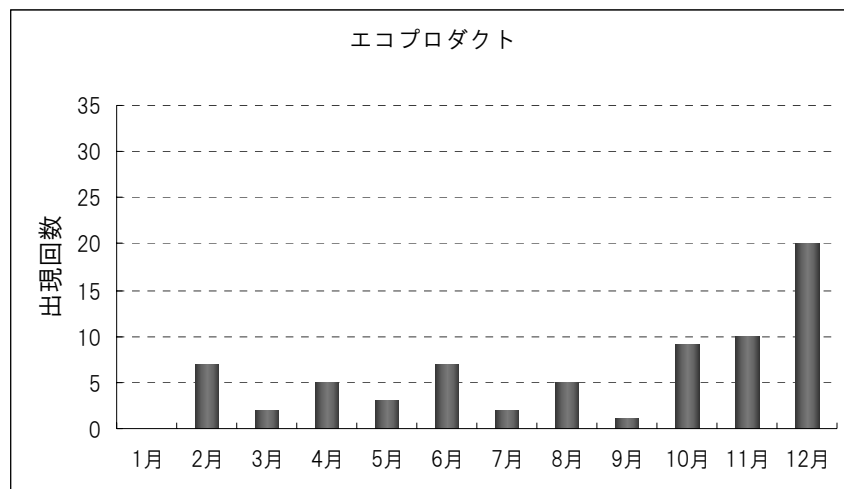
キーワード	環境調和型製品
出現回数	1
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日刊工業新聞の2005年3月4日の記事「東芝、2010年までに環境効率2倍へのビジョン策定」において使用されている。

キーワード	環境調和製品
出現回数	0
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> この表現は使用されていない。

キーワード	環境調和型商品
出現回数	1
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 産経新聞の2005年2月8日の記事「第14回「地球環境大賞」受賞紹介」という記事で使用されている。

キーワード	エコプロダクト (エコプロダクツ)
出現回数	71
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 「エコプロダクツ展」の紹介記事で使用されることが多く、10月から12月にかけて頻繁に使用されている。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
朝日新聞		1			1	1						2	5
毎日新聞		1				1				2			4
読売新聞			3	1									4
東京新聞					1						2	2	5
中日新聞											1		1
西日本新聞										1			1
日本経済新聞				2		2		1		1	4	5	15
産経新聞												1	1
日刊工業新聞				1	1	2	1	3	1	4	2	4	19
日経産業新聞		2	1	2		1	1	1		1	1	6	16
合計	0	7	2	5	3	7	2	5	1	9	10	20	71



キーワード	グリーンプロダクト																																																																																		
出現回数	3																																																																																		
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 「エコプロダクト」と比較して、出現回数が少ない。 松下電器産業（日刊工業新聞、9月）、シャープ（日刊工業新聞、日経産業新聞、7月）の紹介記事で使用されている。 																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">グリーンプロダクト</p> <table border="1"> <caption>Bar Chart Data: グリーンプロダクト</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>0</td></tr> <tr><td>2月</td><td>0</td></tr> <tr><td>3月</td><td>0</td></tr> <tr><td>4月</td><td>0</td></tr> <tr><td>5月</td><td>0</td></tr> <tr><td>6月</td><td>0</td></tr> <tr><td>7月</td><td>2</td></tr> <tr><td>8月</td><td>0</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1</td></tr> <tr><td>10月</td><td>0</td></tr> <tr><td>11月</td><td>0</td></tr> <tr><td>12月</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	日刊工業新聞							1		1				2	日経産業新聞							1						1	合計	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	月	出現回数	1月	0	2月	0	3月	0	4月	0	5月	0	6月	0	7月	2	8月	0	9月	1	10月	0	11月	0	12月	0
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																						
日刊工業新聞							1		1				2																																																																						
日経産業新聞							1						1																																																																						
合計	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3																																																																						
月	出現回数																																																																																		
1月	0																																																																																		
2月	0																																																																																		
3月	0																																																																																		
4月	0																																																																																		
5月	0																																																																																		
6月	0																																																																																		
7月	2																																																																																		
8月	0																																																																																		
9月	1																																																																																		
10月	0																																																																																		
11月	0																																																																																		
12月	0																																																																																		

キーワード	環境配慮情報																																																																																		
出現回数	2																																																																																		
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日経産業新聞（2005.06.22）の「独自環境基準「エコプロダクツ」、オリンパス、適合製品 8 割、2010 年度目標」、日刊工業新聞（2005.03.23）「廃棄物・リサイクル小委、製品 3R の高度化で方向性打ち出す」の記事で用いられている。 																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">環境配慮情報</div> <table border="1"> <caption>環境配慮情報の出現回数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出現回数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	日刊工業新聞			1										1	日経産業新聞						1							1	合計	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	出現回数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																						
日刊工業新聞			1										1																																																																						
日経産業新聞						1							1																																																																						
合計	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2																																																																						
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																							
出現回数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0																																																																							

キーワード	ライフサイクルアセスメント																																																																																																																																										
出現回数	44																																																																																																																																										
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日本経済新聞、日刊工業新聞、日経産業新聞での出現回数が多いが、一般紙での使用も見られる。 日経産業新聞での特集記事での使用が目立っている。 																																																																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>毎日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>中日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本経済新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>ライフサイクルアセスメント</p> <table border="1"> <caption>ライフサイクルアセスメントの出現回数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>0</td></tr> <tr><td>2月</td><td>2</td></tr> <tr><td>3月</td><td>2</td></tr> <tr><td>4月</td><td>3</td></tr> <tr><td>5月</td><td>3</td></tr> <tr><td>6月</td><td>9</td></tr> <tr><td>7月</td><td>5</td></tr> <tr><td>8月</td><td>2</td></tr> <tr><td>9月</td><td>4</td></tr> <tr><td>10月</td><td>3</td></tr> <tr><td>11月</td><td>3</td></tr> <tr><td>12月</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	朝日新聞								1					1	毎日新聞				1									1	中日新聞						1							1	日本経済新聞						1			2			1	4	日刊工業新聞		2	1	2		1	2		1	2	2		13	日経産業新聞			1		3	6	3	1	1	1	1	7	24	合計	0	2	2	3	3	9	5	2	4	3	3	8	44	月	出現回数	1月	0	2月	2	3月	2	4月	3	5月	3	6月	9	7月	5	8月	2	9月	4	10月	3	11月	3	12月	8
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																														
朝日新聞								1					1																																																																																																																														
毎日新聞				1									1																																																																																																																														
中日新聞						1							1																																																																																																																														
日本経済新聞						1			2			1	4																																																																																																																														
日刊工業新聞		2	1	2		1	2		1	2	2		13																																																																																																																														
日経産業新聞			1		3	6	3	1	1	1	1	7	24																																																																																																																														
合計	0	2	2	3	3	9	5	2	4	3	3	8	44																																																																																																																														
月	出現回数																																																																																																																																										
1月	0																																																																																																																																										
2月	2																																																																																																																																										
3月	2																																																																																																																																										
4月	3																																																																																																																																										
5月	3																																																																																																																																										
6月	9																																																																																																																																										
7月	5																																																																																																																																										
8月	2																																																																																																																																										
9月	4																																																																																																																																										
10月	3																																																																																																																																										
11月	3																																																																																																																																										
12月	8																																																																																																																																										

キーワード	LCA																																																																																																																																																		
出現回数	47																																																																																																																																																		
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日刊工業新聞、日経産業新聞での出現回数が多かった。 日経産業新聞では、特集記事での使用が多い。 																																																																																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>毎日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>中日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本経済新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>LCA 出現回数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>2</td></tr> <tr><td>2月</td><td>0</td></tr> <tr><td>3月</td><td>3</td></tr> <tr><td>4月</td><td>2</td></tr> <tr><td>5月</td><td>2</td></tr> <tr><td>6月</td><td>9</td></tr> <tr><td>7月</td><td>7</td></tr> <tr><td>8月</td><td>2</td></tr> <tr><td>9月</td><td>7</td></tr> <tr><td>10月</td><td>3</td></tr> <tr><td>11月</td><td>4</td></tr> <tr><td>12月</td><td>6</td></tr> </tbody> </table>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	朝日新聞				1					1					2	毎日新聞					1									1	中日新聞							1							1	日本経済新聞								1		2				3	日刊工業新聞			2	2	1		2	3		4	2	3		19	日経産業新聞						2	6	3	1	1	1	1	6	21	合計		0	2	3	2	2	9	7	2	7	3	4	6	47	月	出現回数	1月	2	2月	0	3月	3	4月	2	5月	2	6月	9	7月	7	8月	2	9月	7	10月	3	11月	4	12月	6
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																																					
朝日新聞				1					1					2																																																																																																																																					
毎日新聞					1									1																																																																																																																																					
中日新聞							1							1																																																																																																																																					
日本経済新聞								1		2				3																																																																																																																																					
日刊工業新聞			2	2	1		2	3		4	2	3		19																																																																																																																																					
日経産業新聞						2	6	3	1	1	1	1	6	21																																																																																																																																					
合計		0	2	3	2	2	9	7	2	7	3	4	6	47																																																																																																																																					
月	出現回数																																																																																																																																																		
1月	2																																																																																																																																																		
2月	0																																																																																																																																																		
3月	3																																																																																																																																																		
4月	2																																																																																																																																																		
5月	2																																																																																																																																																		
6月	9																																																																																																																																																		
7月	7																																																																																																																																																		
8月	2																																																																																																																																																		
9月	7																																																																																																																																																		
10月	3																																																																																																																																																		
11月	4																																																																																																																																																		
12月	6																																																																																																																																																		

キーワード	ライフサイクル設計
出現回数	0
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> この表現は使用されていなかった。

キーワード	ライフサイクルマネジメント																																																																																																														
出現回数	11																																																																																																														
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日刊工業新聞、日経産業新聞での出現回数が多い。 																																																																																																														
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本経済新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>ライフサイクルマネジメント</p> <table border="1" style="margin: auto; width: 100%;"> <caption>ライフサイクルマネジメントの出現回数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出現回数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> </div>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	朝日新聞											1		1	日本経済新聞			1										1	日刊工業新聞				1						1	1	1	4	日経産業新聞		1	1	1	1	1							5	合計	0	1	2	2	1	1	0	0	0	1	2	1	11	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	出現回数	0	1	2	2	1	1	0	0	0	1	2	1
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																		
朝日新聞											1		1																																																																																																		
日本経済新聞			1										1																																																																																																		
日刊工業新聞				1						1	1	1	4																																																																																																		
日経産業新聞		1	1	1	1	1							5																																																																																																		
合計	0	1	2	2	1	1	0	0	0	1	2	1	11																																																																																																		
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																			
出現回数	0	1	2	2	1	1	0	0	0	1	2	1																																																																																																			

キーワード	ライフサイクル管理																																																																																																														
出現回数	24																																																																																																														
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日刊工業新聞での出現回数が多く、一般紙ではほとんど使用されていない。 毎日新聞の記事は「キャンパス NOW：学園情報 京都コンピュータ学院「新校舎竣工記念講演会」ほか」、産経新聞の記事は「UGP PLM ソリューションズ」生産工程管理ソフト、合併で一貫性強化」であり、後者はソフトウェアでのシステムの機能として使用されている。 																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>産経新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>3</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">ライフサイクル管理</div> <table border="1"> <caption>ライフサイクル管理の出現回数 (月別)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>1</td></tr> <tr><td>2月</td><td>1</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1</td></tr> <tr><td>4月</td><td>3</td></tr> <tr><td>5月</td><td>7</td></tr> <tr><td>6月</td><td>4</td></tr> <tr><td>7月</td><td>0</td></tr> <tr><td>8月</td><td>1</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1</td></tr> <tr><td>11月</td><td>2</td></tr> <tr><td>12月</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	毎日新聞					1								1	産経新聞				1									1	日刊工業新聞	1		1	1	6	3		1	1	1	2	2	19	日経産業新聞		1		1		1							3	合計	1	1	1	3	7	4	0	1	1	1	2	2	24	月	出現回数	1月	1	2月	1	3月	1	4月	3	5月	7	6月	4	7月	0	8月	1	9月	1	10月	1	11月	2	12月	2
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																		
毎日新聞					1								1																																																																																																		
産経新聞				1									1																																																																																																		
日刊工業新聞	1		1	1	6	3		1	1	1	2	2	19																																																																																																		
日経産業新聞		1		1		1							3																																																																																																		
合計	1	1	1	3	7	4	0	1	1	1	2	2	24																																																																																																		
月	出現回数																																																																																																														
1月	1																																																																																																														
2月	1																																																																																																														
3月	1																																																																																																														
4月	3																																																																																																														
5月	7																																																																																																														
6月	4																																																																																																														
7月	0																																																																																																														
8月	1																																																																																																														
9月	1																																																																																																														
10月	1																																																																																																														
11月	2																																																																																																														
12月	2																																																																																																														

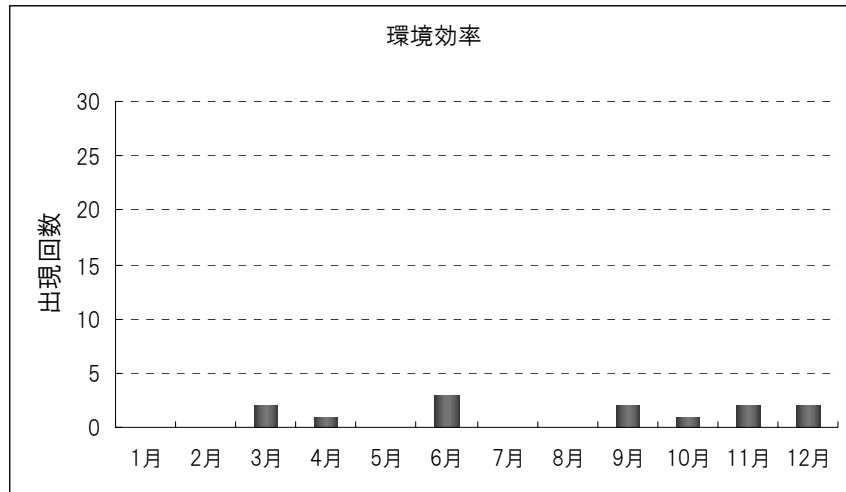
キーワード	RoHS 指令																										
出現回数	328																										
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日本経済新聞、日刊工業新聞、日経産業新聞での出現回数が多い。 																										
	<p style="text-align: center;">RoHS</p> <table border="1"> <caption>RoHS 出現回数 (月別)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>10</td></tr> <tr><td>2月</td><td>19</td></tr> <tr><td>3月</td><td>41</td></tr> <tr><td>4月</td><td>33</td></tr> <tr><td>5月</td><td>32</td></tr> <tr><td>6月</td><td>34</td></tr> <tr><td>7月</td><td>24</td></tr> <tr><td>8月</td><td>34</td></tr> <tr><td>9月</td><td>27</td></tr> <tr><td>10月</td><td>17</td></tr> <tr><td>11月</td><td>28</td></tr> <tr><td>12月</td><td>29</td></tr> </tbody> </table>	月	出現回数	1月	10	2月	19	3月	41	4月	33	5月	32	6月	34	7月	24	8月	34	9月	27	10月	17	11月	28	12月	29
月	出現回数																										
1月	10																										
2月	19																										
3月	41																										
4月	33																										
5月	32																										
6月	34																										
7月	24																										
8月	34																										
9月	27																										
10月	17																										
11月	28																										
12月	29																										

キーワード	ELV 指令																										
出現回数	26																										
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日本経済新聞、日刊工業新聞、日経産業新聞での出現回数が多い。 RoHS 指令に比べると使用されていない。 																										
	<p style="text-align: center;">ELV (ELV指令、廃自動車指令、廃自動車に関するEU指令)</p> <table border="1"> <caption>ELV 出現回数 (月別)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>2</td></tr> <tr><td>2月</td><td>1</td></tr> <tr><td>3月</td><td>6</td></tr> <tr><td>4月</td><td>4</td></tr> <tr><td>5月</td><td>0</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1</td></tr> <tr><td>7月</td><td>3</td></tr> <tr><td>8月</td><td>3</td></tr> <tr><td>9月</td><td>0</td></tr> <tr><td>10月</td><td>0</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1</td></tr> <tr><td>12月</td><td>5</td></tr> </tbody> </table>	月	出現回数	1月	2	2月	1	3月	6	4月	4	5月	0	6月	1	7月	3	8月	3	9月	0	10月	0	11月	1	12月	5
月	出現回数																										
1月	2																										
2月	1																										
3月	6																										
4月	4																										
5月	0																										
6月	1																										
7月	3																										
8月	3																										
9月	0																										
10月	0																										
11月	1																										
12月	5																										

キーワード	エコ・エフィシエンシー
出現回数	0
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> この表現は使用されていない。

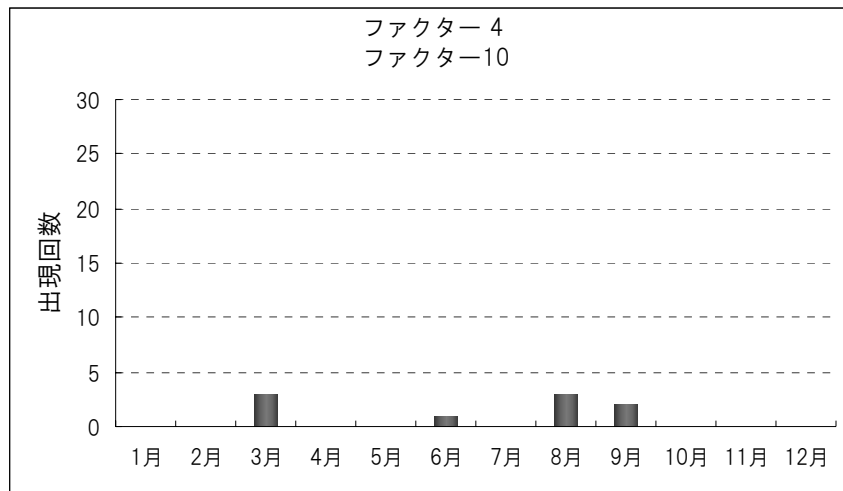
キーワード	環境効率
出現回数	13
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 日経産業新聞での出現回数が多い。 一般紙での12月の記事は、松下電器の温風器に関連しての使用である。

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
朝日新聞													1	1
読売新聞													1	1
中日新聞										1				1
日本経済新聞					1		1					1		3
日刊工業新聞				1										1
日経産業新聞				1			2			1	1	1		6
合計		0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	2	2	13



キーワード	ファクター
出現回数	9
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 8月、9月の記事は「愛・地球賞」関連記事であり、特集記事での使用もある。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
朝日新聞			1										1
読売新聞			1										1
中日新聞						1							1
日本経済新聞								2	1				3
日経産業新聞			1					1	1				3
合計	0	0	3	0	0	1	0	3	2	0	0	0	9



キーワード	廃棄物・リサイクルガバナンス
出現回数	0
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> この表現は使用されていなかった。

キーワード	環境リスクマネジメント																																																																																																																												
出現回数	5																																																																																																																												
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 一般紙、専門紙ともに使用していた。 生態環境のリスクに関する記事も含まれている。 																																																																																																																												
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎日新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>読売新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日本経済新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日刊工業新聞</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経産業新聞</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>環境リスクマネジメント</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>環境リスクマネジメントの出現回数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>0</td></tr> <tr><td>2月</td><td>0</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1</td></tr> <tr><td>4月</td><td>0</td></tr> <tr><td>5月</td><td>0</td></tr> <tr><td>6月</td><td>0</td></tr> <tr><td>7月</td><td>0</td></tr> <tr><td>8月</td><td>0</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1</td></tr> <tr><td>11月</td><td>0</td></tr> <tr><td>12月</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> </div>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	毎日新聞									1				1	読売新聞										1			1	日本経済新聞												1	1	日刊工業新聞			1										1	日経産業新聞												1	1	合計	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	2	5	月	出現回数	1月	0	2月	0	3月	1	4月	0	5月	0	6月	0	7月	0	8月	0	9月	1	10月	1	11月	0	12月	2
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																
毎日新聞									1				1																																																																																																																
読売新聞										1			1																																																																																																																
日本経済新聞												1	1																																																																																																																
日刊工業新聞			1										1																																																																																																																
日経産業新聞												1	1																																																																																																																
合計	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	2	5																																																																																																																
月	出現回数																																																																																																																												
1月	0																																																																																																																												
2月	0																																																																																																																												
3月	1																																																																																																																												
4月	0																																																																																																																												
5月	0																																																																																																																												
6月	0																																																																																																																												
7月	0																																																																																																																												
8月	0																																																																																																																												
9月	1																																																																																																																												
10月	1																																																																																																																												
11月	0																																																																																																																												
12月	2																																																																																																																												

キーワード	環境リスク管理
出現回数	1
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 北海道新聞（2005.11.25）の「<エコノみつくす>催し」の中で使用されている。

<参考>

環境に関連するキーワードの使用状況を検索した結果を表 2-3 に示す。ここでは件数のみ紹介するが、リサイクル、地球温暖化、京都議定書、ISO 14000 などは多くの記事で使用されていることがわかる。これらのかかなり一般的に使用されているキーワードの使用状況と比較すると、環境配慮設計関連のキーワードの使用はそれほど多くないことが読み取れる。

表 2-3: 新聞記事における関連キーワード使用状況

キーワード	記事数
エコラベル	8
エコマーク	88
エコリーフ	9
環境マネジメント	240
ISO 14001	37
ISO 14000	594
3R	306
リサイクル	10,806
リユース	383
リデュース	192
地球温暖化	6,768
京都議定書	3,155
気候変動枠組条約締約国会議	1
COP	158

2.2.2. 検索結果のまとめ

「地球温暖化」、「3R」などの一般的な環境関連のキーワードと比較すると、環境配慮設計に関するキーワードの出現回数は低かった。「ライフサイクルアセスメント」、「LCA」などは比較的出現回数が多かった。また、「エコデザイン」や「エコプロダクト」など、固有名詞の一部として使用されているものも、取り上げられる機会が多かったようである。

全体として、「設計」のつくキーワードや、「ライフサイクルアセスメント」、「LCA」等は、日本経済新聞、日刊工業新聞、日経産業新聞で使用されることが多かった。

こうした傾向から、環境配慮設計やそれに関連するキーワードは一般紙で頻繁に取り上げられるほどの普及は見られないが、経済紙、工業新聞ではある程度の頻度で使用されている。また、企業の取り組みを紹介する記事と特集での使用が多く、今後普及していくことも期待される。

2.3. 雑誌記事

雑誌記事におけるキーワードの出現状況を調査した。調査対象のキーワードが 1 つ以上出現した記事について、1 記事 1 件とカウントしている。

以下の雑誌を対象とし、2005 年 1 月から 2005 年 12 月の記事を検索の対象とした。

- グローバルネット
- 月刊 地球環境
- 月刊 廃棄物
- 日経エコロジー
- 日経エレクトロニクス
- 日経デザイン
- 日経ものづくり

これらの雑誌については、昨年度の調査では、グローバルネットと月刊廃棄物でのキーワードの使用が少なく、日経エコロジーと月刊地球環境では多く使用されていたため、それらの雑誌での使用状況の変化を見るために調査対象とした。日経エレクトロニクス、日経デザイン、日経ものづくりは、環境配慮設計が製造に関係する分野で多く使用されていることから、使用状況を把握するために選定した。

検索を行ったキーワードは以下の通りである。

- 環境配慮設計
- 環境調和設計
- 環境設計
- エコデザイン
- DfE
- 環境配慮型製品
- 環境配慮製品
- 環境配慮型商品
- 環境調和型製品
- 環境調和製品
- 環境調和型商品
- エコプロダクト
- グリーンプロダクト
- 環境配慮情報
- ライフサイクルアセスメント
- LCA
- ライフサイクル設計
- ライフサイクルマネジメント
- ライフサイクル管理
- RoHS 指令
- ELV 指令
- エコ・エフィシェンシー
- 環境効率
- ファクター
- 廃棄物・リサイクルガバナンス
- 環境リスクマネジメント
- 環境リスク管理

2.3.1. 検索結果

調査対象のキーワードのうち、出現回数をもっとも多かったのが「RoHS」の73、次いで「LCA」の31、「環境効率」の22であった。また、出現回数が0だったのが「廃棄物・リサイクルガバナンス」「環境調和設計」「環境調和製品」「エコ・エフィシェンシー」「ライフサイクル設計」「ライフサイクルマネジメント」であった。

キーワードごとの検索結果を以下に示す。

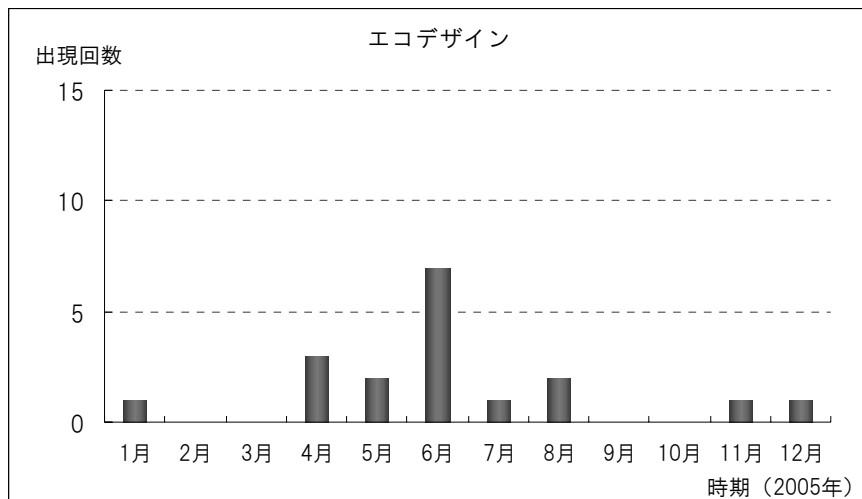
キーワード	環境配慮設計																																																																																										
出現回数	16																																																																																										
状況	<ul style="list-style-type: none"> 出現回数は日経エコロジーで7、月刊地球環境で6と多かった。 																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>日経エレクトロニクス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>出現回数</p> <p>環境配慮設計</p> <p>時期 (2005年)</p> </div>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境					2		2	1				1		6	月刊 廃棄物		1				1								2	日経エコロジー							1	2	1			2	1	7	日経エレクトロニクス									1					1	計		1	0	0	2	1	3	3	2	0	0	3	1	16
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																													
月刊 地球環境					2		2	1				1		6																																																																													
月刊 廃棄物		1				1								2																																																																													
日経エコロジー							1	2	1			2	1	7																																																																													
日経エレクトロニクス									1					1																																																																													
計		1	0	0	2	1	3	3	2	0	0	3	1	16																																																																													

キーワード	環境調和設計
出現回数	0
状況	<ul style="list-style-type: none"> この表現は使用されていなかった。

キーワード	環境設計																																																												
出現回数	5																																																												
状況	<ul style="list-style-type: none"> 月刊地球環境、日経エコロジーで用いられており、EuP 指令案に関するトピックで多く使用されていた。 																																																												
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>環境設計</p> <p>出現回数</p> <p>時期 (2005年)</p> </div>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境					2									2	日経エコロジー							1	1	1					3	計		0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	0	5
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																															
月刊 地球環境					2									2																																															
日経エコロジー							1	1	1					3																																															
計		0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	0	5																																															

キーワード	エコデザイン
出現回数	18
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経デザインで12回と多く使用され、他グローバルネット、月刊地球環境、日経エコロジー、日経エレクトロニクスで使用されていた。 日経デザインでは主にエコプロダクツ特集関連記事（6月号）で使用されていた。

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
グローバルネット								1						1
月刊 地球環境					2									2
日経エコロジー		1											1	2
日経エレクトロニクス							1							1
日経デザイン					1	2	6		2			1		12
日経ものづくり														0
計		1	0	0	3	2	7	1	2	0	0	1	1	18



キーワード	DfE																																													
出現回数	1																																													
状況	<ul style="list-style-type: none"> 月刊地球環境の化学物質管理に関する特集において使用されていた。 																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">D f E</p> <p>出現回数</p> <p>15 10 5 0</p> <p>1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月</p> <p style="text-align: right;">時期 (2005年)</p>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境							1							1	計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																
月刊 地球環境							1							1																																
計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1																																

キーワード	環境配慮型製品																																																																																																																																			
出現回数	8																																																																																																																																			
状況	<ul style="list-style-type: none"> 各誌の出現状況は月刊地球環境、日経エコロジー、日経エレクトロニクスでそれぞれ2回、他グローバルネット、月刊廃棄物で各1回だった。 主に消費者に対する製品の環境情報提供や RoHS 指令関連のトピックで使用されていた。 																																																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバルネット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日経エレクトロニクス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>環境配慮型製品 出現回数</caption> <thead> <tr> <th>時期 (2005年)</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>1</td></tr> <tr><td>2月</td><td>0</td></tr> <tr><td>3月</td><td>0</td></tr> <tr><td>4月</td><td>1</td></tr> <tr><td>5月</td><td>1</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1</td></tr> <tr><td>7月</td><td>0</td></tr> <tr><td>8月</td><td>2</td></tr> <tr><td>9月</td><td>0</td></tr> <tr><td>10月</td><td>0</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1</td></tr> <tr><td>12月</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	グローバルネット													1	1	月刊 地球環境					1							1		2	月刊 廃棄物							1							1	日経エコロジー		1			1									2	日経エレクトロニクス									2					2	計		1	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1	1	8	時期 (2005年)	出現回数	1月	1	2月	0	3月	0	4月	1	5月	1	6月	1	7月	0	8月	2	9月	0	10月	0	11月	1	12月	1
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																						
グローバルネット													1	1																																																																																																																						
月刊 地球環境					1							1		2																																																																																																																						
月刊 廃棄物							1							1																																																																																																																						
日経エコロジー		1			1									2																																																																																																																						
日経エレクトロニクス									2					2																																																																																																																						
計		1	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1	1	8																																																																																																																						
時期 (2005年)	出現回数																																																																																																																																			
1月	1																																																																																																																																			
2月	0																																																																																																																																			
3月	0																																																																																																																																			
4月	1																																																																																																																																			
5月	1																																																																																																																																			
6月	1																																																																																																																																			
7月	0																																																																																																																																			
8月	2																																																																																																																																			
9月	0																																																																																																																																			
10月	0																																																																																																																																			
11月	1																																																																																																																																			
12月	1																																																																																																																																			

キーワード	環境配慮製品																																																																						
出現回数	17																																																																						
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経エコロジーで14回と多く使用されていた。 各誌とも特定の内容や時期に偏らず、さまざまな話題のなかで使用されていた。 																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>出現回数</p> <p>環境配慮製品</p> <p>時期 (2005年)</p> </div>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境					1	1							2	月刊 廃棄物									1				1	日経エコロジー		1		1		1	2	3	4		1	1	14	計	0	1	0	1	1	2	2	3	5	0	1	1	17
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																										
月刊 地球環境					1	1							2																																																										
月刊 廃棄物									1				1																																																										
日経エコロジー		1		1		1	2	3	4		1	1	14																																																										
計	0	1	0	1	1	2	2	3	5	0	1	1	17																																																										

キーワード	環境配慮型商品																																																								
出現回数	6																																																								
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経エコロジーで4回、月刊地球環境で2回使用されていた。 特定の製品について環境配慮の工夫を紹介する内容が多かった。 																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>出現回数</p> <p>環境配慮型商品</p> <p>15 10 5 0</p> <p>1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月</p> <p>時期 (2005年)</p>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境					2								2	日経エコロジー							3				1		4	計	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	1	0	6
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																												
月刊 地球環境					2								2																																												
日経エコロジー							3				1		4																																												
計	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	1	0	6																																												

キーワード	環境調和型製品																																													
出現回数	1																																													
状況	<ul style="list-style-type: none"> 月刊地球環境において、「エコライフ」の特集で使用されていた。 																																													
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>環境調和型製品</p> <p>出現回数</p> <p>15 10 5 0</p> <p>1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月</p> <p>時期 (2005年)</p> </div>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境												1		1	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																
月刊 地球環境												1		1																																
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1																																

キーワード	環境調和製品
出現回数	0
状況	<ul style="list-style-type: none"> この表現は使用されていなかった。

キーワード	環境調和型商品																																																																				
出現回数	2																																																																				
状況	<ul style="list-style-type: none"> 月刊地球環境において、第14回地球環境大賞受賞企業の受賞内容紹介で使用されていた。 																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>環境調和型商品</p> <table border="1"> <caption>環境調和型商品の出現回数 (月別)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出現回数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境					2								2	計	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	出現回数	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																								
月刊 地球環境					2								2																																																								
計	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2																																																								
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																									
出現回数	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0																																																									

キーワード	エコプロダクト (エコプロダクツ)																																																																																																																																			
出現回数	14																																																																																																																																			
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経デザインのエコデザイン特集 (6月号) において、5つの記事で使用されていた。 その他、月刊廃棄物で4回、グローバルネットで3回、日経エコロジーと日経エレクトロニクスでそれぞれ1回ずつ使用されていた。 12月に記事が多いのは、エコプロダクツ展の関連である。 																																																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバルネット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経エレクトロニクス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経デザイン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>エコプロダクト</p> <p>出現回数</p> <table border="1"> <caption>エコプロダクトの出現回数 (2005年)</caption> <thead> <tr> <th>時期 (2005年)</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>2</td></tr> <tr><td>2月</td><td>0</td></tr> <tr><td>3月</td><td>0</td></tr> <tr><td>4月</td><td>0</td></tr> <tr><td>5月</td><td>0</td></tr> <tr><td>6月</td><td>5</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1</td></tr> <tr><td>8月</td><td>0</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1</td></tr> <tr><td>12月</td><td>4</td></tr> </tbody> </table> <p>時期 (2005年)</p> </div>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	グローバルネット								1					2	3	月刊 廃棄物										1	1	1	1	4	日経エコロジー		1												1	日経エレクトロニクス													1	1	日経デザイン						5								5	計		1	0	0	0	0	5	1	0	1	1	1	4	14	時期 (2005年)	出現回数	1月	2	2月	0	3月	0	4月	0	5月	0	6月	5	7月	1	8月	0	9月	1	10月	1	11月	1	12月	4
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																						
グローバルネット								1					2	3																																																																																																																						
月刊 廃棄物										1	1	1	1	4																																																																																																																						
日経エコロジー		1												1																																																																																																																						
日経エレクトロニクス													1	1																																																																																																																						
日経デザイン						5								5																																																																																																																						
計		1	0	0	0	0	5	1	0	1	1	1	4	14																																																																																																																						
時期 (2005年)	出現回数																																																																																																																																			
1月	2																																																																																																																																			
2月	0																																																																																																																																			
3月	0																																																																																																																																			
4月	0																																																																																																																																			
5月	0																																																																																																																																			
6月	5																																																																																																																																			
7月	1																																																																																																																																			
8月	0																																																																																																																																			
9月	1																																																																																																																																			
10月	1																																																																																																																																			
11月	1																																																																																																																																			
12月	4																																																																																																																																			

キーワード	グリーンプロダクト																																										
出現回数	1																																										
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経エレクトロニクス 8月号において、RoHS 指令関連の話題で使用されていた。 																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日経エレクトロニクス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">グリーンプロダクト</p> <p>出現回数</p> <p style="text-align: right;">時期 (2005年)</p>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	日経エレクトロニクス								1					1	計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																														
日経エレクトロニクス								1					1																														
計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1																														

キーワード	環境配慮情報																																																																											
出現回数	4																																																																											
状況	<ul style="list-style-type: none"> グローバルネット (3R イニシアティブ)、月刊地球環境、日経エコロジーで使用されていた。 グローバルネット (7月号) は3R イニシアティブ閣僚会合、月刊地球環境 (6月号) は環境配慮情報の活用の方向性、日経エコロジー (10月号) は化学物質管理関連の記事で使用されていた。 																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバルネット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>出現回数</p> <p>環境配慮情報</p> <p>時期 (2005年)</p> </div>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	グローバルネット								1						1	月刊 地球環境							2							2	日経エコロジー											1			1	計		0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	4
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																														
グローバルネット								1						1																																																														
月刊 地球環境							2							2																																																														
日経エコロジー											1			1																																																														
計		0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	4																																																														

キーワード	ライフサイクルアセスメント																																																																																																																																			
出現回数	21																																																																																																																																			
状況	<ul style="list-style-type: none"> • 日経エコロジーで12回と多く使用されていた。 • 各誌とも時期的な偏りはあまりなく、年間を通し頻繁に出現していた。 																																																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバルネット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>日経デザイン</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>ライフサイクルアセスメント</caption> <thead> <tr> <th>出現回数</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>時期 (2005年)</p>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	グローバルネット								1						1	月刊 地球環境												3		3	月刊 廃棄物		1							1	1				3	日経エコロジー				2	1				3	1	1	1	3	12	日経デザイン			1				1							2	計		1	1	0	2	1	1	1	4	2	1	4	3	21	出現回数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	0	1	1	0	2	1	1	1	4	2	1	4	3
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																						
グローバルネット								1						1																																																																																																																						
月刊 地球環境												3		3																																																																																																																						
月刊 廃棄物		1							1	1				3																																																																																																																						
日経エコロジー				2	1				3	1	1	1	3	12																																																																																																																						
日経デザイン			1				1							2																																																																																																																						
計		1	1	0	2	1	1	1	4	2	1	4	3	21																																																																																																																						
出現回数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																																																																																																								
0	1	1	0	2	1	1	1	4	2	1	4	3																																																																																																																								

キーワード	LCA																																																																																																																								
出現回数	31																																																																																																																								
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経エコロジーで18回ともっとも多く使用されていた。その他月刊廃棄物で5回、月刊地球環境で4回、日経ものづくりで2回、グローバルネットで1回使用されていた。 記事の内容はリサイクル関連の記事が多かったが、その他エコリーフ、廃棄物関連の話題の中でも使用されていた。 																																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバルネット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>日経デザイン</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経ものづくり</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> 		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	グローバルネット								1						1	月刊 地球環境				1								3		4	月刊 廃棄物		2							2	1				5	日経エコロジー		1	2	1	3	1	1		3	1	1	1	3	18	日経デザイン			1											1	日経ものづくり		1					1							2	計		4	3	1	4	1	2	1	5	2	1	4	3	31
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																											
グローバルネット								1						1																																																																																																											
月刊 地球環境				1								3		4																																																																																																											
月刊 廃棄物		2							2	1				5																																																																																																											
日経エコロジー		1	2	1	3	1	1		3	1	1	1	3	18																																																																																																											
日経デザイン			1											1																																																																																																											
日経ものづくり		1					1							2																																																																																																											
計		4	3	1	4	1	2	1	5	2	1	4	3	31																																																																																																											

キーワード	ライフサイクル設計
出現回数	0
状況	-

キーワード	ライフサイクルマネジメント
出現回数	0
状況	-

キーワード	ライフサイクル管理																																																												
出現回数	6																																																												
状況	<ul style="list-style-type: none"> • 日経ものづくりで5回、日経デザインで1回使用されていた。 • 時期的な偏りはなかった。 																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日経デザイン</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経ものづくり</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>出現回数</p> <p>ライフサイクル管理</p> <p>15 10 5 0</p> <p>1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月</p> <p>時期 (2005年)</p>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	日経デザイン			1											1	日経ものづくり			1						1	1		1	1	5	計		0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	6
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																															
日経デザイン			1											1																																															
日経ものづくり			1						1	1		1	1	5																																															
計		0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	6																																															

キーワード	RoHS 指令																																																																																																																																			
出現回数	73																																																																																																																																			
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経エレクトロニクスで 29 回、日経エコロジーで 16 回、日経ものづくりで 15 回、月刊地球環境で 11 回、月刊廃棄物で 2 回という出現状況で、各誌とも多く使用していた。 																																																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>日経エレクトロニクス</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>日経ものづくり</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>73</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>RoHS 出現回数 (2005年)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>3</td></tr> <tr><td>2月</td><td>3</td></tr> <tr><td>3月</td><td>4</td></tr> <tr><td>4月</td><td>6</td></tr> <tr><td>5月</td><td>11</td></tr> <tr><td>6月</td><td>4</td></tr> <tr><td>7月</td><td>11</td></tr> <tr><td>8月</td><td>9</td></tr> <tr><td>9月</td><td>8</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1</td></tr> <tr><td>11月</td><td>3</td></tr> <tr><td>12月</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境					2	4	2					1	2	11	月刊 廃棄物		1								1				2	日経エコロジー		1			1	1		5	3	2	1		2	16	日経エレクトロニクス		1	1	4	2	6	2	4	3	3		1	2	29	日経ものづくり			2		1			2	3	2		1	4	15	計		3	3	4	6	11	4	11	9	8	1	3	10	73	月	出現回数	1月	3	2月	3	3月	4	4月	6	5月	11	6月	4	7月	11	8月	9	9月	8	10月	1	11月	3	12月	10
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																						
月刊 地球環境					2	4	2					1	2	11																																																																																																																						
月刊 廃棄物		1								1				2																																																																																																																						
日経エコロジー		1			1	1		5	3	2	1		2	16																																																																																																																						
日経エレクトロニクス		1	1	4	2	6	2	4	3	3		1	2	29																																																																																																																						
日経ものづくり			2		1			2	3	2		1	4	15																																																																																																																						
計		3	3	4	6	11	4	11	9	8	1	3	10	73																																																																																																																						
月	出現回数																																																																																																																																			
1月	3																																																																																																																																			
2月	3																																																																																																																																			
3月	4																																																																																																																																			
4月	6																																																																																																																																			
5月	11																																																																																																																																			
6月	4																																																																																																																																			
7月	11																																																																																																																																			
8月	9																																																																																																																																			
9月	8																																																																																																																																			
10月	1																																																																																																																																			
11月	3																																																																																																																																			
12月	10																																																																																																																																			

キーワード	ELV 指令																																																																																																																																																		
出現回数	9																																																																																																																																																		
状況	<ul style="list-style-type: none"> 特定の雑誌ではなく、日経エレクトロニクスで3回、日経エコロジーで2回、月刊地球環境、月刊廃棄物、日経デザイン、日経ものづくりでそれぞれ1回という出現状況だった。 各誌とも主に RoHS 関連の話題で使用されていた。 																																																																																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日経エレクトロニクス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日経デザイン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経ものづくり</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">ELV (ELV指令、廃自動車指令、廃自動車に関するEU指令)</p> <table border="1"> <caption>ELV 出現回数 (2005年)</caption> <thead> <tr> <th>時期 (2005年)</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>1</td></tr> <tr><td>2月</td><td>1</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1</td></tr> <tr><td>4月</td><td>2</td></tr> <tr><td>5月</td><td>0</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1</td></tr> <tr><td>7月</td><td>2</td></tr> <tr><td>8月</td><td>0</td></tr> <tr><td>9月</td><td>0</td></tr> <tr><td>10月</td><td>0</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1</td></tr> <tr><td>12月</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境					1									1	月刊 廃棄物		1												1	日経エコロジー					1			1						2	日経エレクトロニクス							1	1				1		3	日経デザイン				1										1	日経ものづくり			1											1	計		1	1	1	2	0	1	2	0	0	0	1	0	9	時期 (2005年)	出現回数	1月	1	2月	1	3月	1	4月	2	5月	0	6月	1	7月	2	8月	0	9月	0	10月	0	11月	1	12月	0
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																																																					
月刊 地球環境					1									1																																																																																																																																					
月刊 廃棄物		1												1																																																																																																																																					
日経エコロジー					1			1						2																																																																																																																																					
日経エレクトロニクス							1	1				1		3																																																																																																																																					
日経デザイン				1										1																																																																																																																																					
日経ものづくり			1											1																																																																																																																																					
計		1	1	1	2	0	1	2	0	0	0	1	0	9																																																																																																																																					
時期 (2005年)	出現回数																																																																																																																																																		
1月	1																																																																																																																																																		
2月	1																																																																																																																																																		
3月	1																																																																																																																																																		
4月	2																																																																																																																																																		
5月	0																																																																																																																																																		
6月	1																																																																																																																																																		
7月	2																																																																																																																																																		
8月	0																																																																																																																																																		
9月	0																																																																																																																																																		
10月	0																																																																																																																																																		
11月	1																																																																																																																																																		
12月	0																																																																																																																																																		

キーワード	エコ・エフィシエンシー
出現回数	0
状況、分析	<ul style="list-style-type: none"> 次項の「環境効率」という用語は使用されていたが、「エコ・エフィシエンシー」という表現は使用されていなかった。

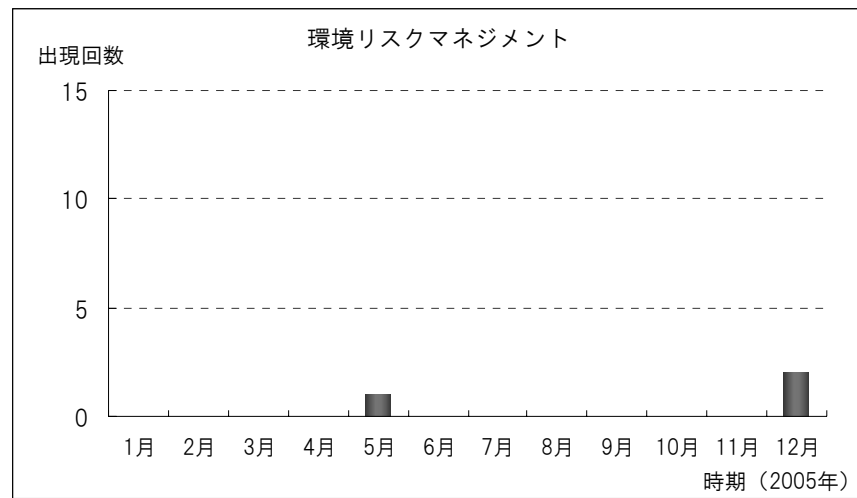
キーワード	環境効率																																																																																																																				
出現回数	22																																																																																																																				
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経エコロジーで14回と多く使用されていた。 日経エコロジー9月号の環境経営に関する指標特集のうちの4記事で使用されていたが、その他は各誌とも内容的、時期的な差はあまりなかった。 																																																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバルネット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>環境効率の出現回数 (2005年)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>出現回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1月</td><td>2</td></tr> <tr><td>2月</td><td>2</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1</td></tr> <tr><td>4月</td><td>1</td></tr> <tr><td>5月</td><td>3</td></tr> <tr><td>6月</td><td>2</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1</td></tr> <tr><td>8月</td><td>1</td></tr> <tr><td>9月</td><td>5</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1</td></tr> <tr><td>11月</td><td>0</td></tr> <tr><td>12月</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	グローバルネット								1						1	月刊 地球環境			1			1				1	1			4	月刊 廃棄物		1			1				1					3	日経エコロジー		1	1	1		2	2			4			3	14	計		2	2	1	1	3	2	1	1	5	1	0	3	22	月	出現回数	1月	2	2月	2	3月	1	4月	1	5月	3	6月	2	7月	1	8月	1	9月	5	10月	1	11月	0	12月	3
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																																																																							
グローバルネット								1						1																																																																																																							
月刊 地球環境			1			1				1	1			4																																																																																																							
月刊 廃棄物		1			1				1					3																																																																																																							
日経エコロジー		1	1	1		2	2			4			3	14																																																																																																							
計		2	2	1	1	3	2	1	1	5	1	0	3	22																																																																																																							
月	出現回数																																																																																																																				
1月	2																																																																																																																				
2月	2																																																																																																																				
3月	1																																																																																																																				
4月	1																																																																																																																				
5月	3																																																																																																																				
6月	2																																																																																																																				
7月	1																																																																																																																				
8月	1																																																																																																																				
9月	5																																																																																																																				
10月	1																																																																																																																				
11月	0																																																																																																																				
12月	3																																																																																																																				

キーワード	ファクター																																																																											
出現回数	2																																																																											
状況	<ul style="list-style-type: none"> グローバルネット、日経エコロジーで1回ずつ使用されていた。 																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバルネット</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経エレクトロニクス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>ファクター</p> <p>出現回数</p> <p>時期 (2005年)</p> </div>		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	グローバルネット		1												1	日経エコロジー										1				1	日経エレクトロニクス														0	計		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																														
グローバルネット		1												1																																																														
日経エコロジー										1				1																																																														
日経エレクトロニクス														0																																																														
計		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2																																																														

キーワード	廃棄物・リサイクルガバナンス
出現回数	0
状況	-

キーワード	環境リスクマネジメント
出現回数	3
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経エコロジー12月号で2回、月刊地球環境5月号で1回使用されていた。 この用語が使用されていた話題は、土壌汚染、環境プランナー、地球環境大賞受賞企業の紹介とさまざまであった。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
月刊 地球環境					1								1
日経エコロジー												2	2
計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3



キーワード	環境リスク管理																																																																						
出現回数	5																																																																						
状況	<ul style="list-style-type: none"> 日経エコロジーで3回、月刊廃棄物、月刊地球環境でそれぞれ1回ずつ使用されていた。 特定の話題でなく、さまざまなテーマに使用されていた。 																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月刊 地球環境</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>月刊 廃棄物</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>日経エコロジー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>環境リスク管理</p> <p>出現回数</p> <p>15 10 5 0</p> <p>1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月</p> <p>時期 (2005年)</p> </div>	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	月刊 地球環境				1									1	月刊 廃棄物								1					1	日経エコロジー							1		1		1		3	計	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0	5
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計																																																										
月刊 地球環境				1									1																																																										
月刊 廃棄物								1					1																																																										
日経エコロジー							1		1		1		3																																																										
計	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0	5																																																										

2.3.2. 検索結果のまとめ

キーワードごとに出現回数を見ると RoHS 指令が圧倒的に多かったが、環境配慮設計に関するキーワードなどは類似または同様の意味を示す用語もそれぞれ別に検索をしたため、類似または同様の意味ごとにキーワードをまとめ、それぞれの出現回数をまとめると表 2-4 のようになる。RoHS 指令関連の出現回数が 82、次いでライフサイクルアセスメント (LCA) が 52、環境配慮製品関連が 49、であった。

表 2-4: カテゴリごとの出現回数

キーワード	記事数
環境配慮設計 エコデザイン DfE	35
環境配慮型製品 環境配慮製品 環境配慮型商品 環境調和型製品 環境調和製品 環境調和商品 エコプロダクト (エコプロダクツ) グリーンプロダクト (グリーンプロダクツ)	49
環境配慮情報	4
環境効率、エコ・エフィシエンシー	22
ファクター (ファクターX, ファクター10 など)	2
ライフサイクルアセスメント LCA	52
ライフサイクル設計	0
ライフサイクルマネジメント ライフサイクル管理	6
RoHS 指令 ELV 指令	82
廃棄物・リサイクルガバナンス	0
環境リスクマネジメント 環境リスク管理	8

第3章 環境配慮設計の普及状況に関するヒアリング

3.1. 調査方法

企業における環境配慮設計の概念の普及、実践状況について、対面ヒアリングにより調査を行った。環境報告書を担当している部署にヒアリングを申し込み、基本的には環境管理部や CSR 推進部などの環境・CSR に関連する部署の担当者にインタビューしている。ヒアリング調査は 2005 年 12 月から 2006 年 3 月に実施した。

ヒアリングでは、調査キーワードを順に提示し、部署での認知度、実践状況を聞き、普及状況、実践状況として整理した。認知度、実践状況については、認知度向上のための社内広報、実践している事例、今後の活動予定などを聞いたうえで判断している。

さらに、将来的に普及度を高めていくにはどうすればよいと考えているか、意見を求めた。この回答の一部は「5.2. 環境配慮設計普及のために」の中にまとめている。

3.1.1. 対象企業

製造業を中心に、リサイクル、流通、小売、金融・証券などを含む全 74 社にヒアリングした。製造業では、素材メーカー、自動車、電機などの業種についてヒアリングを行った。製造業に関しては大企業から中小の企業へのヒアリングを行っているが、その他の業種については、環境報告書を発行し、環境管理や CSR の専門部署がある大きな企業にヒアリングを行った。また、対象企業は東京近郊の企業が中心である。

ヒアリング対象企業数とその内訳を表 3-1 に示す。

表 3-1: ヒアリング対象企業数とその内訳

業種	対象企業数
製造業合計	44
電気電子機器製造業	11
輸送用機械器具製造業	7
一般機械器具製造業	6
食品・医薬品製造業	3
その他の製造業	17
建設業	4
情報通信業	3
運輸業	4
卸売業	3
小売業	7
金融・保険業	3
サービス業	6
総計	74

3.1.2. ヒアリングキーワード

環境配慮設計に関するヒアリングのキーワードとして、以下のものを用いた。

■ 環境配慮設計キーワード

- 環境配慮設計、環境調和型設計、エコデザイン
- 環境配慮型製品、環境調和型製品、エコプロダクト（エコプロダクツ）、グリーンプロダクト（グリーンプロダクツ）
- 製品アセスメント、LCA [環境配慮設計のツールとして]

■ 環境配慮設計のガイドラインなどに関するキーワード

- ISO TR 14062 (Environmental management — Integrating environmental aspects into product design and development)
- IEC Guide 114
- EU EuP 指令 (Directive 2005/32/EC on the eco-design of Energy-using Products)
- ライフサイクル設計

■ エコラベル（環境配慮設計された製品）

- エコラベル
- エコマーク
- エコリーフ

■ 化学物質管理

- EU RoHS 指令（Directives 2002/95/EC on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment）
- J-MOSS（JIS C 0950）
- REACH（Registration, Evaluation and Authorisation of Chemicals）
- GHS（Global Harmonized System）
- PRTR（Pollutant Release and Transfer Register）
- MSDS（Material Safety Data Sheet、製品安全データシート）

■ 関連キーワード（環境配慮設計の普及状況を検討するため）

- 廃棄物・リサイクルガバナンス
- 環境リスクマネジメント、環境リスク管理
- ISO 14001、環境マネジメントシステム
- グリーン購入法
- グリーン調達
- CSR（Corporate Social Responsibility、企業の社会的責任）
- 3R、リデュース、リユース、リサイクル
- 家電リサイクル法
- 自動車リサイクル法
- 容器包装リサイクル法
- EU WEEE 指令
- 地球温暖化、京都議定書
- 二酸化炭素排出権取引
- CDM/JI

3.1.3. 普及状況、実践状況のランク付け

普及状況（キーワードの認知度）、実践状況について、A～Dの4つのランクに分けて分類した。またそれぞれのランクを数値化し、各業種での平均点を算出して比較・分析を行った。以下にランク付けの基準および点数を示す。

■ キーワードの認知度

A	全社的に認知しており、概念、取り組み事例も浸透している。	3点
B	専門部署では認知しており、他部署でも認知されていることが期待される。 ○ 社内広報、掲示板などで広報されている。 ○ 環境報告書、カタログ、パンフレットなどでキーワードが使われている ○ 環境方針でうたわれている。 ○ 社内セミナー等で広報している。	2点
C	専門部署では認知しているが、他部署は不明。 積極的な広報は行っていない。	1点
D	専門部署でも認知していない。	0点

■ 実践状況

A	会社として取り組んでおり、優れた実績がある。(事例を挙げられる。)	3点
B	会社として取り組んでいる。 ○ 環境マネジメントシステム等で文書化されている。 ○ ホームページ、掲示板などで取り組みが広報されている。	2点
C	現在取り組んでいないが、今後取り組む予定	1点
D	取り組んでいない。また、今のところ取り組む予定はない。	0点

なお、ランク付けについては、業種として取り組む必要のない法令などのキーワードに関連する取り組みを行っていない場合も、集計の都合上、Dとしている。たとえば、サービス業では、RoHS指令は具体的な取り組みを必要としないが、この場合にはDとなる。

3.2. 調査結果

3.2.1. 結果の概要

- 前半の、比較的一般的なキーワードにおいては、認知度・実践度ともに業種間での大きな差は見られない。唯一、卸売（建設機械、住宅関連機器）ではやや低い回答となっている。
- 前半のキーワードの実践度についても、「D」回答が多いところは、業種として対象外であるところが主である。
- 各リサイクル法については、卸売（建設機械、住宅関連機器）や金融・保険業において認知度・実践度ともに低い傾向にあった。
- 環境配慮型製品や環境配慮設計のプロセスに関するキーワードについては、製造業の電気電子機器や食品・医薬品分野、また建設業での認知度・実践度が高かった。
- DfE ガイドラインについては、全業種を通して「C」回答または「D」回答が多く、製造業の電気電子機器分野においても「B」から「D」回答が多かった。
- エコラベルに関しては、卸売（建設機械、住宅関連機器）や金融・保険業において認知度・実践度ともに低い。
- 化学物質管理については、「RoHS 指令」「PRTR」、「MSDS」の認知度・実践度が高い傾向にあった。ただし、卸売（建設機械、住宅関連機器）や金融・保険業においては6つのキーワード全てについて認知度・実践度ともに低い。

3.3. 調査結果の分析

表 3-2 の業種別・キーワード別平均点をもとに、回答結果を分析する。また、付録 3 には、各業種における得点をまとめた表を添付しているので参照されたい。

表 3-2: 環境配慮設計に関する認知度及び実践度の業種別・キーワード別平均点

	環境配慮設計のプロセス	環境配慮型製品		製品アクセスメントチェックリスト	LCA	DfEガイドライン				エコラベル			化学物質管理								
		環境配慮型製品	エコグリーン型製品			ISO TR 14062	IEC Guide 114	EU EUP 指令	ライフサイクル設計	エコラベル	エコマーク	エコリーフ	EU RoHS 指令	J-MOSS (JIS C 0930)	REACH	GHS	PfPR	MSDS			
製造業	電気電子機器	認知度	2.6	2.4	2.6	2.6	2.2	2.0	0.8	0.7	1.2	1.4	2.2	2.3	1.6	2.5	1.7	1.1	0.6	1.9	1.9
		実践度	2.8	2.4	2.8	2.5	2.8	1.9	0.5	0.4	0.8	1.3	2.1	1.5	0.8	2.9	1.7	1.2	0.7	2.6	2.6
	輸送用機械器具 (自動車・自動車部品)	認知度	2.7	1.7	2.7	2.4	2.0	1.4	0.6	0.7	0.9	1.0	1.3	1.9	1.0	2.6	0.3	1.3	0.6	2.7	2.7
		実践度	2.6	2.3	2.1	1.7	2.1	2.1	1.1	0.6	0.1	0.9	0.1	0.7	0.1	2.1	0.0	0.7	0.0	3.0	3.0
	一般機械器具(建設機械、産業機械ほか)	認知度	2.0	1.5	2.0	1.7	1.7	1.3	0.2	0.0	0.2	0.0	1.7	2.0	0.2	1.3	0.3	0.8	0.8	1.2	1.7
		実践度	1.8	1.3	1.8	1.6	1.7	1.5	0.5	0.0	0.2	0.0	1.2	0.0	0.2	1.0	0.8	0.3	0.7	1.5	1.5
	食品・医薬品(食料品、飲料、医薬品)	認知度	2.7	2.7	2.7	2.7	2.3	2.3	0.7	0.7	1.3	1.7	2.0	2.3	2.0	2.0	0.7	2.0	2.0	2.7	2.7
		実践度	3.0	3.0	2.7	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0	0.3	1.0	0.3	1.7	0.3	1.0	0.0	1.0	1.0	3.0	3.0
	その他*	認知度	2.3	2.2	2.6	2.6	1.1	1.6	0.5	0.4	0.5	0.6	2.1	2.3	1.6	1.9	0.8	0.9	0.8	2.2	2.5
		実践度	2.4	1.6	2.6	1.9	1.5	1.6	0.1	0.1	0.1	0.6	1.4	1.5	0.6	1.9	0.9	0.8	0.8	2.6	2.7
	建設業	認知度	3.0	3.0	3.0	3.0	1.3	2.5	1.3	0.0	0.3	0.0	2.0	2.5	0.8	0.8	0.3	0.8	0.0	1.3	2.0
		実践度	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	0.8	0.0	3.0	1.5	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	2.5
情報通信業	認知度	2.0	1.3	3.0	3.0	1.7	2.0	3.0	3.0	3.0	1.0	2.3	2.3	0.7	0.7	0.7	0.3	0.7	0.3	0.3	
	実践度	2.3	2.3	3.0	3.0	1.7	1.7	3.0	3.0	3.0	1.7	1.7	1.7	1.3	1.7	0.0	0.0	0.0	1.0	1.7	
運輸業	認知度	1.0	1.3	1.3	1.8	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.0	2.3	0.5	1.0	0.8	0.5	0.3	1.5	1.3	
	実践度	1.5	2.0	1.5	2.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	1.8	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	
卸売・小売業	卸売 (建設機械、住宅関連機器)	認知度	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
		実践度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小売 (各種商品)	認知度	2.1	2.4	2.4	2.7	0.9	1.6	0.1	0.1	0.1	0.6	2.7	2.9	0.7	0.9	0.6	0.4	0.7	0.9	1.4
		実践度	1.9	2.3	2.3	2.7	0.7	1.3	0.1	0.1	0.1	0.4	2.6	2.6	0.3	0.4	0.0	0.0	0.3	1.3	2.0
金融・保険業	認知度	1.0	1.0	1.7	1.7	0.7	1.0	0.3	0.3	0.3	0.7	1.7	1.7	0.7	1.0	0.3	0.7	0.7	0.7	0.7	
	実践度	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
サービス業	認知度	1.2	1.3	1.2	1.5	1.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.3	1.3	0.7	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	1.2	1.7	
	実践度	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.5	

(表 3-2 つづき)

加点方法 「A」回答:3点 「B」回答:2点 「C」回答:1点 「D」回答:0点 (3点満点)	廃棄物ガバナンス	リサイクルガバナンス	環境リスクマネジメント	環境リスク管理	環境マネジメント、CSR			3R	リデュース	リユース	リサイクル	家電リサイクル法	自動車リサイクル法	容器包装リサイクル法	EU WEEE指令	地球温暖化				
					ISO14001	グリーン購入法	グリーン調達	CSR								地球温暖化	京都議定書	二酸化炭素排出権取引	CDM/JI	

製造業	電気電子機器	認知度	1.4	1.4	2.1	2.0	3.0	2.2	2.4	2.5	2.5	2.5	2.6	2.5	2.5	2.3	2.1	2.9	2.8	2.0	1.5	
		実践度	2.4	2.4	2.3	2.3	2.6	2.3	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8	2.0	1.5	2.3	2.4	2.7	2.7	0.5	0.5
	輸送用機械器具 (自動車・自動車部品)	認知度	0.1	0.1	1.6	0.3	3.0	2.6	2.7	2.1	2.9	2.9	2.9	3.0	2.7	2.7	2.4	1.3	2.9	2.9	2.7	1.6
		実践度	2.7	2.7	2.7	2.3	3.0	2.4	2.3	2.1	3.0	3.0	3.0	3.0	0.9	2.1	2.0	0.4	2.9	2.9	1.4	0.4
	一般機械器具(建設機械、産業機械ほか)	認知度	2.0	1.8	2.3	2.3	2.0	1.8	1.4	1.8	2.5	2.5	2.5	2.7	2.2	2.2	1.8	1.0	2.2	1.8	1.3	0.7
		実践度	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8	1.5	1.3	1.7	2.2	2.2	2.2	2.2	1.3	1.3	2.7	0.3	1.8	1.7	0.7	0.8
	食品・医薬品(食料品、飲料、医薬品)	認知度	2.0	2.0	2.7	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	3.0	3.0	3.0	3.0
		実践度	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	3.0	1.0	3.0	3.0	1.3	1.3
	その他*	認知度	1.6	1.7	2.2	2.1	2.9	2.6	2.4	2.4	2.7	2.8	2.6	2.8	2.5	2.4	2.4	1.1	2.7	2.6	1.8	1.2
		実践度	2.4	2.4	2.5	2.4	2.6	2.4	2.5	2.4	2.6	2.7	2.3	2.7	1.9	1.4	2.0	1.3	2.2	1.9	0.8	0.7
建設業	認知度	1.5	1.5	2.5	2.5	3.0	3.0	2.8	2.3	3.0	2.8	2.8	3.0	2.5	1.8	1.8	0.8	2.8	2.8	1.8	1.5	
	実践度	2.8	2.8	3.0	3.0	2.8	3.0	2.8	2.3	3.0	2.8	2.8	3.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8	1.5	2.0	
情報通信業	認知度	1.0	1.0	1.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.7	2.7	3.0	3.0	3.0	1.3	3.0	3.0	2.7	2.0	
	実践度	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	0.0	2.0	0.0	3.0	3.0	0.3	0.3	
運輸業	認知度	0.5	0.5	1.3	2.0	2.5	2.3	1.5	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	1.8	1.8	1.8	0.5	3.0	2.8	1.8	1.8	
	実践度	2.5	2.5	1.8	2.5	2.3	2.8	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.3	1.5	0.0	3.0	3.0	0.5	0.3	
卸売・小売業	卸売 (建設機械、住宅関連機器)	認知度	0.7	0.7	1.0	1.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	
		実践度	0.0	0.0	0.3	0.3	0.7	0.0	0.0	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小売 (各種商品)	認知度	2.4	2.4	2.3	2.3	3.0	2.6	2.4	2.3	2.7	2.7	2.7	2.9	2.1	2.1	2.4	0.6	2.7	2.7	2.0	1.4
		実践度	2.6	2.6	2.6	2.4	3.0	2.7	2.3	3.0	2.7	2.7	2.7	2.9	2.1	1.1	2.6	0.3	2.9	2.9	1.6	0.9
金融・保険業	認知度	0.3	0.3	1.7	1.7	2.7	1.3	1.3	3.0	2.7	2.7	2.7	2.7	1.3	1.7	1.3	0.3	3.0	3.0	2.0	1.0	
	実践度	2.7	2.7	2.7	2.7	2.0	2.3	1.7	3.0	2.7	2.7	2.7	2.7	1.0	1.0	1.0	0.0	2.0	2.0	1.0	1.0	
サービス業	認知度	1.7	1.7	2.0	2.0	1.0	1.7	1.3	2.0	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	1.0	2.0	0.2	1.0	1.0	0.5	0.7	
	実践度	2.2	2.2	2.2	2.2	1.0	1.5	1.2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.5	2.0	0.0	1.0	0.5	0.5	0.2	

3.3.1. キーワードごとの傾向

キーワードごとに回答の傾向をまとめる。

■ 環境配慮型設計、環境調和型設計、エコデザイン

- 全体として、環境配慮型製品等 4 つのキーワードと比較して、認知度がやや低い傾向にあった。
- 業種別の認知度は、建設業が平均点 3 点、食品・医薬品製造業が 2.7 点と高かった。電気電子機器製造業、輸送用機械器具製造業では、開発・設計部署での認知度は 2 点台後半だったが、営業部署ではそれよりもやや低かった。
- 業種別の実践度は、食品・医薬品製造業と、建設業で平均点 3 点と高かった。
-

■ 環境配慮型製品、環境調和型製品、エコプロダクト、グリーンプロダクト

- 全体として、「エコプロダクツ展」の影響により「エコプロダクト」の認知度がより高かった。「環境配慮型製品」、「環境調和型製品」は、実践度が高い企業で特に高かった印象があり、実践度が低い企業や業種として対象外の企業では「言葉はあまり使わないが意味は分かる」、と回答する企業が目立った。「グリーンプロダクト」は 4 つのキーワードの中では比較的認知度が低い印象だった。
- 開発・設計部署と営業部署における認知度を比較すると、製造業では開発・設計部署での平均点が高いのに対し、運輸業、小売業、サービス業では営業部署での平均点の方が高かった。
- 業種別の認知度・実践度ともに、建設業、情報通信業で特に高く、平均点 3 点だった。電気電子機器製造業、食品・医薬品製造業、その他の製造業においても、ほぼ 2 点台後半と高かった。最も低いのは卸売業で、認知度は 0.3 点、実践度は 0.0 点だった。
-

■ 製品アセスメントチェックリスト、LCA

- 全体として、「環境配慮製品」や「環境配慮設計」等のキーワードよりも認知度・実践度ともに低めで、0 点台～2 点台前半が多かった。
- 二つのキーワード間で比較すると、業種によって「製品アセスメントチェックリスト」の方が平均点が高い場合、「LCA」の方が高い場合があった。
- 業種別の認知度は、食品・医薬品製造業が 2.3 点、電気電子機器製造業が 2.0～2.2 点と、製造業が比較的高かった。

■ ISO TR 14062、IEC Guide 114、EU EuP 指令、ライフサイクル設計

- 全体として、「環境配慮製品」や「環境配慮設計」、「製品アセスメントチェックリスト」、「LCA」等のキーワードよりも認知度・実践度ともに低めで、0 点台～1 点台前

半が多かった。

- 4つのキーワード間で比較すると、「ISO TR 14062」、「IEC Guide 114」、「EU EuP 指令」の3つと、「ライフサイクル設計」では、傾向に差があった。
- 業種別の認知度・実践度は、情報通信業で平均点3点（ライフサイクル設計は1点）だったほかは、ほぼ全ての業種で0～1点台だった。運輸業、卸売業、サービス業では0～0.3点と低い平均点だった。

■ エコラベル、エコマーク、エコリーフ

- 三つのキーワード間で比較すると、「エコラベル」と「エコマーク」よりも、「エコリーフ」の方が認知度・実践度ともに低かった。「エコラベル」と「エコマーク」では、「エコラベル」の方がやや低かった。
- 業種別の認知度は、小売業で特に高く、「エコラベル」2.7点、「エコマーク」2.9点だった。
- 業種別の実践度は、建設業で「エコラベル」、「エコマーク」とともに3点、小売業で「エコラベル」、「エコマーク」とともに2.6点だった。

■ EU RoHS 指令、J-MOSS

- 2つのキーワード間で比較すると、認知度・実践度ともに「RoHS 指令」の方が「J-MOSS」よりも高かった。
- 「RoHS 指令」の業種別の認知度は、輸送用機械器具製造業で2.6点、電気電子機器製造業で2.5点と高かった。それ以外の製造業では1.3～1.9点、非製造業では0～1点だった。
- 「J-MOSS」の業種別の認知度は、電気電子機器製造業で1.7点だったが、それ以外の業種は全て0点台だった。
- 「RoHS 指令」の業種別の実践度は、電気電子機器製造業で2.9点、輸送用機械器具製造業で2.1点だった。
- 「J-MOSS」の業種別の実践度は、電気電子機器製造業で1.7点だったが、それ以外の業種は全て0点台だった。
- 電気電子機器製造業以外の業種で若干実践度がある理由として、メインではないが事業の一部として電気電子機器を扱っている企業があること、また「現在のところ直接関係はないが、情報収集はしている」という企業は「C」回答として扱っていることなどがある。

■ REACH、GHS

- 全体として、認知度・実践度ともに、「RoHS 指令」より低かった。
- 2つのキーワード間で比較すると、業種によって多少の差はあるが、全体としては認

知度・実践度ともに大きな相違はなかった。

- 業種別の認知度は、食品・医薬品製造業で高く、2点だった。そのほか、製造業が非製造業よりも高い傾向にあった。
- 業種別の実践度は、食品・医薬品製造業で1点、電気電子機器製造業で0.7～1.2点だった。

■ PRTR、MSDS

- 「EU RoHS 指令」、「J-MOSS」、「REACH」、「GHS」と比較し、認知度・実践度ともに高かった。
- 業種別の認知度は、輸送用機械器具製造業、食品・医薬品製造業で2.7点と高かった。
- 業種別の実践度は、輸送用機械器具製造業、食品・医薬品製造業、運輸業で3点だった。

■ 廃棄物・リサイクルガバナンス

- 全体的に規模の大きい企業においても認知度が比較的低い傾向にあった。また、言葉の意味は理解できるものの、「耳にしたことがない」、「言葉として使わない」、という回答も目立った。ただし、認知度は低い実践は行っているという回答が多く、卸売業（建設機械、住宅関連機器）を除く全業種において認知度よりも実践度の方が高くなっている。
- 業種別の認知度は、一般機械器具製造業や食品・医薬品製造業、小売業（各種商品）が平均点1.8～2.4点と、比較的高い傾向にあった。
- 業種別の実践度は、食品・医薬品製造業と情報通信業で特に高く、平均点は満点の3点（全社で「A」回答）だった。そのほか、輸送用機械器具製造業、建設業、運輸業、小売業（各種商品）、金融・保険業でも高い傾向にあった。卸売業（建設機械、住宅関連機器）ではとくに実践度が低く、平均点0点（全社で「D」回答）だった。

■ 環境リスクマネジメント、環境リスク管理

- 全体として、平均点2点以上の業種が多いが、二つのキーワードのうちどちらか一方のみを積極的に使用しているとする企業があった。そのため、認知度の集計では平均点が低くなっている。
- 二つのキーワード間で比較すると、「環境リスクマネジメント」の認知度が高かったのは電気電子機器製造業、輸送用機械器具製造業、食品・医薬品製造業、その他の製造業と、製造業に集中した。逆に「環境リスク管理」の認知度が高かったのは、情報通信業、運輸業だった。それ以外の6業種では、キーワード間の認知度の相違はなかった。
- 業種別の認知度は、建設業がもっとも高く、平均点2.5点だった。

- 業種別の実践度では、食品・医薬品製造業、建設業、情報通信業で特に高く、平均点 3 点だった。そのほか、輸送用機械器具製造業、その他の製造業、運輸業、小売業（各種商品）、金融・保険業で高い傾向にあった。卸売業（建設機械、住宅関連機器）では平均点 0.3 点と低かった。

■ ISO14001、グリーン購入法、グリーン調達、CSR

- 認知度・実践度ともに、3R と同程度に高かった。ISO に関しては、9 業種で平均点 2 点代後半～3 点だった。
- 業種別の認知度としては、食品・医薬品製造業と情報通信業で全て 3 点だった。製造業の中では、一般機械器具製造業が 1.4 から 1.8 点と低かった。最も低いのは卸売業で、0～0.3 点だった。
- 業種別の実践度としては、食品・医薬品製造業で全て 3 点だったほか、多くの業種で高い平均点だった。

■ 3R、リデュース、リユース、リサイクル

- 全体として、他のキーワードと比較して認知度・実践度ともに高く、卸売業（建設機械、住宅関連機器）を除く全業種で平均点 2 以上、食品・医薬品製造業、運輸業では 3 点だった。環境マネジメントシステムの中に組み込んでおり、社内教育や実践を積極的に行っていると回答する企業が目立った。
- キーワード間での認知度・実践度を比較すると、「リサイクル」の平均点が高い業種、「3R」と「リサイクル」の平均点と同程度に高い業種など、「3R」と「リデュース」の平均点と同程度に高い業種などがあつた。
- 業種別の認知度は、食品・医薬品製造業、運輸業で平均点 3 点、その他の業種もほぼ平均点 2.5 以上だった。唯一、卸売業は平均点 0.7 点と低い傾向にあつた。
- 業種別の実践度は、輸送用機械器具製造業、食品・医薬品製造業、情報通信業、運輸業で平均点 3 点だった。そのほか、電気電子機器製造業、小売業、金融・保険業で平均点 2.5 以上だった。卸売業は平均点 0.3 点と低い傾向にあつた。

■ 家電リサイクル法、自動車リサイクル法、容器包装リサイクル法

- 全体的な回答の傾向として、「業務に関係あるため全社的に認知している」、「業務に関係ある部署の者のみ認知している」、「業務に関係しないが、一般常識として認知している」といった回答が多かった。
- また実践度は、業務に関係ない場合「D」回答としているため、無関係の業種では平均点が低くなっている。ただし、家電をオフィスで使用している場合など、ユーザーとしてリサイクル法に従っている場合、実践しているとみなしている。
- 業種別の認知度は、食品・医薬品製造業で特に高く、満点である。そのほかの業種で

も卸売業を除いてすべて1~2点台だった。

■ EU WEEE 指令

- 全体として、国内のリサイクル関連法に比較すると認知度・実践度ともに低い傾向にあり、平均点は0または1点台が大半を占める。
- 業種別の認知度では、電気電子機器製造業が2.1点と、唯一2点台で最も高かった。1点台（専門部署は認知）は輸送用機械器具製造業、一般機械器具製造業、食品・医薬品製造業、その他の製造業、情報通信業と、製造業を中心に専門部署では認知されていた。最も低かったのは卸売業だった。
- 業種別の実践度でも、電気電子機器製造業が2.4点で最も高かった。その他の業種で若干実践度がある理由として、メインではないが事業の一部として電気電子機器を扱っている企業があること、また「現在のところ直接関係はないが、情報収集はしている」という企業は「C」回答として扱っていることなどがある。

■ 地球温暖化、京都議定書

- 全体的に認知度・実践度ともに高い傾向にあったが、卸売やサービス業ではやや低い平均点であった。「新聞やニュースなどで頻繁に報道されているため認知している」、と回答した企業が多く、社内の環境教育よりもマスメディアの影響が大きかったと思われる。
- キーワード間での認知度の差はあまり見られず、関連するキーワードとしてセットで認知されているようである。
- 業種別の認知度では、食品・医薬品製造業、情報通信業、金融・保険業で平均点3点だったほか、多くの業種で平均点2.5以上と高い傾向にあった。一方、卸売は0.3、サービス業1.0点と低かった。
- 業種別の実践度については、食品・医薬品製造業、情報通信業、運輸業で平均点3点だった。電気電子機器製造業、輸送用機械器具製造業、建設業、小売業でも平均点が2.7~2.9点と高かった。

■ 二酸化炭素排出権取引、CDM/JI

- 「地球温暖化」や「京都議定書」と比較すると認知度・実践度ともに低い傾向にあった。認知度については、「専門部署のみ認知している」または「専門部署と、業務で関係する一部の担当部署で認知している」という回答が多かった。
- 二つのキーワード間で比較すると、「二酸化炭素排出権取引」が「CDM/JI」よりも若干高い傾向にある。
- 業種別の認知度は、食品・医薬品製造業で平均点が3点と高かったほか、輸送用機械器具製造業、情報通信産業でもやや高い傾向にあった。

- 業種別の実践度は、建設業で最も高く、そのほか輸送用機械器具製造業、食品・医薬品製造業、金融・保険業でも比較的平均点が高い。

3.4. まとめ

環境配慮型製品や環境配慮型設計のプロセスに関するキーワードは、各種製造業、建設業、情報通信業を中心に広く認知・実践されており、これらの業種では 3R や ISO14001 といったキーワードとほぼ同程度の平均点であった。「エコプロダクト」などの認知度は、実際の業務を通じて認知しているほか、「エコプロダクツ展」などマスメディアでの出現度も影響したと考えられる。

それに比べると、製品アセスメントチェックリストや LCA は、やや認知度・実践度が落ちた。やはり製造業を中心に平均点が高かったが、建設業での実践度は輸送用機械器具製造業のそれよりも高かった。

以下に、ヒアリング調査を行ったインタビューアーの受けた印象を記載する。

○ 建設機械

業界をリードする企業は、使用時での環境負荷削減を主眼に環境配慮設計を行っている。また、その部品メーカーも使用時の高効率性や省エネを主眼として開発を行っている。自動車業界が先進的な取り組みを行っているため、その影響を受けて取り組まざるを得ない状況であるようである。

○ 自動車部品

「環境配慮設計」は組立メーカー（セットメーカー）では普及しているが、組立メーカーにモジュールや部品を供給するサプライヤでは差がある。現在、EU の ELV 指令や RoHS 指令の影響で製品中の環境負荷物質の対策が最重要課題となっており、特に中小の部品メーカーでは、環境負荷物質対策が環境配慮設計とほぼ同義となっている。

リサイクルに関しては、部品メーカーとしては対応が難しい。特に要素部品メーカーでは納入先からの仕様を満たす製品の提供が優先され、その条件の下では環境配慮設計としてできることが限られている。設計レビューで用いる環境配慮のチェックシートを持っているところもあるが、要素部品メーカーでは組立メーカーのような環境配慮設計を打ち出すことは困難である。

○ 製造業：電気電子機器製造業

認知度・実践度ともに高く、環境配慮は行って当然と考えていると答えるところが多かった。

○ 製造業：日用品

グリーン購入やエコマークなどの対応を当然行うべき環境配慮だとする傾向があるようである。

○ 建設業

環境配慮はシステムに組み込んで行っているところが多かった。

○ サービス業：リサイクル

リサイクル法に関し、事業に関係のある部分は詳しく理解している。

○ 素材

素材段階での環境負荷削減に努力しているが、電気電子機器メーカーからの要望には苦慮している模様である。調達指令を出す前に相談して欲しいという意向もあるようである。

○ 小売業

業界をリードする企業では、環境配慮商品を積極的に取り入れ、消費者にもその重要性をPRしようと活動を行っている。また、消耗品に関して設計段階からメーカーと共同して環境ブランドを立ち上げようとしているところもある。

○ 金融・保険業

SRI（Socially Responsible Investment、社会責任投資）やエコファンドには特に差し迫った必要性を感じていないが、自社のCSRは強く意識している印象を受けた。

○ 中小企業

環境に対応するための専門部署があるわけではなく、事業に必要な法規や規制を部分的に理解して対応している。例えば、グリーン購入法全般は理解していないが、拡販のために地方自治体の推奨製品の認定を受けているような企業もある。

○ 先進企業／非先進企業

先進企業としてメディアで度々紹介される企業においては意識も普及度も高い。それ以外の企業では「法律を守り、他社と同じレベルくらいまで対応すればよい」とするところもある。ISO 14001は取得しているところがほとんどであり、環境マネジメントの実践度は高い。B to Bの企業では、取引先からの要求にしたがっている印象があるが、実践度は高い。

○ 専門部署の活動

規模の大きい企業を中心に、専門部署ではかなり情報収集をしており、業種と関係ないキーワードでも比較的認知されている印象があった。専門部署以外では、業務と関係するキーワードでは認知度が高く、業務と無関係で知る必要のない部署では全く認知していないことが多い。

第4章 環境配慮設計プロセスの実際

環境配慮設計が普及していることが予想される電機、事務機器、自動車メーカーに対し、環境配慮設計の実態を把握するためのヒアリング調査を行った。ヒアリングは（財）製造科学技術センターのインバース・マニュファクチャリングフォーラムに設置された「環境配慮設計普及度調査委員会」のメンバー³が行った。ヒアリング調査の実施期間は 2005 年 10 月から 2006 年 3 月である。

4.1. ヒアリングによる調査の内容

ヒアリングによる調査では、環境配慮型製品の定義、環境配慮設計のプロセス、環境配慮設計の推進体制についての質問項目をまとめた調査票を事前に送り、ヒアリングを行った。また、ヒアリング当日には、これらに加え、全社的な目標と製品設計の目標の関連についても聞いている。

以下に、調査票の内容を示す。

4.1.1. 環境配慮型製品についての質問項目

1. 環境に配慮した製品

- (1) 環境に配慮した製品について、どのような呼び方をされていますか。
(例) エコプロダクツ
- (2) (1) の環境に配慮した製品の定義、もしくは選定基準はどのようなものですか。
- (3) 環境に配慮した製品（エコプロダクツ）が全製品に占める割合はどのくらいですか。また、その割合はどのように変化していますか。
- (4) 通常的环境に配慮した製品（エコプロダクツ）と、さらにそれを上回る製品（スーパーエコプロダクツ）がある場合、スーパーエコプロダクツの選定基準はどのようなものですか。また、スーパーエコプロダクツの割合はどのくらいですか。さらに、その割合はどのように変化していますか。

環境配慮型製品の定義、選定基準については、先に仕様を決めて製品開発するのか、結

³ メンバーリストは「環境配慮設計普及度調査委員会」名簿を参照

果的に開発された製品を評価した場合に環境配慮型製品に分類されるのかについても注意して聞いている。環境配慮型製品の定義、選定基準が設計における目標となっているかを聞いている。

4.1.2. 環境配慮設計のプロセスについての質問項目

2. 環境に配慮した製品をつくりだすプロセス

御社で実施されている環境配慮設計の方法について、IEC Guide 114 のフロー（図 5.1 を参照）で示される「製品企画」と「設計」に分けてお伺いします。最初にほぼ全ての製品で実施されている標準的な設計プロセスについて、次に代表的、先進的な環境配慮製品における設計プロセスについてお伺いします。

2.1. 環境配慮設計の標準的なプロセス

- (1) 製品企画の段階で決められる製品に対する環境側面の要求事項として、どのような項目が設定されていますか。
- (2) 製品企画は、どのような部署が主導し、どのようなメンバーにより策定されますか。
- (3) 製品への環境側面の要求事項はどのようなプロセスで決めていますか。また、そのときに用いるツールがあれば、その利用方法とあわせてご記入下さい。

(例) QFD⁴, ベンチマーク

2.1.2. 設計

- (1) 製品の環境側面に関する設計要求事項のうち、数値的目標が設定されるものにはどのようなものがありますか。また、その数値目標は、どのようなプロセスで、どのようなツールを使って設定していますか。
- (2) 環境配慮設計のために利用されている包括的なガイドラインや方法論がありますか。また、どのような部署でどのような使われ方をしていますか。

(例) IEC Guide 114, ISO 14062, 業界の製品アセスメントガイドライン

- (3) 業界で標準化されているガイドライン、ツールなどがありますか。また、それらをどのように利用されていますか。

(例) 業界の製品アセスメントガイドラインをもとに、独自の製品アセスメントガイドラインを策定している。

⁴ QFD: Quality Function Deployment、品質機能展開。顧客の要求を設計開発で扱う技術的なパラメータにマッピングし、パラメータの範囲や優先順位を明らかにし、品質を管理する手法。

2.2. 代表的・先進的な環境配慮製品における設計プロセス

代表的、先進的な環境配慮製品における設計プロセスについてお伺いします。

- (1) 代表的、先進的な製品を教えてください。
- (2) (1) の製品では、どのように製品企画が行われましたか。目標の設定、評価について、標準的なプロセスと比較した場合に特徴的な違いがありましたら教えてください。特に、製品に要求される項目、要求項目を選定する際に利用される支援ツールについて、標準的なプロセスとの違いはありましたか。
- (3) (1) の製品では、どのように設計プロセスが進められましたか。特に、検討項目、検討方法について、標準的なプロセスと比較した場合に違いがありましたか。

製品開発が環境配慮設計を想定して始まるのか、他の仕様を満たしているなかで結果として環境配慮設計になるのかなど、目標設定と結果の関係について注意してヒアリングしている。

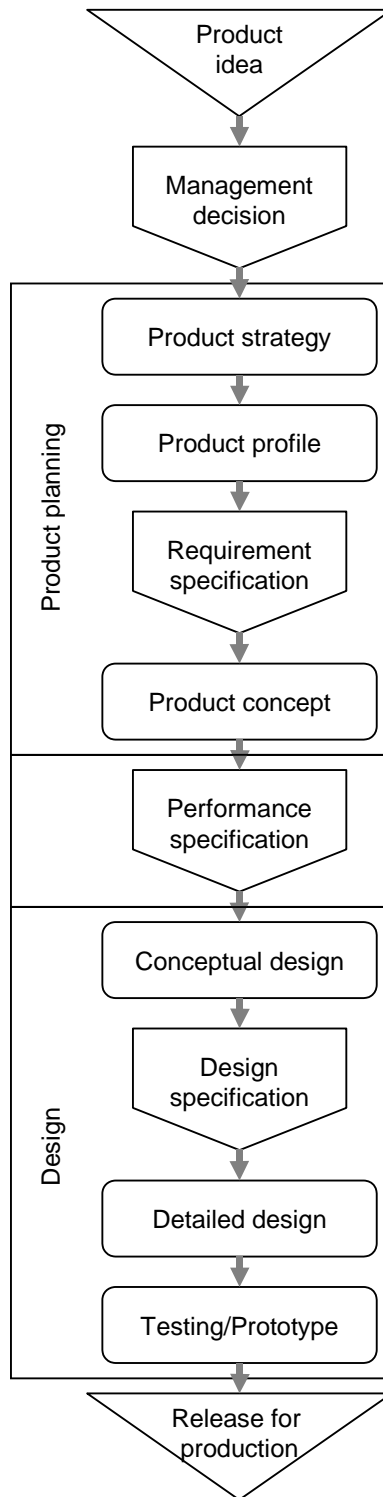


図 4-1: IEC Guide 114 の環境配慮設計のフロー

(調査票に添付)

4.1.3. 環境配慮設計の実施体制についての質問項目

3. 環境配慮設計の実施体制

環境配慮設計の実施のため、どのような体制を構築されていますか。担当部署とその役割、部署間の関係について教えてください。

環境配慮設計の実施体制として、たとえば設計・開発部門が中心に進め、環境部門が設計・開発部門のプロセスを確認するような仕組みが考えられる。また、ISO 9001 のような品質マネジメントシステムや ISO 14001 のような環境マネジメントシステムとの関連で環境配慮設計の実施体制を構築している可能性も考えられる。また、環境配慮設計を進めるにあたり、部門間での情報の共有や情報のやり取りがどのように行われているかを聞くことも実施体制についての実像把握のヒントとなると考え、これらについてヒアリングすることで、環境配慮設計の実施体制の現状把握を目指した。

4.2. ヒアリング結果

環境配慮型製品、環境目標、ツールについては、独自の呼称を設けている企業もあるが、ここでは一般的な名称に置き換えて整理している。電気電子機器、事務機器メーカー、自動車・自動車部品メーカーに分けて整理する。なお、掲載した企業のヒアリング記録はその企業の取り組みの内容や状況であり、必ずしも業界全体の動向を表しているわけではないことに注意が必要である。

4.2.1. 電気電子機器（1）

製造している主な機器: 家電製品、PC、AV 機器、照明機器など

(1) 環境配慮型製品の定義

- 環境配慮型製品をグリーンプロダクツ（Green Products）と定義し、必須条件および特長項目を満たすことと、製品アセスメントの実施を必須としている。必須条件は業界のトップレベルで設定している。特長項目には、温暖化防止効率、資源効率、化学物質があるが、現状では化学物質は必須となっており、温暖化防止効率、資源効率のいずれかを満たすことが必要である。
- 環境配慮型製品の割合は 85%以上である（2004 年度）。
- 通常の環境配慮型製品よりレベルの高い製品分類（スーパーGP）も設定している。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

製品の設計・開発のプロセス・フローの中で、製品アセスメントを用いて環境配慮設計を進めている。

○ 製品アセスメント

- 製品アセスメントを DR 0（目標設定確認）、DR 1（中間評価）、DR 2（最終評価（検証））のタイミングで実施する（図 5.2）。（DR: Design Review、設計レビュー）
- それぞれのタイミングで実施される製品アセスメントでは同じ項目が用いられる。

○ LCA

- 製品アセスメントの中で LCA を行う。
- フルモデルチェンジするものではすべての製品で行うが、マイナーチェンジの場合にはチームリーダーの判断による。
- LCAのツールとしては、Microsoft Excelベースのものを用いており、設計者が必要な情報をセルに入力すれば、CO₂やエネルギー指標が算定される。

(3) 目標設定

- 全社で環境に関する目標を設定している。
- 環境配慮型製品の割合を増やす（グリーンプラン 2010）。

(4) その他

- 家電リサイクルプラントで収集した使用済みプラスチックの再利用を進めている。
- 新技術を導入することにより、製品のエネルギー使用効率を高め、製品の環境負荷低減を進めるものもある。環境配慮設計に対して新技術開発を先行させている場合もある。

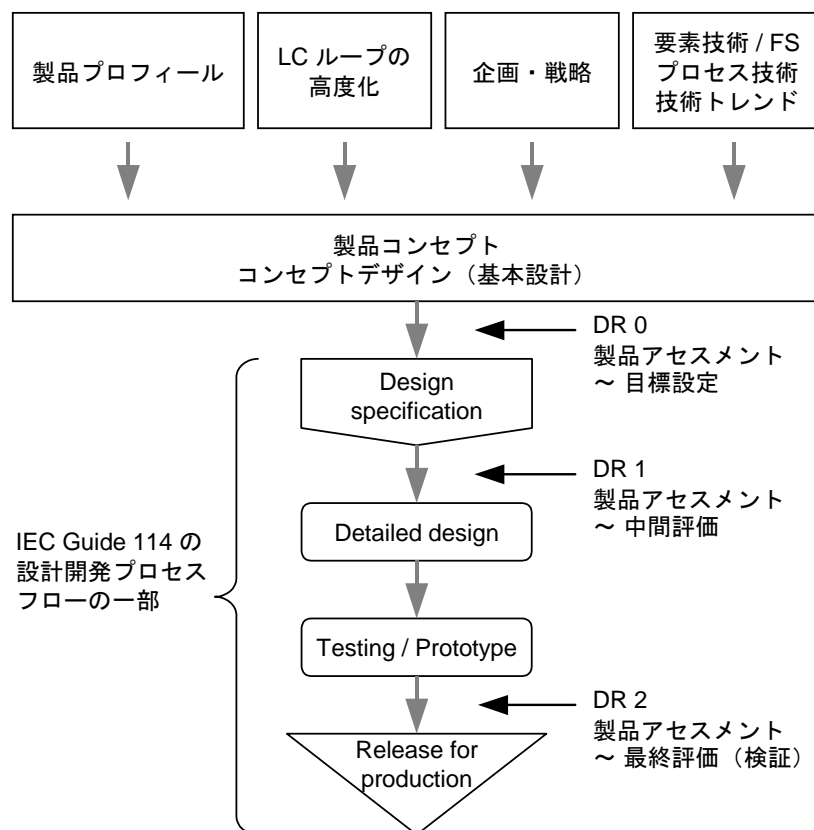


図 4-2: 製品アセスメント実施のタイミング

4.2.2. 電気電子機器（2）

製造している主な機器: 家電製品、PC、AV 機器、電子機器など

（1）環境配慮型製品の定義

- 環境配慮型製品と環境配慮型製品のうちでさらに環境効率のよいものを定めている。
- 環境配慮型製品は各事業部が設定した自主基準に合格した製品であり、グループの環境ラベルを添付する。各事業部の自主基準は環境部門がチェックする。
- 事業部で製品を評価後、環境部門で評価データをチェックして環境配慮型製品として認定する。なお、評価データそのものの検証は難しい。
- 環境配慮型製品の基準は、エコラベルの基準やトップクラスの他社製品ベンチマークを取り入れて厳しいものを設定している。開発中の技術も想定している。
- 対象となる製品のうち、7 割近くが環境配慮型製品の基準を満たしているが、環境配慮型製品の割合が数%になる見込みの基準に改訂中である。新基準設定後、5 年間で製品の 60%が環境配慮型製品の基準に合格するように技術向上を推進する。

（2）環境配慮設計のプロセス、ツール

○ 製品アセスメント

- 製品アセスメントを全製品に対して実施する。クライアントから要求や旧製品との互換性の維持のために設計変更できない場合などを除き、製品アセスメントに合格しない製品は販売できない。
- 製品アセスメントを企画から量産にいたる過程のどこで実施するかは、事業部によって異なる。研究開発部門がある場合は、製造部門への移管時に製品アセスメントを実施することもある。
- 製品アセスメントは、他の評価と同時に実施することになる。省エネルギー等は製品アセスメントと他の評価で重複して評価されている。
- 以前はアセスメントを 1 回しか行わない事業部もあったが、企画、設計、試作等の複数回の実施を推奨して改善した。
- 製品アセスメントガイドラインの内容は経団連地球環境憲章、リサイクル法に準拠して作成されている。
- 製品アセスメントシートによる評価では、項目に対して従来値、目標値、結果を記入して評価を行い、悪ければ再設計となる場合がある。

○ LCA

- グループ会社で開発している LCA を導入している。製品アセスメントでも LCA 評価を項目含めていることが多いが、結果そのものについては基準化していない。

○ その他

- 企画段階からライフサイクルプランニング（LCP）を取り入れている場合もある。LCP

は性能と環境性をどのように向上していくかについて、イメージを明確化し、関係者でのイメージ共有のツールとして有効である。

- リサイクル性にかかわる材料選択については、新商品の場合は企画段階では材料が決まっていない場合もあるが、デザイン重視製品はだいたい決まっていることが多い。継続商品ではまず前の製品の材料を引き継ぐ。

(3) 目標設定

- 製品全体でファクターを向上するという目標を掲げている。製品全体のファクターの計算には、各製品カテゴリの優良製品のファクターを用いて、それらの平均値として設定される。
- 製品のファクターの向上については、現状では、エアコンは省エネ性向上だけで大きく数値を上げている。また、携帯電話は多機能化がファクター向上に寄与しており、環境負荷自体は増大している。
- 製品開発設計段階で担当者がファクターの数値を目標として意識しているかは不明である。
- ファクターの目標値は現状の伸びや技術開発トレンドから延長して設定されている。事業部ごとのファクター目標値は推進部が示しているが、ファクター目標の個別製品へのブレイクダウンが難しい。
- 企業のあるべき姿、製品のあるべき姿はまだ見えていない。目標は個別に現状からの延長で作成しており、統一されたフレームによるものではない。

4.2.3. 電気電子機器 (3)

製造している主な機器: AV 機器、PC、電子機器など

(1) 環境配慮型製品の定義

- 環境配慮型製品の指定は特にない。
- 製品の環境情報の公開を進めており、製品の設計で配慮した項目を開示している。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ 製品アセスメント (事例より)

- DR で製品アセスメントを実施する。DR は会社としての意思決定のタイミングで行われる。
- 製品アセスメントシートには項目ごとに目標値と DR 時の達成値を記入する。
- 製品アセスメントシートは環境に関する部署が一括管理するが、事業部ごとに作成する。また、製品アセスメントシートの更新の際には、事業部と環境部門とのやり取り

を行って進めている。

○ LCA

- LCA は製品アセスメントのフローとは別に実施している。
- LCA は、結果の評価に用いている。

○ その他

- 解体性の評価はアセスメントで実施している。現在は家電リサイクル施設での解体の状況も考慮している。

(3) 目標設定（資源領域）

- 環境方針、中期目標を設定している。
- 企画の前段階で環境負荷削減をどのような手段で実現するか、シナリオの設定、戦略の策定を行う。
- 環境の部門で戦略策定のために実施可能な対策のリストを用意し、設計部門はこれをもとにして実現可能な削減対策を決め、目標の達成についてのコミットメントを行う。これにより目標と対策が乖離しないような仕組みとしている。

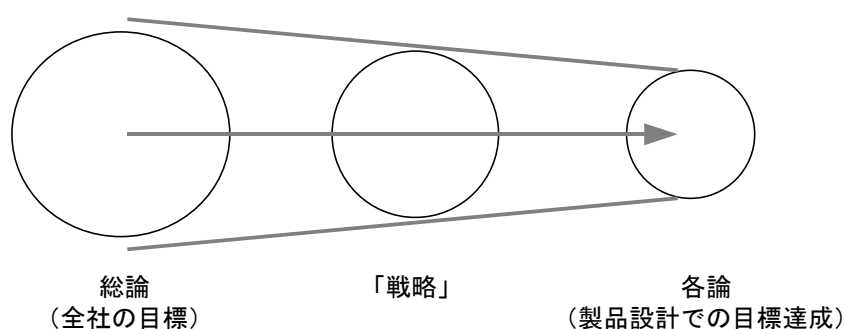


図 4-3: 総論から各論への落とし込み

(4) その他

○ 再生材料の入手と利用

- 再生材料の確保、使用促進を担当する横断的な購買部門がある。再生材料が継続的に使用されるように、材料の確保、設計者への働きかけを進めている。
- 前述の実施可能な対策リストの項目として検討される。

4.2.4. 電気電子機器（4）

製造している主な機器: PC、電子機器

(1) 環境配慮型製品の定義

- 環境配慮型製品のコンセプトは、性能、品質、価格、デザインに ECO（エコロジー）を加えたものである。
- 環境配慮型製品として、地球温暖化防止、資源循環、グリーン化、環境管理システム、製造プロセス、情報開示について定められた合計 24 項目のアセスメント基準（共通基準）を満たすことを要求している。新規の製品ではすべての製品が達成している。
- 環境側面について、他社より優れていることで差別化できてくる先進性のある製品（トップランナー製品）を別に設定している。共通基準と製品群ごとの環境性能を満足することが要求される。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ プロセス

- DR のタイミングで製品アセスメントを実施する。製品アセスメント実施のタイミングは図 5.4 のとおりである。

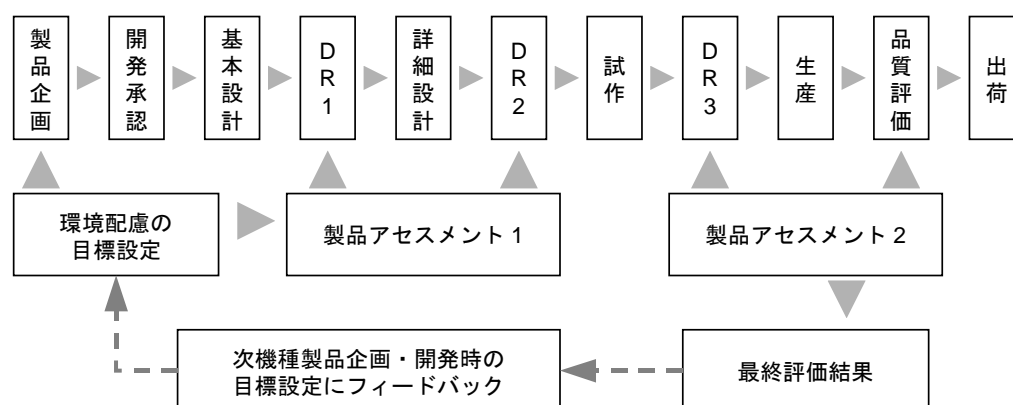


図 4-4: 設計開発のフローと製品アセスメントのタイミング

○ 製品アセスメント

- 製品アセスメントガイドラインは、JEITA の情報機器の環境設計ガイドライン（2000 年）をもとに作成している。ガイドラインが古くなっており、見直しを行う予定である。

○ LCA

- 自社のツールを使用する。

○ その他

- 分解性評価は製品アセスメントの中で行っている。
- 化学物質（環境負荷物質）については、グリーン購入データベースを導入して管理している。
- 設計プロセスに関しては、これからデータベースを整備するなど、準備が多い。

(3) 目標設定

- 中期計画の環境目標は環境経営推進会議によって決まる。
- ビジネスユニットごとの目標は全社の中期計画をもとに、各ビジネスユニットで作成される。

4.2.5. 電気電子機器（5）

製造している主な機器: PC、携帯電話、電子機器

(1) 環境配慮型製品の定義

- 環境配慮型製品の社内基準を作り、すべての製品が基準を満たすことを求めて進めてきた。2003 年度にすべての製品で達成し、現在はさらに進めるために省エネルギー、3R 設計、含有化学物質、環境貢献材料（植物系プラスチックなど）の要素のいずれかでトップランナー水準を実現したり他社で実現していないことを実現したりして、先進的な環境配慮型製品の基準を設けている。
- 社内基準は、製品アセスメントによる得点付けを行い、100 点満点で 90 点以上を要求する。
- 環境配慮型製品では、コストが大きくなった場合、環境側面での効果を優先する場合が多い。
- 営業からは製品の特徴の一つとして環境に関する特徴を求められる。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ プロセス

- 商品企画、基本設計、詳細設計、量産の最初の工程で DR を実施し、問題点、課題を抽出し、それぞれの DR の中で課題を解決する。DR で環境配慮に関するチェックを行う。

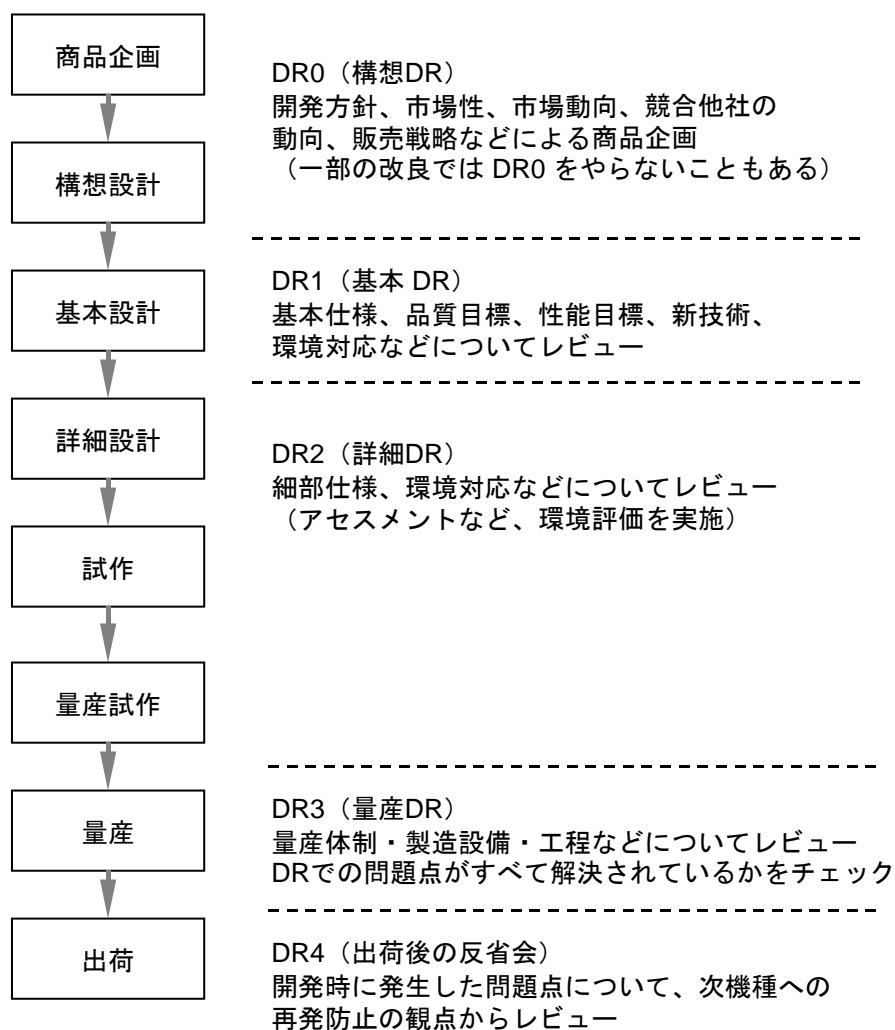


図 4-5: 設計のフローと DR のタイミング

○ LCA

- CO₂の発生量を把握するためにLCAを用いている。全製品に対してLCAを実施する。
- ライフサイクルの評価には製造工程のCO₂発生量なども評価対象としている。
- LIME を使っている。

○ その他

- 分解性、易解体性、リサイクル性などを 3D CAD を用いて評価する。
- 化学物質については、材料データベースでまとめている。
- ISO 14062、JEITA のガイドライン、ドイツのタイプ I 環境ラベルであるブルー・エンジェルなどを参考にする。

(3) 目標設定

- 製品ごとに新旧で比較する。(ファクターの利用は試行レベルであり、まだ目標設定には使っていない。)
- 製品に対する目標としては、全事業部の主要製品群から先進的な環境配慮型製品を出すことと、グループで指定している有害物質の全廃を設定している。

(4) その他

- 植物性プラスチックの使用を増やすような仕組みを設定している。
- 設計者は、ライフサイクルの観点での製品改善はあまり考えていないのではないか。寿命を延ばして資源効率を上げるような考え方はしていないと思われる。

4.2.6. 電気電子機器 (6)

製造している主な機器: FA 機器、設備関連機器

(1) 環境配慮型製品の定義

- 従来製品をベースに基準性能を決め、それを上回る製品を環境配慮型製品としている。環境配慮型の製品で本社に申請し、了解を得たものにはタイプIIエコラベルをつける。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ プロセス

- 設計者がアセスメントシートを記入し、DFE キーマン、上司がチェックする。
- アセスメントシートは設計部門の会議に提出する。この会議は、DR とは別に行う。

○ 製品アセスメント

- (財)家電製品協会の製品アセスメントガイドライン及び本社作成のDFE要覧をベースに、製品の特徴に合うように事業所で作成している。
- 共通の評価項目として14項目あり、製品に特有の評価項目を追加する。
- 製品アセスメントの評価項目としては、ライフサイクルのフェーズごとのチェック項目も設定している。RoHS遵守は必須項目である。
- 10%削減などのように削減量を数値で表し、それに応じた点数化をしている。
- 製品アセスメントは全社で行っている。

○ LCA

- 設計で材料・部品、製品製造時・使用時の消費電力等を入力するとLCA評価(LC-CO2)が自動的に計算されるようになっている。

(3) 目標設定

- 目標設定ではファクターを用いている。分子の性能ファクターは、基本機能と寿命の積を用いている。
- 全社での目標を製品に割り付けるわけではなく、全社目標が製品ごとに設定されたファクターをボトムアップ的に合計したものになっている。

4.2.7. 電気電子機器 (7)

製造している主な機器: エアコン

(1) 環境配慮型製品の定義

- 自社で定める製品環境基準で、100点満点で80点以上の製品を環境配慮型製品とする。本体と包装材に自主基準を設定している。
- 環境配慮型の製品の割合は、2003年度には30%以上を達成し、2005年度は50%以上を達成できる見込みである。
- 省エネルギー性能、冷媒使用量、再生樹脂使用量で、通常環境配慮型製品を上回る基準の製品を2007年度より商品化する予定である。
- フラグシップとなる製品では、他社と比較してもトップに立つようにしたい。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ プロセス

- 図4-6のようなフローでDRのタイミングで製品アセスメントを実施する。
- 標準的な環境配慮型製品、先進的な環境配慮型製品で、設計プロセスに違いはない。
- コンプライアンスに関するDRも実施している。

○ 製品アセスメント

- (財)家電製品協会と(社)日本冷凍空調工業会 (<http://www.jraia.or.jp/>) の製品アセスメントガイドラインをもとに自社のアセスメントを作成している。
- LCAの結果もアセスメントの項目に含まれる。

○ ツール、LCA

- 環境配慮設計に関するツールとしては、材料データベース、製品アセスメント、LCAがあり、LCAについては汎用のLCAソフトウェアを使用している。
- 汎用データとしてはNIRE-LCAのデータを用いており、エアコン独自のものは独自にデータを収集している。

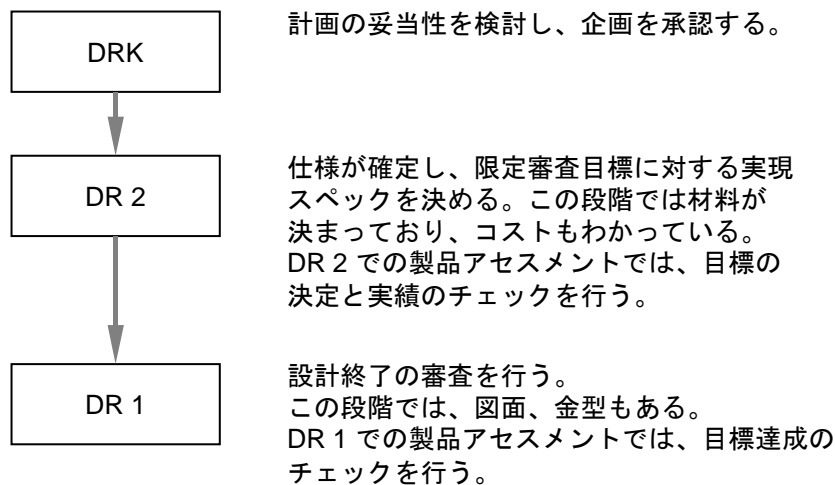


図 4-6: 設計レビューのフロー

○ その他

- 環境側面に関する設計要求事項としては、省エネルギー、リサイクル可能率がある。リサイクル可能率については、樹脂部品で PP、PS、ABS を用いるよう、製品アセスメントで評価する。
- リサイクル性、分解時間の評価は、試作機を使用して行う。

(3) 目標設定

- 環境目標の設定では、環境部門が事業部の意見を聞きながら、中期計画を作る。このとき社会的な状況も考慮する。事業部から見ると厳しい目標となり、目標達成のための努力が求められる。
- 東京都の省エネルギー基準をもとに目標設定を行うこともある。

(4) その他

- 中古のエアコンについては、海外に流れていることも考えられる。

4.2.8. 電気電子機器 (8)

製造している主な機器: 光学機器、医療機器、プリンタ

(1) 環境配慮型製品の定義

- 自社の基準を満たしている製品を環境配慮型製品とし、タイプ II エコラベルをつけて

いる。現在 30 製品程度がこの基準をクリアしている状況で、この基準を上回る基準を設定する予定はない。

- 2006 年の目標から、環境配慮型製品の割合を売り上げ比率の何パーセントにするかを定める。
- プリンタではタイプ II エコラベルの認定を取得することが当たり前になっている。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ プロセス

- 図 4-7 のフローに従って、DR のタイミングでアセスメントレビュー (AR) を行っている。
- AR-1、AR-2 では別のシートを使う。

○ 製品アセスメント

- すべての製品で製品アセスメントを行う。製品アセスメントは参考規定であり、事業部ごとに製品特性に合った製品アセスメントガイドを作成する。製品アセスメントの参考規定は (財) 家電製品協会の製品アセスメントガイドラインをもとにしている。
- 製品アセスメントガイドはチェックリスト形式になっており、リサイクル率、含有有害物質などの項目がある。また、材質表示、包装材の切り替えについてもこのガイドに含まれる。

○ 環境配慮型製品の基準

- 項目には必須項目と選択項目があり、たとえばプリンタでは選択項目を必須に取り上げ、社内基準に比較して厳しい条件となっている。必須項目、選択項目の選定はプロジェクトマネージャに委ねたり、販売ターゲットに合わせて優先順位を設定したりする。
- 規定項目には RoHS も含まれる。

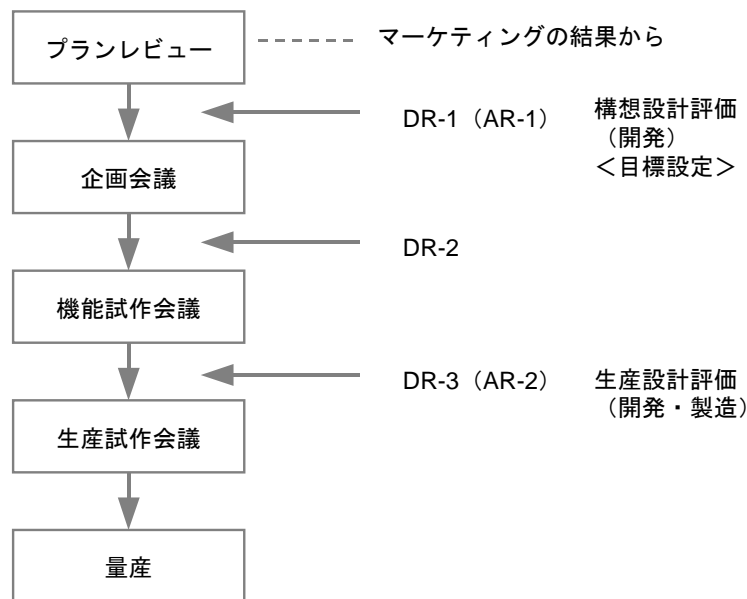


図 4-7: 設計・開発のフロー

○ LCA

- LCA は AR-2 のタイミングで実施する。
- 市販のツールのデータベースを自社向けにカスタマイズして使用している。

○ その他

- 仕様の決定の際に QFD(Quality Functoun Deployment 品質機能展開)を用いるが、環境については扱いにくい。
- IEC については、安全規格についてはチェックするが、環境配慮設計については見えない。
- JBMIA (事務機器)、CIPA (カメラ) の業界基準を見ている。

(3) 目標設定

- 環境配慮型製品の割合については、目論見をもとにして積み上げる。チャレンジ率も考慮する。新規開発製品では環境配慮型製品への対応が増えるため、今後は環境配慮型製品の割合は増えていく。

(4) その他

- 環境についての技術開発をするだけの技術力、余裕がないという面もあるが、環境に関する法律への対応が求められる製品では環境配慮が進むが、対応が遅れている。

WEEE/RoHS に対応が進んだ面がある

4.2.9. 事務機器（1）

製造している主な機器: 複写機、プリンタ、光学機器

（1）環境配慮型製品の定義

- すべての製品で環境配慮設計を行っているが、特別な名称は設定していない。
- リサイクル対応設計、部品再使用率の向上、環境安全性などに関する自社基準を定め、リサイクルに関するタイプ II 環境ラベルをつけている。
- 製品によっては、エコマーク、エコリーフ、自社のリサイクルラベルの3つを満たしているものもある。

（2）環境配慮設計のプロセス、ツール

○ プロセス

- 設計開発のフローは、企画テーマ提案、設計試作、技術試作、量産試作の流れで進む。次のステップに進む前に評価会議を開く。リサイクル委員会のチェックによる承認も必要である。
- LCA を使った設計を進めている。

○ 製品アセスメント

- リサイクル対応設計方針を定め、設計者のレベルアップを進めている。リサイクル対応設計方針は、オンラインで管理されている。
- 業界で複写機共通の製品アセスメントガイドラインを検討したことがあるが、現在は各社で独自のものを設定している。

○ ツール

- 購買データ管理システムを構築している。
- 3D CAD システムを使用しているが、設計者の部品洗濯を限定するなどの点では環境配慮設計にリンクさせられるが、現在は LCA との連携はできていない。
- LCA は設計者がデータベースに数値を入力していけば算定されるように整備している。
- 解体性評価と 3D CAD システムはリンクしていない。試作機を実際に解体して解体性を調べている。解体性については、リサイクル対応設計方針にねじの本数や締結方法などの項目として含まれている。
- 他社製品とのベンチマークも行う。環境と性能の両方の要求を満たす必要がある。

(3) 目標設定

- 事業全体での統合環境影響を減らす目標を立てている。将来、設定した目標を達成するために、今どうなっていないかをはならないかをバックキャストによって設定する。
- 現在の目標達成においては、省エネルギーが重要な要素である。省エネに関してはこれまでもかなり取り組みを進めている。

(4) その他

- 省エネルギーや化学物質については性能要求、法律があつて設計者も取り組みやすいが、リサイクルは消費者にとって分かりにくい面あるため、設計者に必要性を理解してもらうことに力を入れている。
- 次の環境目標には LCA 評価の目標値を入れる予定である。
- 設計者は設計変更によるコスト削減を狙いやすいが、設計者が設計の共通化や設計を変化しないことによるコスト削減効果についても考えるようにしていきたい。
-

4.2.10. 事務機器 (2)

製造している主な機器: 複写機、プリンタ、映像機器

(1) 環境配慮型製品の定義

- 特定の名称はない。環境配慮型製品のしめる割合としては、グリーン購入法に適合した製品をリストアップすると、売り上げの 71%を占める。これらの製品では、厳しく環境アセスメントを行っており、環境配慮型製品扱いとなる。
- 代表機種のみであるが、タイプ III エコラベル (エコリーフ) による情報開示を進めている。現在は新製品の 1 割で、代表機種の新規エンジンのもののみである。
- タイプ II のエコラベルは導入していない。他社での導入事例から特に TYPE I エコラベルの非対象製品に対して、販売会社から導入を求められている。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ プロセス

- 製品開発の移行審議で環境仕様、目標を製品アセスメントの中に設定する。
- 開発、試作、量産試作の段階で製品アセスメント項目に測定数値が入り、量産確認のためにアセスメント報告書を作成する。
- 環境、品質、コストの評価を合わせて審議する。MUST 項目と SHOULD 項目があり、MUST 項目で 1 つでもクリアできないものがあれば生産できない。
- 品質に関する DR に環境レビュー項目がある。安全、コスト、アクセシビリティと同

様に、関係専門部署が評価し、改善項目を設計部門にフィードバックする。

○ 製品アセスメント

- 工業会（JEITA）のガイドラインをベースに作成している。IEC Guide 114、TC 111、EuP 指令への対応などは、前倒しで進めている。
- メカ設計におけるエコラベル対応の環境配慮チェックリストがある。事業本部の開発部門、または品質保証・環境部門が維持・改訂を行う。

○ LCA

- LCA 的な考え方は 1999 年ごろから本格導入している。3D 設計の浸透に合わせて PDM（Product Data Management、製品情報管理）システムに製品・部品の重量情報が載る。
- デジタルモックアップを使ったレビューでは、生産拠点が決まらなると製造負荷やロジスティクス負荷が算出できないため、デフォルトの仮想モデルを用いて開発段階での LCA を評価する。

○ CAD、データベース

- 3D CAD を環境評価だけではなく、製品の小型化、ユニット・部材標準化、設計ミス削減、品質・安全性向上などで使っている。環境評価としては、3D CAD のデータを用いたデジタルモックアップによりリサイクル性、解体性を評価し、製品アセスメントの評価に入れている。
- 3D CAD システム、PDM、生産管理、調達システムが統合されており、デジタルモックアップの際に部品、材料の重量が入手できる。環境側面としては、エコラベルへの適合評価、化学物質管理、省資源評価を行っている。使用時のエネルギー消費に関しては 3D CAD とは直接リンクしていない。
- CAD の材料選択も環境に配慮したもののみが選べるようになっている。
- 3D CAD を用いたデジタルモックアップにより、試作レス化が進んでいる。

○ 設計者の教育

- 設計者は最初に環境配慮設計に関する教育を受ける。接着、溶着、ドライバーの使用を避ける、材質表示や束線の留め方などの設計事例や社内設計標準が教育内容に含まれ、この内容にしたがって設計を進める。

(3) 目標設定

- 資源生産性を向上させるため、グループ全体の環境効率を 2 倍にする。目標値の 2.0 は、個別製品の LCA 結果を基に総合的なシミュレーションによって設定している。
- 小型軽量化については 2000 年比 15%削減、省エネルギーについては 5 年で 30%削減が目標値となる。
- 原材料のCO₂排出量負荷が 4 割を超えている。使用段階で 3 割であるが、省エネルギーが進み、そのウェイトが下がりつつある。

(4) その他

- 複写機の3Rについては、リユースよりもマテリアルリサイクルに主眼を置いている。同じ複写機でも販売形態が異なると、3Rの方法が異なる。売り切りではマテリアルリサイクルを優先することが合理的である。
- EUのWEEE指令により、設計者のリサイクルに対する意識が変わった。
- 設計者は、性能と同様に環境に関する目標の達成を自らの使命としている。環境を特に意識しているわけではない。小型軽量化は環境負荷低減につながるが、設計者はコストダウンという位置づけで進めている。

4.2.11. 事務機器 (3)

製造している主な機器: 複写機、プリンタ

(1) 環境配慮型製品の定義

- 資源循環に優れた商品の基準を定め、ラベリングしている。技術標準としては、環境に関するものと安全に関するものがあり、それぞれに必須項目、準必須項目が定められる。準必須項目にも達成割合の最低値が定められる。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ フロー

- 設計開発のフローとしては、製品企画提案、製品開発提案、量産投入提案の順に進む。開発部門とアセットリカバリの部門で資源循環設計アセスメントシートによるチェックを行う。

○ 製品アセスメント

- 資源循環設計アセスメントシートがあり、設計者とアセットリカバリ部門でのチェックに使う。アセットリカバリの部門の2次チェックでは、実機を使った評価を行う。情報システムで使用できるようになっている。
- 業界の製品アセスメントマニュアル作成ガイドでは定性的な項目についても具体的な設計方法を示し、設計方法の適用率を定量化して評価している。
- 3R設計のアセスメントは10項目設定される。

○ その他

- 購入部品の製造時のLCAは、部品の重量と材料の重量構成に、原単位をかけて求められている。

(3) 目標設定

- 環境項目については、社外の動向も見てトップランナーになるように決めている。商品ミックスの目標も決まっているので、全社的な目標値が出せる。

(4) その他

- 複数の世代で共通化した設計を進めている。数が多く出る製品で行うことでビジネスとして成立する。

4.2.12. 自動車、自動車部品 (1)

製造している主な機器: 自動車

(1) 環境配慮型製品の定義

- 環境に関する項目として、燃費、排ガス、騒音、LCA、リサイクル、環境負荷物質の6つの評価項目を設定している。燃費、排ガス、騒音は、環境配慮で始まったわけではなく、以前から設計開発の中で進めているものである。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ プロセス

- 従来の設計開発のフローと並行する形で、環境に配慮した開発設計をサポートする仕組みを持っている。
- 環境配慮設計サポートチームが、開発チームのチーフエンジニアとコミュニケーションをとり、環境配慮設計を推進する。
- DRと同じタイミングで環境配慮設計サポートシステムによる評価を実施する。

○ 環境配慮設計サポートシステム

- 燃費、排ガス、騒音、LCA、リサイクル、環境負荷物質の6つの項目への配慮を進める。

○ 設計ガイドライン

- ボディ、内装、足回りなどの開発単位ごとに設計ガイドラインがある。リサイクル性は設計ガイドラインによる。

○ LCA

- LCAは2000年から導入している。
- データベースには製造工程のデータも入っており、部品表ができればLCAを実施できる。
- LCAデータベースについては、材料は自社で作成し、購入品についてはサプライヤから加工時のエネルギーやエミッションに関するデータを提出してもらう。直接データ

の提出を求めるのは、一次サプライヤまでである。一次サプライヤには構成部品重量の95%以上を提出するように求めている。環境負荷の大きいものについては必ず提出してもらう。

- データがそろわない部分については汎用のデータを用いるが、LCAでフォローする製品については、正確な原単位を用いた評価を行う。

(3) 目標設定

- 目標はチーフエンジニアと環境配慮設計サポートチームで設定する。環境配慮設計サポートシステムが開発目標提案でも用いられる。
- 目標値はチーフエンジニアから指示書として設計者に渡る。チーフエンジニアは合わせて目標達成のための方策、ガイドラインも示す。目標達成のための方策については、リサイクル研究所などの成果がストックされているサポートチームから提案される場合もある。

(4) その他

- 環境負荷物質に対する取り組みは、ELVの影響は大きいですが、90年代から取り組んでいる。環境負荷物質についてはIMDS⁵と部品表により管理する。購入部品の環境負荷物質のデータは100%サプライヤから提出してもらう。
- 燃費、排ガスについては、現在の環境の動きより前から対策がとられてきており、従来どおりの設計・開発業務に組み込まれている。

4.2.13. 自動車、自動車部品 (2)

製造している主な機器: トラック、バス、小型商用車、エンジン

(1) 環境配慮型製品の定義

- とくに指定したエコプロダクツなどの呼び方は付けていない。
- H17年度排出ガス規制適合車両には、「新長期マーク」を貼付している。
- グリーン購入法適合のクリーンエネルギー車もある。
- 国土交通省四ツ星認定(超低PM排出ディーゼル車)獲得のための四ツ星プロジェクトを遂行し、DPRフィルター⁶等で他社に先駆けて基準をクリアし、製品に搭載している。

⁵ IMDS: International Material Data System。自動車産業界で使用されている部品の材料データベース管理システムであり、部品の材料構成が登録される。このシステムに登録された部品を購入する自動車メーカーが多くなってきている。

⁶ DPR (Diesel Particulate active Reduction system) は数々のディーゼル技術が一体化したシステムである。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ 製品アセスメント

- 設計評価表、事件評価表中に排気ガス、燃費、総重量、化学物質、リサイクル性などの項目がある。環境性能は製品性能そのものである。
- 燃費、強度等のシミュレーションツールを使用する。

○ LCA

- 大型カーゴについて自工会と共同で計算した。自社製品についての LCA は手計算で行う。
- 製造段階の環境負荷は、使用段階に比べて 5%程度しかない。
- 購入部品については、アイテムで 6~7 割のものを把握する。

(3) 目標設定

- 1995 年から 5 年毎に中期計画（ボランタリープラン）策定している。
- 昨年 12 月に第四次中期計画を策定、発表し 2010 年に向け活動中である。
- 規制を先取りしてクリアするため、全体の目標値を技術的可能性のあるものに割り振る。

(4) その他

- 製品の特徴として、長寿命である。10 年以上使用され、車齢が 20 年を超えるものもある。
- 使用済み自動車については、海外に流出するものも多く、完全には把握できていない。
- リサイクル性の良い内装材の利用を進めている。
- 全社環境委員会（委員長社長）の下に、製品環境委員会、生産環境委員会、販社環境
- 会議、リサイクル法対応会議が設けられ、規制項目毎の WG などがある。

4.2.14. 自動車、自動車部品 (3)

製造している主な機器: 自動車部品

(1) 環境配慮型製品の定義

- 環境配慮型製品の定義、認定基準を策定中である。
- 基本的には、燃費の向上、冷媒使用量削減と代替化、リサイクル可能率の向上、環境負荷物質の削減、排出ガス浄化を環境配慮の項目として挙げている。リサイクル可能率に替わる次の指標を探している。

(2) 環境配慮設計のプロセス、ツール

○ プロセス

- 品質保証のシステムと環境を組み合わせている。
- 図 4-8 のようなフローで開発を行う。1 次 DR（デザインレビュー）→詳細設計→QA（品質保証会議）→2 次 DR→QA→量産となる。DR は設計修正が入る可能性がある。QA は全社的な評価を行うものである。QA では事前に作りこんで報告するかたちで行われ、問題がなければ OK となる位置づけのものである。
- 製品企画は自動車メーカーからの要求仕様に基づいてはじめる場合と、自動車メーカーへ提案する場合の両方がある。また、自動車メーカーの図面どおりに製造する場合もあり、このときは設計上の工夫ができない。

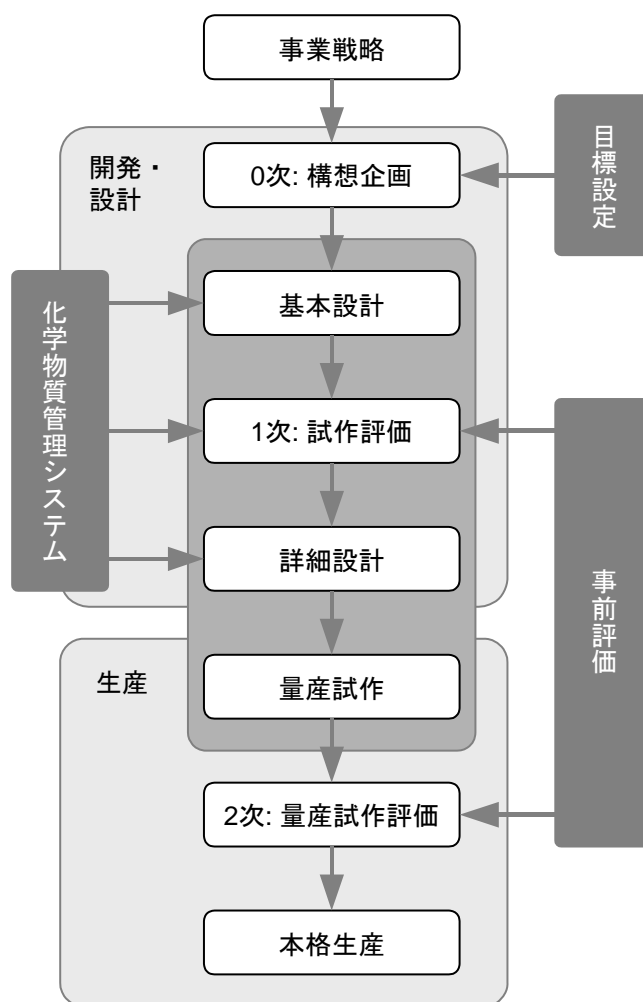


図 4-8: 設計・開発フロー

○ 環境事前評価計画書

- 製品アセスメントは環境事前評価計画書にしたがって行うが、現在は環境負荷物質への対応が最も重視されている。

○ LCA

- 市販の LCA ツールを利用している。LCA は設計者でなく、環境部門や材料技術部で行っている。
- 部品メーカーでは機能部品単位であるため、LCA の実施は難しい。
- 自動車メーカーから製品の材料構成のデータを要求される場合もある。

○ 化学物質、その他

- 化学物質では IMDS、JAMA (Japan Automobile Manufacturer's Association) シート、AIAG (Automobile Industry Action Group) シートなどがあり、共通化の方向にある。IMDS は Tier 1 まで、Tier 1 以降は日本では JAMA シートを、北米では AIAG を用いている。一部 IMDS を使用している部品メーカーもある。また、欧州では Tier 1 以降も IMDS を使用している。

(3) 目標設定

- 全社的な目標の製品への割付のようなものではなく、技術部毎に製品の目標設定がなされる。

(4) その他

- リサイクル可能率は ISO の算定で自社目標値 95% をクリアしている。ただし、可能率のため、コストは考慮されていない。
- 日本の自動車リサイクル法では、引取品目が、ASR、エアバッグ、フロンの 3 つであるために、部品メーカーとしてできることはあまりない。
- 環境負荷物質については、サプライチェーンの途中に、商社、中小零細企業が存在するために、全てのデータを収集することが難しく苦勞している。

4.3. ヒアリング結果のまとめ

環境配慮設計のヒアリング結果をプロセスとツールの観点からまとめる。

4.3.1. プロセス

環境配慮設計が進んでいると想定された企業においては、省エネルギー、環境負荷物質の使用低減、3R 促進などの環境への配慮が環境配慮設計のプロセスは従来の設計・開発における性能や信頼性を実現するための品質を作りこむ仕組みの中に取り込まれている。デザインレビュー（DR）と呼ばれる評価会議で環境の観点からの項目について、他の品質に関する項目とあわせて評価を行い、デザインレビューで環境配慮の観点の評価事項がクリアできないと、製品として生産・出荷ができない。

こうした取り組みが進んでいる背景としては、電機や事務機器においては、以前は製品の差別化につながっていた環境配慮が、すでにほとんどのメーカーで行われており、業界全体で環境配慮設計があたりまえになってきている点あげられる。家電製品やコンピュータでは、家電リサイクル法や資源有効利用促進法により回収・リサイクルが義務付けられており、また EU の RoHS 指令の影響で環境負荷物質の使用を削減もしくは全廃するような取り組みが進んだ面もあるが、特に省エネルギーのように製品開発における環境配慮がユーザーの製品使用時のコスト削減にもつながるため、商品としてのアピールもしやすい。

一方、自動車業界の環境配慮設計としては、燃費性能、排ガス、振動・騒音、エアコンの冷媒フロン、環境負荷物質、リサイクル率について目標を設定して取り組みを進めている。燃費、排ガスなど、従来の開発目標と重なるものが多く、環境配慮は既存の品質を作りこむ仕組みの中で実現されている。（社）自動車工業会や（社）自動車部品工業会において、業界として環境への取り組みを進めているが、現時点では環境配慮設計のプロセスとしては、規制を遵守するという観点で環境負荷物質の削減が優先事項となっている。

4.3.2. ツール

多くの企業で環境配慮設計のチェックリスト、チェックシートを利用している。家電のように、（財）家電製品協会が製品アセスメントガイドラインを示しているところもあるが、家電メーカーを含む多くの企業で、自社のチェックリストの作成・管理、DR でのチェックを行っている。また、チェックリストの項目を実現するためのガイドラインを冊子やイントラネット上のデータベースで設計者に提供できるようにしているメーカーもある。

LCA は多くの企業で導入されているが、その使い方は設計の最終確認のところが多く、

LCA の結果をもとに設計を変更するようなプロセスへの移行は、今後の課題としているところが多い。これは LCA の評価方法仕方がさまざまであり、また現在の精度では、設計変更が LCA 評価に現れにくいということも理由になっている。また、製品の製造に関するデータの収集や材料の負荷の原単位をそろえることにまだ多くの労力を要することも LCA が環境配慮設計のツールとしてより有効に使われるようになるための課題である。

そのほかのツールとしては、製品に含有される環境負荷物質を管理するデータベースを用いたり、三次元 CAD システムと材料データを連携させて LCA の実施を容易にしたりする企業もある。IT 技術、モデリングの技術の向上によって、こうした情報の連携やシミュレーションを利用する機会が増えることが予想される。ただし、一方では設計者が新たなツールを使ったり、設計プロセスを変更したりすることには抵抗感があることも事実であり、従来のプロセスとの融合も課題とされるようである。

4.3.3. 目標設定

製品設計における環境配慮の観点からの目標設定については、企業の全社的な環境目標と連携させているところが多いが、目標値の設定の仕方はさまざまである。実現可能な目標を設定し、目標を達成するための方策を環境に関係する部署からも提示するという枠組みが増えるようであるが、企業の経営方針や環境への取り組み姿勢との関係もあり、現時点ではそれぞれに特色がある。

4.3.4. まとめ

ヒアリング結果を業種ごとにその特徴をまとめ、表 4-1 から表 4-3 に整理する。

表 4-1: 環境配慮型製品の考え方

共通	<ul style="list-style-type: none">● 環境配慮製品に対する呼称はエコプロダクツやグリーンプロダクツのようにさまざまである。● 環境配慮型製品に比べ、環境配慮設計という言葉の認知度は低い。
電気電子機器	<ul style="list-style-type: none">● タイプⅡ環境ラベルが利用されている。● 製品環境情報（環境プロフィール）の提供を進めている。● 環境配慮としては「省資源」「省エネルギー」「有害物質の削減」の3つが主な項目である。● 製品アセスメントの項目と連動した評価項目で環境配慮製品を認定する。さらに厳しい条件をクリアする製品を設定して区別する場合もある。
事務機器	<ul style="list-style-type: none">● プリンタに関しては、タイプⅠエコラベルの取得（エコマーク）を必須とする場合が多い。● タイプⅢ環境ラベル（エコリーフ）の取得を進めている。● タイプⅡの環境ラベルも利用される。● 部品リユースなどの循環型生産を進めるための配慮が他産業に比べて際立っている。
自動車・ 自動車部品	<ul style="list-style-type: none">● 「燃費」「排ガス」「騒音」などが環境配慮におけるの主な取り組み項目である。低排ガス車については国土交通省の認定制度がある。● 上記の取り組み項目は従来から性能の一部として取り組んできたものであり、環境への配慮の高まりから進んだというわけではない。● 製造段階での化学物質管理のためのデータ収集は、サプライチェーンを通じて進めている。● リサイクル性については、リサイクル可能率も高くなっており、設計段階での配慮も定着している。

表 4-2: 環境配慮設計プロセス

<p>共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ツールとして製品アセスメント、LCA、化学物質データベースの利用が多い。 ● デザインレビュー（DR）では製品アセスメントの結果も対象となる。 ● 以前利用していた支援ツールを設計者の能力・知識が習得されたために、その使用を必須としない場合もある。
<p>電気電子機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品アセスメントが社内規定に盛り込まれており、標準的に実施されている ● （財）家電製品協会や JEITA（（社）電子情報技術産業協会）の製品アセスメントガイドラインを参考に自社のアセスメント項目や評価基準を作成している
<p>事務機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● グリーン調達、化学物質管理が進んでいる。 ● IT（3D-CAD 等）を利用することで、LCA や組み立て・解体評価の容易化を図るなど、デジタルツールの導入が進んでいる企業がある。
<p>自動車・ 自動車部品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境負荷物質（有害物質）への配慮を進めている。 ● 自動車業界では IMDS の利用が進んでいる。部品表とのリンクがある。 ● LCA を実施する際にデータ提供をサプライヤにも要求している。 ● 工業会の製品アセスメントはリサイクル性を事前評価する内容である。 ● 3D-CAD の普及率は高いが、環境配慮設計という観点での利用は進んでいない。

表 4-3: 実施体制、目標設定

<p>共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中期計画で全社の環境目標を設定している。 ● 全社の環境目標と各ビジネスユニット、さらに個別製品に対する目標数値の間の関連が低い。 ● 環境効率のファクターを指標として用いていることが多い。 ● 環境効率の分子である製品機能に関しての評価方法にばらつきがある。 ● 環境配慮設計の活動は製品開発設計のラインに乗せることが重要である。
<p>電気電子機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境目標は環境部および各ビジネスユニットからの代表が参加した会議で決定されることが多い。 ● 設計者に環境配慮設計に関する教育が推進され、さらに環境配慮設計が業績評価と連動するなど、活動を促す取り組みが実施されている企業もある。
<p>事務機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮に関する項目も従来からの設計基準と同様に扱われており、特に環境を意識せずに環境配慮設計が進められている。 ● 環境配慮設計に関する研修やリサイクル工場からの要求抽出など、教育を重要視している。
<p>自動車・ 自動車部品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境対応は規制が大きなドライビングフォースになっているが、規制対応のレベルより一歩先を行く技術開発を行っている。 ● LCA の実施は設計者の業務ではなく環境部などのスペシャリストの業務である。 ● 環境性能の向上は製品機能の向上そのものであることが多く、技術開発とのすり合わせなしで環境配慮設計は考えにくい。

第5章 まとめと展望

5.1. まとめ

本調査では、環境配慮設計について、その概念や実践に関する普及状況をキーワード検索、ヒアリングによって調査した。

環境報告書のキーワード検索では、一般的な環境関連のキーワードと環境配慮設計に関するキーワードの出現傾向が明らかになった。製造業を含むすべての業種で、「地球温暖化」、「京都議定書」、「環境マネジメント」、「ISO 14001」、「リサイクル」のキーワードの出現回数が多かった。製造業においては環境配慮設計に関連するキーワードの出現も多かったが、「地球温暖化」等のキーワードと比較すると、出現回数は少なかった。年別の特徴としては、11業種中7業種で、「京都議定書」の出現回数が増加した。環境配慮設計に関するキーワード間のみに着目すると、「エコプロダクト」、「環境効率」、「ファクター」といったキーワードが多く使用されていた。環境配慮設計に関するキーワードでは、「環境配慮設計」の出現回数が多かった。環境配慮製品に関するキーワードでは、「エコプロダクト」が最も多く、次いで「環境配慮型製品」が多かった。

新聞や雑誌でのキーワードの使用が増えており、特集記事や解説記事も多くなっている。一方で、環境マネジメントや地球温暖化のような環境関連のキーワードで使用頻度の高い物に比べると、新聞でのキーワード使用は少ない。環境や設計・開発に関連する雑誌においては、環境配慮設計の記事も多いが、こうした雑誌では読者が限られており、一般消費者における普及状況は一般紙のレベルであると考えれば、「環境配慮設計」「エコプロダクト」などは、それほど普及しているとは言えない状況であると想定される。メーカーでの環境配慮設計の推進のためには、消費者の環境配慮型製品に対する購買行動も重要であるが、消費者の意識については、直接消費者への調査を行うことが望まれる。

ヒアリングでは、製造業に限らず、多くの業種の企業での環境配慮設計の普及状況を調査した。製造業ではアセンブリメーカー、セットメーカーと呼ばれる最終製品を製造するメーカーでは環境配慮設計が進んでいるが、セットメーカーに部品を供給するサプライヤにおいては、環境配慮設計として実行できる内容に制限があり、セットメーカーほどは取り組みが進んでいない。サプライヤでは、現在は環境負荷物質の削減が大きな課題であり、この対策を環境配慮設計としているところも多い。また、製造業でも、事業規模が小さいところでは、多くの場合自社の事業に関わる法律・規制の対応で追われているのが現状で

ある。電機電子機器、自動車機器に関連するメーカーでは認知状況、実践状況が高い。

製造業以外にも、建設や情報システムなどを設計する企業でも、環境配慮はキーワードとなっている。電気・電子機器や自動車などを中心とする製造業における環境配慮設計のモデルとは異なるが、こうした分野での取り組みも環境配慮設計であり、さまざまな分野での環境配慮設計の普及が始まっていることも事実である。

また、医薬品・食品の分野では安全性の面から環境への配慮の優先順位を上げることができないが、包装パッケージの変更など、可能な範囲で環境配慮設計を進めている企業も見られる。製品開発の要求や制約は環境への配慮だけではないため、こうした分野での環境への取り組みも広く認知され、評価されていくことで、環境配慮設計の広まりが期待される。

小売業では、環境に配慮した製品を扱っていくような動きも見られ、こうした取り組みは今後消費者の動向を左右する可能性がある。小売業のこうした動きには、先進的な消費者の動向を捉えて進めている面と、グリーン購入法の影響が見られる。

5.2. 環境配慮設計の普及のために

普及状況のヒアリング調査から、多くの企業で環境配慮設計の重要性が認識されていることがわかった。一方で、現状として環境配慮設計を進めても、それが販売に結びつかないことで、環境配慮設計の優先度は企業としては高くできない企業も多い。サプライヤではとくに、製品のコスト削減、品質の確保が優先的に要求され、セットメーカーの仕様どおりに製造することが優先されやすい傾向にある。ヒアリングの結果からは、業界での自主基準の設定や、法律で横並びになったほうがやりやすいという意見もあったが、逆に法律や規制で縛られると、さらに自由度が減ってしまうという意見があった。同じような製品間で環境配慮について比較できるような基準を求める声もあり、業界として製品の環境性、環境配慮について評価する手法を検討しているところもある。

環境配慮設計を進めるためには、社内での人材の育成も必要である。環境配慮設計のためのシステムの構築が進んでも、それを実践する人材がいなければ機能しないことを課題としてあげている企業も多い。また社内での教育に加えて、社会的な意識の高まりにも期待している企業が多い。

環境配慮設計を 3R システムの高度化の一環として捉えると、単独メーカーでできることには限界があるという点を指摘する材料メーカーもあった。逆に材料メーカーに対しては、部品メーカー、セットメーカーから含有物質の分析データの提供を求めている。サプライチェーン全体での 3R や環境配慮の促進のために、情報交換、情報共有を進める仕組みが求められている。環境配慮設計は製造業だけで完結する課題ではなく、消費者と接する小売業や、製品の輸送を担う輸送業、さらには製品を使用してサービスを提供する企業の協力も欠かせないだろう。

環境配慮製品は売れないという考え方ではなく、環境に配慮した製品をいかに顧客に受け入れてもらうかを営業の使命であると考えている企業も出てきている。ただ、現実的には企業単独では困難な面も多く、消費者の意識を高めるための行政施策を求める声もある。

5.3. 今後の課題と展望

本調査で環境配慮設計の普及状況について把握した結果、環境配慮設計に関する認知度、実践は業種によってばらつきがあり、一般的になっていないことがわかった。現時点では企業の取り組みとして進んでいるところとそうでないところの差が大きいことが読み取れる。業種によっても取り組みに違いがあり、製造業以外では環境配慮設計は製造業だけで解決すべき課題であると捉えられやすいが、実際には多くの業種の協力が必要であり、そのための情報共有のあり方、協業の進め方のモデルを検討していくことが必要であろう。

また、環境に配慮して設計・製造した製品が市場で受け入れられやすくすることへ行政的な支援を求める企業も出ているが、実際の消費者の動向、傾向を把握し、消費者の動向をつかむことが必要である。その上で、そうした調査を企業に公開し、企業の自由な競争のもとでの戦略策定をサポートすることも必要だろう。また、こうした調査は、広く環境教育の必要性、方向性を議論する際には欠かせないものであり、環境配慮設計、環境配慮型製品に対する消費者の動向調査を定期的に進めることは今後より重要になっていくだろう。

今回の調査のうち、とくにヒアリング調査では、今後の環境配慮設計の取り組みが重要であると考えている企業が非常に多かったことから、環境配慮設計は今後進展する方向にあるものと期待されるが、こうした動きを促進し、今後も日本が環境における世界のトップランナーであり続けるための施策を継続的に検討・実施していくことが望まれる。

付 録

付録-1 キーワード使用状況
環境報告書調査対象企業一覧

製造業：電気電子機器（66社）

FDK	昭和電工	ノーリツ	ローム
NEC	新電元工業	ノーリツ鋼機	クラリオン
NECエレクトロニクス	住友ベークライト	パイオニア	東芝
TDK	セイコー	日立グループ	日立製作所
アドバンテスト	セイコーインスツル	富士写真フイルム	富士電機ホールディングス
アルプス電気	セイコーエプソン	富士ゼロックス	三菱電機
アンリツ	ソニー	富士通	
エスベック	ダイキン工業	富士通テン	
沖電気工業	タムラ製作所	富士電機グループ	
オムロン	東京エレクトロン	ブラザー工業	
オリンパス	東京応化工業	古河電気工業	
カシオ計算機	東芝グループ	松下電器産業	
キャノン	東芝研究開発センター	松下電工	
ケンウッド	東芝タンガロイ 【現タンガロイ】	三菱電機グループ	
コニカミノルタ	東芝テック	村田製作所	
サンデン	東北リコー	安川電機	
三洋電機	ナナオ	山形日本電気	
シチズン時計	ニコン	リコー	
芝浦メカトロニクス	日東電工	リコー福井事業所	
シャープ	日本ビクター	理想科学工業	

製造業：輸送用機械器具（22社）

日野自動車	ダイハツ工業	日本発条	ヤマハ発動機
アイシン精機	デンソー	富士重工業	光洋精工
いすゞ自動車	トヨタ自動車	本田技研工業	日立造船
カルソニックカンセイ	トヨタ車体	マツダ	三井造船
関東自動車工業	日産自動車	三菱自動車工業	
住友電装	日本車輛製造	矢崎総業	

製造業：一般機械器具（9社）

荏原製作所	コマツ	ノリタケカンパニーリミテド
川崎重工業	東芝機械	三菱重工業
クボタ	日本精工	SMK

製造業：精密機械器具（7社）

テルモ	堀場製作所	横河電機	ミネベア
日立ハイテクノロジー ズ	山武	NTN	

製造業：食品・医薬品（38社）

アサヒ飲料	サッポロビール 【現サッポロホールデ ィングス】	ニチレイ	森永乳業
アサヒビール	三共	日清オイリオグループ	日本曹達
味の素	サントリー	日清食品	藤沢薬品工業
伊藤ハム	大日本住友製薬株式会 社 【旧住友製薬】	日清製粉グループ本社	山之内製薬
エーザイ	大日本住友製薬株式会 社 【旧大日本製薬】	日本コカ・コーラ	大塚製薬
江崎グリコ	宝酒造	日本たばこ産業	キューピー
カゴメ	田辺製薬	日本油脂	麒麟ビール
カルピス	第一製薬	ハウス食品	明治製菓
キーコーヒー	中外製薬	三菱ウエルファーマ	
キッコーマン	永谷園	明治乳業	

製造業：繊維工業（4社）

旭化成
帝人
東レ
三菱レイヨン

製造業：衣服・繊維製品（2社）

グンゼ
ミズノ

製造業：家具・装備品（2社）

イトーキ
岡村製作所

製造業：建材・住宅設備（4社）

トステム
INAX
アイカ工業
三協・立山ホールディングス

製造業：パルプ・紙・紙加工品（6社）

王子製紙
中越パルプ工業
日本製紙グループ本社
大王製紙
平和紙業
レンゴー

製造業：印刷（3社）

共同印刷
大日本印刷
凸版印刷

製造業：化学工業（31社）

宇部興産	コーセー	ダイセル化学工業	日立化成工業
花王	コニシ	大日本インキ化学工業	プロクター・アンド・ギャンブル
鐘淵化学工業 【現カネカ】	サカタインクス	東亜合成	三菱化学
カネボウ	三洋化成工業	東ソー	三菱樹脂
関西ペイント	資生堂	トクヤマ	ライオン
関東電化工業	信越化学工業	日本ペイント	住友化学工業
協和発酵工業	住友化学	日本ゼオン	電気化学工業
クラレ	積水化学工業	日本農薬	

製造業：石油製品（6社）

出光興産
伊藤忠エネクス
コスモ石油
ジャパンエナジー
昭和シェル石油
新日本石油

製造業：プラスチック製品（1社）

ポリプラスチック

製造業：ゴム製品（4社）

住友ゴム工業
東洋ゴム工業
ブリヂストン
横浜ゴム

製造業：窯業・土石製品（7社）

TOTO
旭硝子
住友大阪セメント
日本板硝子
日本ガイシ
日本特殊陶業
日本山村硝子

製造業：鉄鋼業（4社）

JFE ホールディングス
神戸製鋼所
新日本製鐵
日本製鋼所

製造業：非鉄金属（5社）

住友電気工業
同和鋳業
日立電線
フジクラ
三菱電線工業

製造業：金属製品（3社）

住友金属工業
日立金属
三菱マテリアル

製造業：その他（6社）

YKK グループ
河合楽器製作所
コクヨ
日立マクセル
ヤマハ
ユニ・チャーム

建設業（19社）

エス・バイ・エル	積水ハウス	戸田建設	日立プラントグループ
大林組	大成建設	飛島建設	フジタ
五洋建設	大和ハウス工業	日本国土開発	前田建設工業
清水建設	竹中工務店	間組	鹿島建設
住友林業	東急建設	パナホーム	

電気・ガス・熱供給・水道業（15社）

岩谷産業	四国電力	東京ガス	北海道電力
大阪ガス	中国電力	東邦ガス	関西電力
九州電力	中部電力	東北電力	東京電力
西部ガス	電源開発	北陸電力	

情報通信業（9社）

NTT データ	日本ユニシスグループ
NTT ドコモ	東日本電信電話（NTT 東日本）
NTT ドコモ北海道	京セラ
大塚商会	日本電信電話
西日本電信電話	

運輸業（10社）

佐川急便	日本通運
東京急行電鉄	日本郵船
東武鉄道	東日本旅客鉄道（JR 東日本）
名古屋鉄道	川崎汽船
日本航空	商船三井

卸売・小売業（24社）

アスクル	生活協同組合東京 マイコープ	日本生活協同組合 連合会	三菱商事
イオン	西武百貨店	ファミリーマート	ミニストップ
イズミヤ	西友	平和堂	みやぎ生活協同組合
イトーヨーカ堂	セブン-イレブン・ ジャパン	マルエツ	ヤオコー
サークルKサンクス	東洋物産グループ	丸紅	ローソン
住友商事	トーヨー	三越	高島屋

金融・保険業（6社）

あいおい損害保険
損害保険ジャパン
大和証券グループ本社
東京海上日動
日興コーディアルグループ
日本政策投資銀行

不動産業（2社）

三井不動産
三菱地所

飲食店、宿泊業（3社）

星野リゾート
モスフードサービス
ワタミグループ

サービス業（1社）

東京リース

公務（1件）

三重県

付録-2 キーワード使用状況
新聞記事の見出し一覧

環境配慮設計

新聞名	日付	記事
日刊工業新聞	2005.11.14	ピーイーアジア、中小や官公庁へ環境コンサルを展開
日刊工業新聞	2005.09.21	山武、企業価値向上へ環境経営支援事業を強化
日刊工業新聞	2005.08.30	経産省の06年度予算概算要求、産業競争力強化に重点—総額3.4%増
日経産業新聞	2005.06.30	環境配慮設計、国際標準作り始動——IEC、東京で初会合。
日刊工業新聞	2005.06.22	経営相談コーナー／ISO14001改定のポイントは
日経産業新聞	2005.05.18	環境配慮の国際規格、検討グループ座長、日立・市川氏選出。
日刊工業新聞	2005.04.28	NECエレ、RoHS対応の迅速化で環境情報のDBを構築
日刊工業新聞	2005.04.22	ニュース拡大鏡／電子機器の有害物質対策、電気製品など焦点に
日経産業新聞	2005.03.02	富士通、環境負荷・コスト、削減両立へ——半導体に続きPC工場でも。
日刊工業新聞	2005.01.21	ニュース拡大鏡／経済産業省、セットメーカーなど対象に環境情報表示義務付け

環境設計

新聞名	日付	記事
日経産業新聞	2005.12.13	タワーマンション「ナビユーレ横浜タワーレジデンス」（目利きが斬る）
河北新報記事情報	2005.12.11	マップ作りで危険回避／被害防ぐ「答え」子ども自ら発見
朝日新聞	2005.12.09	江戸時代の古民家「復元過程も見て」 前原市教委、見学募る／福岡県
日本経済新聞	2005.12.08	演劇2005——相次ぐ劇場開設で活況、従来の枠超え、舞台が多様化（芸術に浸る）
毎日新聞	2005.11.30	大阪市優良店舗コンクール：65店舗を表彰—大阪市商店会総連盟／大阪
毎日新聞	2005.11.29	藤瀬家住宅：近世民家の貴重資料、復元へ 前原・平原歴史公園、多目的広場に／福岡
日刊工業新聞	2005.11.29	2005産学官技術交流フェア出展企業／日本原子力研究開発
日経産業新聞	2005.11.24	ジュース、心臓ペースメーカー防護、電波吸収シート。
朝日新聞	2005.11.21	（週刊まちぶら）高松市北浜町かいわい 民間の力で新名所／香川県
日本経済新聞	2005.11.17	VBのジュース、電波吸収シート、0.5ミリ、背面も守る、心臓ペースメーカー向け。
朝日新聞	2005.10.22	（街ストリート）岡村修さん 宗像市の建築士、古民家再生思い強く／福岡県
読売新聞	2005.10.22	教室案内板、自由な発想で 福岡・南当仁小でデザイナー出前授業＝福岡
日刊工業新聞	2005.10.03	【おくやみ】笹田剛史氏（大阪大学名誉教授）死去
朝日新聞	2005.10.01	笹田剛史さん死去 【大阪】
読売新聞	2005.10.01	笹田剛史氏（大阪大名誉教授、環境設計情報学）死去
日本経済新聞	2005.10.01	笹田剛史氏（死去）
毎日新聞	2005.09.25	デザインフォーラム：「自分たちの町を楽しく」 安藤忠雄さんが講演—高松／香川
中日新聞	2005.09.09	ポスト万博で意見交換 建築家やデザイナーら 錦でトークラ
日本経済新聞	2005.09.08	移動できる劇場「WA」を貸し出し（チャレンジ）

新聞名	日付	記事
日本経済新聞	2005.08.17	長野県内製造業、環境対応急ぐ、RoHS指令にらむ——ハイライト、宮田アルマイト。
日本経済新聞	2005.08.17	住環境設計室、ビル基礎工事、施工費3分の1に——高速の杭を
西日本新聞	2005.07.27	福岡県／8月から色彩検定対策講座 受講生20人を募集 30日まで 太宰府
中日新聞	2005.07.15	豊橋の『フォノンカフェルーム』 JCDデザイン奨励賞に 色目変わるスギ材で工夫
中日新聞	2005.07.04	われら地球人 愛・地球博から ネクソン副社長 ランディ・ゴウセンさん(59) 壮大な“環境サンプル”
毎日新聞	2005.07.02	選挙：都議選 立候補者(その2止) /東京
毎日新聞	2005.07.01	05都議選：終盤情勢をみる /下 /東京
読売新聞	2005.06.30	初の県警防犯アドバイザー 小宮・立正大助教授に委嘱＝青森
読売新聞	2005.06.29	液化化などで傾いた家、住んだまま元に戻します 郡山の設計会社＝福島
毎日新聞	2005.06.25	05都議選：告示 真夏日、候補熱く(その1) /東京
毎日新聞	2005.06.24	選挙：東京都議選 立候補者名鑑(その3止)
毎日新聞	2005.06.07	05都議選：情勢をみる /5 江戸川区 /八王子市 /立川市 /武蔵野市ほか /東京
日本経済新聞	2005.06.03	住環境設計室社長影山千秋氏——人のためになる技術が大切(やまびこ)
毎日新聞	2005.06.02	役立つ住宅情報：全住棟に「免震構造」採用 「プライズ・ヒル」の登録受け付けを開始
西日本新聞	2005.05.31	福岡県 /市民を防犯の“専門家”に 19人が講座修了 宗像市 /ふくおか都市圏南部
毎日新聞	2005.05.30	東西南北：安全リーダー養成最終講座 /福岡
西日本新聞	2005.05.25	福岡県 /宗像署に警察庁長官賞 モデル施設に認証交付 地域安全リーダー養成
読売新聞	2005.05.24	住宅など防犯認証、診断100件超 宗像で取り組み＝福岡
北海道新聞	2005.05.22	設計図の見方を解説＊札幌で27日
中日新聞	2005.05.22	長良川生かした街を 今井岐阜市女短教授が講演
毎日新聞	2005.05.20	表彰：宗像署が警察庁長官表彰 市と連携「防犯モデル認証制度」 /福岡
日本経済新聞	2005.05.20	傾いた家、住みながら元通り、住環境設計室が新工法——工費半額以下、狭小地もOK。
読売新聞	2005.05.19	耐震性に優れた木造のプレハブ 京大と鴻池組が共同開発＝京都
毎日新聞	2005.05.19	宗像署：警察庁長官表彰を受賞——市と連携の「防犯モデル認証制度」で /福岡
河北新報記事情報	2005.05.18	低コストで耐震も木枠組み住宅開発 /小林京大教授ら
北海道新聞	2005.05.13	<エコノミック> 催し> 社団法人日本商環境設計家協会総会 開催記念フォーラム「HIKARIヒカリ」(日本商環境設計家
毎日新聞	2005.05.03	選挙：都議選 200人余が出馬表明(その2止) /東京
読売新聞	2005.04.26	【教育ルネサンス】守る・学校の安全(1) “最上級”のハード備える(連載)
毎日新聞	2005.04.20	建築：京大大学院、新木造工法を開発 間伐材使い低コスト、高い耐震性 /京都
朝日新聞	2005.04.16	木枠並べ耐震建築 京大と民間4社開発 国産材使用で林業活性化へ /京都
日経産業新聞	2005.04.01	オオバ(会社人事)
毎日新聞	2005.03.11	宗像市：「防犯モデル」基準合格、東海大付属自由ヶ丘幼稚園を認証 /福岡
西日本新聞	2005.02.28	山口県 /山口はいま 人・話題・検証＝古地図で歩ける萩 「まちじゅう博物館」始動 開府401年目の試み 取り残され
北海道新聞	2005.02.25	住宅の改装セミナー
西日本新聞	2005.02.13	【ニュース・インサイド】博多・女性殺害 間もなく1カ月 街の死角 目撃少なく
日本経済新聞	2005.02.13	JAPAN SHOPセミナー開催(日経からのお知らせ)
日刊工業新聞	2005.02.11	深層断面 /三井住友・大和証券統合へ
日本経済新聞	2005.02.10	那須住販——定住リゾート住宅、展開(北関東VBファイル)
朝日新聞	2005.01.21	お知らせ /福岡
読売新聞	2005.01.21	石井十次描いた映画 あす福岡・南区で3回上映＝福岡

エコデザイン

新聞名	日付	記事
読売新聞	2005.12.22	高知でNPO設立総会 活動センター運営を協議 環境保全に支援を＝高知
朝日新聞	2005.11.26	産官学で新組織 ヒートアイランド緩和技術の開発へ /大阪
日刊工業新聞	2005.11.25	大阪ヒートアイランド対策連合、1月に大阪で正式発足
読売新聞	2005.11.21	エコマネー事業 急がれるネットワーク化(解説)
中日新聞	2005.11.15	環境配慮商品や 取り組みを紹介 名古屋で企業展
日経産業新聞	2005.11.14	東大大学院工学系研究科、中国・無錫に産学連携拠点、共同研究引っ張る2氏に聞く。
朝日新聞	2005.11.13	エコデザイン展示中 名古屋・中区 /愛知県
中日新聞	2005.11.08	社告 なごや環境大学・公開講座
朝日新聞	2005.11.05	インフォメーション /愛知県
中日新聞	2005.11.05	東大、中国で産学連携 拠点開設 環境対策など研究
日刊工業新聞	2005.11.01	東大、中国・無錫に「代表所」一産学連携で環境対応の研究
日刊工業新聞	2005.10.31	愛知県など、エコデザイン企業展を開催
日本経済新聞	2005.10.07	エコデザインラボ浜松、環境シンポジウム(ビジネス便)
中日新聞	2005.09.29	万博の果実 (3) 環境 エコマネー 思わぬ成功
中日新聞	2005.09.26	さよなら 愛・地球博 大切にしたい 万博遺産 忘れない『環境テーマ』
中日新聞	2005.09.10	愛・地球博 ばんぱく随想 NPOドングリの会会長 稲本正さん 成功の証し 環境に良い“遺産”
読売新聞	2005.09.06	愛・地球博のエコマネー、閉幕後も継続 名古屋に交換所移設
中日新聞	2005.09.06	愛・地球博 エコマネー『全国展開も』 東京でシンポ
中日新聞	2005.09.03	愛・地球博 ばんぱく随想 EXPOエコマネーセンターのトップ 萩原喜之さん 自発性の連鎖 難産の子 強く育つ
読売新聞	2005.08.27	エコフェア 「地球環境」野中さんと語る オークヴィレッジ代表＝岐阜
読売新聞	2005.08.25	環境保全訴えトークショー 東京・玉川高島屋で
日本経済新聞	2005.08.17	東京デザイナー学院、環境配慮の素材、原宿に展示施設。
日本経済新聞	2005.07.15	環境保護促すエコマネー、万博閉幕後も残そう——協力企業に提案へ(愛地球博)
毎日新聞	2005.07.01	愛・地球博：エコマネー活用、ケヤキなど植樹 サテライト会場・ながくて広場 /愛知
中日新聞	2005.07.01	ケヤキの苗木植樹 万博・ながくて広場 エコマネー事業
中日新聞	2005.07.01	万博エコマネー使い苗木植える 長久手で住民ら
日刊工業新聞	2005.06.24	東大など、製造業の環境マネジメント教育で教材を開発—実務家を年150人育成へ
朝日新聞	2005.06.19	ものづくり、夢ある教育 高岡工芸・富山高専、新たにプログラム /富山県
朝日新聞	2005.06.18	ライフスタイルをエコデザインしよう サステナブル・ジャパン2005
読売新聞	2005.06.18	たまにはキャンドルの灯で きょう山形でエコを考える消灯運動
読売新聞	2005.06.12	富山高専、人材育成に高い評価 日本技術者教育認定機構、県内3件目認定＝富山

新聞名	日付	記事
朝日新聞	2005.05.26	持続可能な社会、シンポに600人
毎日新聞	2005.05.24	循環型社会：都市近郊型農林水産業の基地へ NPOが可能性追求—岸和田 /大阪
日刊工業新聞	2005.05.20	NPO法人エコデザインネット、24日に大阪で環境保全
読売新聞	2005.05.12	愛知万博情報1・5月12日
中日新聞	2005.05.07	愛・地球博 ばんぱく随想 EXPOエコマネーセンターのトップ 萩原喜之さん ボランティアの報酬 『役に立って
読売新聞	2005.05.03	愛知万博の「EXPOエコマネー」大盛況 予想の倍、連日20
読売新聞	2005.05.03	愛知万博で「エコマネー」人気 環境に貢献してポイントゲット
毎日新聞	2005.04.25	情報ひろば：大阪府デザイン・オープン・カレッジ受講生募集
中日新聞	2005.04.25	愛・地球博 万博春風 エコマネーは成長株 環境守って商品と交換 拠点センター 入場 予想の倍
日刊工業新聞	2005.04.13	3R推進へ初の国際会合、28日から東京で開催—21カ国・4機関参加
朝日新聞	2005.04.06	中学教科書、検定結果発表
中日新聞	2005.03.15	愛・地球博 開幕まであと10日 汚点 西ゲートに吸い殻点々 『環境』の看板泣く 『関係者の自覚必要』
日経産業新聞	2005.03.09	横断研究に3組織、豊橋技科大、民間連携一体で。
日本経済新聞	2005.03.08	豊橋技科大、学内横断3研究所、来月設立—産学連携、一体
中日新聞	2005.03.04	愛・地球博 開幕まであと21日 レジ袋節約で エコポイント 「マネー事業」詳細
朝日新聞	2005.03.04	豪や白川郷へGO 愛知万博エコマネーで応募OK 【名古屋
読売新聞	2005.02.22	産廃で肥料/間伐材のかばん… 環境に優しい商品紹介 高知でメッセ開催—高知
毎日新聞	2005.02.21	エコ産業大賞：技研製作所が大賞—高知エコデザイン協 /
朝日新聞	2005.02.18	イベントガイド /高知
日本経済新聞	2005.02.10	高知エコデザイン協議会、技研製作所に大賞。
中日新聞	2005.02.05	廃校を研究施設に 鳳来町 4月から 2大学に貸し出し
中日新聞	2005.01.28	愛・地球博 開幕まであと56日 エコマネー事業展開 例レジ袋『いらない』で… 特典ポイント発行 環境保全活動に
日刊工業新聞	2005.01.26	大阪府、中小のデザイン開発支援でセミナー・相談会開催

環境配慮型製品

新聞名	日付	記事
日経産業新聞	2005.12.20	住友電装、車部品も「エコラベル」、環境評価へ独自基準。
日経産業新聞	2005.12.20	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(9)ウシオ電機—汚染の有無を常に監視。
東京新聞	2005.12.11	THIS WEEK 月火水木金土日
日経産業新聞	2005.12.02	ガス販売業界、ガス給湯器普及目標策定。
日刊工業新聞	2005.11.10	住化分析センター、千葉事業所が独・環境マークの測定施設認
日経産業新聞	2005.10.25	サンデン・赤城事業所、「自然と共生」工場に哲学—環境配慮、製品にも反映。
毎日新聞	2005.10.20	セミナー：「エコ・テクノ'05」開幕 214社が最新技術紹介 / 福岡
日刊工業新聞	2005.10.06	エコプロダクツ国際展2005、きょうからバンコクで
日経産業新聞	2005.09.29	耐滑性に優れ、特別な処理が不要な産業・公共施設向け床タイル(海外ニューフェイス)
日経産業新聞	2005.09.27	GE、研究投資2010年に倍増、環境戦略は利益生む—顧客との連携強化。
日経産業新聞	2005.08.24	家具・文具の化学物質、コクヨ、データ構築急ぐ—「グリーン調達」に対応。
日刊工業新聞	2005.08.17	松下電工、配線用管路材をスルー型に切り替え—作業効率を向
西日本新聞	2005.08.11	昭和シェル 宮崎に太陽電池工場 来年末に完成予定 新規雇用、40-50人
日経産業新聞	2005.07.27	コクヨ、間伐材使ったファイル発売(情報プラス)
日刊工業新聞	2005.07.05	NEC、環境配慮型の製品認定制度をソフト・サービス分野に
日刊工業新聞	2005.06.22	経営相談コーナー / ISO14001改定のポイントは
日経産業新聞	2005.06.15	タナカ、環境ISO取得(情報プラス)
日経産業新聞	2005.06.06	使用済みPC、テル、4万5000トン回収—今期、全世界で50%増狙う。
日経産業新聞	2005.05.02	高砂熱学、消費電力、6%抑制、空調システム開発。
河北新報	2005.04.26	グリーン購入、国際組織発足 / 仙台市長呼び掛け
日経産業新聞	2005.04.25	エコプロダクツ2005、出展者募集。
日刊工業新聞	2005.04.21	沖電気、グループで環境のISO認証を取得—環境経営を効率
日刊工業新聞	2005.04.21	経営ひと言 / 三星産業貿易・中村重三社長「運が向く」
日刊工業新聞	2005.04.20	コニカミノルタ、中国5工場に分析装置を導入—RoHS対応
読売新聞	2005.04.10	「環境配慮へ意識」アンケートで8割以上の企業—石川
日刊工業新聞	2005.04.08	サンヨレックなど、太陽電池・白色LED照明システムを上海
朝日新聞	2005.03.25	国際資源循環の検討も(エコタウン五話：その5)
中日新聞	2005.03.25	経営者向け温暖化読本
日経産業新聞	2005.03.23	リース各社、顧客の要請、環境で差別化—NECリース、エコ物件で営業評価。
日経産業新聞	2005.03.22	電気機器、国内生産1.6%減、2005年度見通し—設備投資の一服影響。
日刊工業新聞	2005.03.17	NEC、パソコンなどのRoHSに対応した新設計体制を構築
日経産業新聞	2005.03.04	環境効率、東芝、2010年度に1.2倍目標。
日経産業新聞	2005.02.23	東洋鋼鈑、アルセロールに供与、工程短縮できる缶材技術。
日刊工業新聞	2005.02.22	沖電気、ステッピングモーターでRoHS対応を完了
日刊工業新聞	2005.02.22	グリーン購入、昨年は団体の85%が取り組み
日刊工業新聞	2005.02.21	荒川化学、環境配慮型製品にカーUV硬化樹脂など中心
日刊工業新聞	2005.02.17	京都議定書発効 / 産業界の苦悩と現実(2)物流のグリーン化
日経産業新聞	2005.02.13	日東エフシー、殻の出ない環境配慮型肥料(列島スコープ)
日刊工業新聞	2005.01.26	リコー、複写機の新循環システム構築へ—再生プラ利用全機種
日経産業新聞	2005.01.18	JT、6銘柄を来月発売—低臭気製品や環境配慮型。

環境配慮製品

新聞名	日付	記事
日本経済新聞	2005.12.13	リコーやNTTドコモなど、電機・情報機器、植物系樹脂採用
日経産業新聞	2005.12.13	エコプロダクツ2005——15—17日、東京で。
日本経済新聞	2005.12.11	エコプロダクツ2005、15—17日、東京で。
東京新聞	2005.12.07	TOKYO発 NPO法人、小田原でプロジェクト ミカン作り 笑顔実れ 『環境意識高めるモデルに』
日本経済新聞	2005.12.07	環境管理の国際規格ISO14001、グループ企業で統合取得
日本経済新聞	2005.11.30	第2部・地球環境経済人サミット特集——本社「企業アンケート」、「環境対策」。
日本経済新聞	2005.11.28	「エコプロダクツ2005」トークショー（日経からのお知らせ）
河北新報記事情報	2005.11.24	グリーン購入／宮城県、「促進条例」策定へ／2006年度
日本経済新聞	2005.11.21	燃料電池車乗車体験とバスツアー（日経からのお知らせ）
日本経済新聞	2005.11.07	エコプロダクツ2005記念シンポ受講者募集（日経からのお知らせ）
日経産業新聞	2005.11.02	第2部地球環境経済人サミット特集——オフィスで進む省エネ、OA機器・家電。
日経産業新聞	2005.10.25	東芝・研究開発センター、環境報告書、学生の視点で——社外の人にも分かりやすく。
中日新聞	2005.08.30	「三甲」5月期決算 売上が過去最高 環境配慮製品が好調
日経産業新聞	2005.08.25	社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、環境配慮製品の展示会（情報プラス）
日経産業新聞	2005.08.24	エーワン製品201点、国際環境ラベル「EPD」を取得。
日経産業新聞	2005.08.24	家具・文具の化学物質、コクヨ、データ構築急ぐ——「グリーン調達」に対応。
日刊工業新聞	2005.08.16	経産省、「環境配慮製品」普及への取り組みで報告書
日経産業新聞	2005.08.12	アジア生産性機構、環境配慮製品のデータ募集（情報プラス）
日本経済新聞	2005.06.25	電気製品、「環境」で国際標準——再利用容易に、日本主導、2007年にも。
河北新報記事情報	2005.06.09	温暖化防止運動ですから軽装実施／東北電力
日本経済新聞	2005.06.04	初田製作所、消火器レンタル、環境配慮——回収、中身を再生、不法投棄も防止。
日経産業新聞	2005.05.25	ラクトと乳酸発酵応用技研、レジオネラ菌、乳酸菌で撃退——温泉旅館に提案。
日経産業新聞	2005.05.02	高砂熱学、消費電力、6%抑制、空調システム開発。
日本経済新聞	2005.04.25	「エコプロダクツ2005」出展者募集（日経からのお知らせ）
日経産業新聞	2005.04.25	エコプロダクツ2005、出展者募集。
日本経済新聞	2005.04.20	環境配慮商品、購入促進へ国際組織——NEC、松下など、企業と市民団体連携。
日刊工業新聞	2005.03.24	沖電気、国内主要拠点でRoHS対応生産体制を確立
日経産業新聞	2005.03.23	リース各社、顧客の要請、環境で差別化——NECリース、エコ物件で営業評価。
日刊工業新聞	2005.03.16	沖電気、RoHS対策で六価クロム全廃へ
日刊工業新聞	2005.03.02	農水省、環境配慮型商品普及へ「バイオマスマーク」の試験運用
日経産業新聞	2005.02.25	システムと三菱商事建材、建材販売で提携。
西日本新聞	2005.02.19	九州情報ハイウエー＝環境産業の潮流探る 水俣市でエコタウンサミット
西日本新聞	2005.02.18	熊本県／環境産業の潮流探る エコタウンサミット 全国12地域160人参加
西日本新聞	2005.02.18	福岡県／エコタウンサミット開幕 環境ビジネス探る 熊本・水俣／ふくおか県総合
日本経済新聞	2005.02.10	高知エコデザイン協議会、技研製作所に大賞。
日刊工業新聞	2005.01.26	リコー、複写機の新循環システム構築へー再生プラ利用全機種
日刊工業新聞	2005.01.26	産構審、家電製品の3R高度化へ含有化学物質の情報開示など検討

環境配慮型商品

新聞名	日付	記事
日本経済新聞	2005.12.26	電通、CSR戦略を診断し助言。
日経産業新聞	2005.12.26	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(10)松坂屋——環境配慮型商品拡販(終)
毎日新聞	2005.12.13	グリーン購入大賞：受賞団体が発表される
日刊工業新聞	2005.12.05	経営革新計画承認／東京都43件、大阪府44件、広島県33
毎日新聞	2005.10.06	役立つ住宅情報：ハウジング・ミニ情報 夏も冬も役立つひさしシートシステム
河北新報	2005.09.29	環境配慮型商品、ローン金利優遇／東北労働金庫
日刊工業新聞	2005.09.13	環境省、きょうから日・中・韓の環境実務者協議を開催
日経産業新聞	2005.09.09	「環境会計」、運用にプラスα——宝酒造、社会貢献を追加。
日経産業新聞	2005.09.05	ダイナパック、食品トレー会社買収、環境配慮商品を充実——伊藤忠と共同出資。
日経産業新聞	2005.08.22	生活・サービス——シャネル、尾瀬林業、資生堂。
日本経済新聞	2005.08.16	ペットボトル100%使用——尾瀬林業(ニューフェース)
日経産業新聞	2005.07.27	パナホーム、燃料電池コージェネ、分譲住宅で採用——横須賀市で全6戸。
日刊工業新聞	2005.07.21	経営ひと言／松下エコシステムズ・平田為茂社長「海外展開に第28回読売関西フォーラム 環境配慮の住宅や家電 温暖化防止に期待＝特集
読売新聞	2005.06.28	産業景気予測特集——7-9月、主要30業種の動き、電子部品・半導体。
日本経済新聞	2005.06.27	新製品・技術——環境配慮ソファ、簡単に生産・解体、他(列島ビジネスピックアップ)
日本経済新聞	2005.06.20	UCC、NGOと、環境配慮型商品を拡充。
日本経済新聞	2005.06.09	一村産業、環境配慮型商品を拡販、再生繊維の織物など。
日本経済新聞	2005.06.08	マルイチセーリング、ソファ、85%リサイクル——3年後、主力に育成。
日本経済新聞	2005.06.07	松下電工、台湾企業と合併——配線板用材料、環境配慮型を開
日経産業新聞	2005.05.30	カンブラ工業、うちの骨格部分に植物原料(情報プラス)
日経産業新聞	2005.05.25	新潟県県央地域地場産業振興センター、地域企業育成へ独自支援事業(列島スコープ)
日経産業新聞	2005.04.25	新潟県県央地場産センター、三条・燕の企業育成、販路開拓など、独自に行動計画。
日本経済新聞	2005.04.19	[生活わいど] 数値ではっきり省エネ家電 家庭で防ごう地球温
読売新聞	2005.03.16	農水省、環境配慮型商品普及へ「バイオマスマーク」の試験運
日刊工業新聞	2005.03.16	グリーン購入、昨年は団体の85%が取り組み
日刊工業新聞	2005.02.22	ソニー・ミュージック、環境ビジネス始動——イベント制作・「配慮型」CD。
日本経済新聞	2005.01.24	業界コーナー
中日新聞	2005.01.18	

エコプロダクト（エコプロダクツ）

新聞名	日付	記事
産経新聞	2005.12.21	【見聞行考】エコプロダクツ2005（江東）最先端の“環境
日本経済新聞	2005.12.16	エコプロダクツ2005開幕、東芝社長講演、環境製品で温暖
日経産業新聞	2005.12.16	エコプロダクツ2005開幕——電機・自動車など、502社・団体が出展。
日経産業新聞	2005.12.16	エコプロダクツ2005開幕——東芝の西田社長、基調講演、「製品で地球環境貢献」。
日本経済新聞	2005.12.15	環境配慮の製品展示、「エコプロダクツ2005」開幕。
日経産業新聞	2005.12.15	「エコプロダクツ2005」きょう開幕、環境負荷低減へ提案——502社・団体出展。
朝日新聞	2005.12.14	ショッピング マリオン
朝日新聞	2005.12.14	講座・講演 マリオン
日刊工業新聞	2005.12.13	シチズン時計、電子インク技術利用の曲げられる大型時計を開
日経産業新聞	2005.12.13	エコプロダクツ2005——15—17日、東京で。
東京新聞	2005.12.11	THIS WEEK 月火水木金土日
日本経済新聞	2005.12.11	エコプロダクツ2005、15—17日、東京で。
日刊工業新聞	2005.12.08	松英建設、界面活性剤含む排水を常温処理できる浄化装置を発
日刊工業新聞	2005.12.08	イージェイ、独社とバラ状緩衝材を開発—古紙とコーンスター
日経産業新聞	2005.12.08	INAX、浴槽試作品、寝たまま体洗いOK。
日本経済新聞	2005.12.08	INAX、浴槽の新モデル、寝ながらシャワーOK——バスタブからせっけんの泡。
東京新聞	2005.12.07	TOKYO発 NPO法人、小田原でプロジェクト ミカン作り 笑顔実れ 『環境意識高めるモデルに』
日本経済新聞	2005.12.05	エコプロダクツ2005「食と環境」展示コーナー（日経からのお知らせ）
日刊工業新聞	2005.12.01	エコプロダクツ大賞に7件選定—推進協議会
日経産業新聞	2005.12.01	エコプロダクツ大賞、選考結果を発表。
東京新聞	2005.11.30	12月の経済 小泉内閣『最後』の予算編成
日本経済新聞	2005.11.28	「エコプロダクツ2005」トークショー（日経からのお知らせ）
中日新聞	2005.11.25	『業界賞』の裏事情 耐震偽造マンションで脚光 なれ合い、順繰りで受賞
東京新聞	2005.11.23	こちら特報部 耐震偽造マンションも輝いた 業界団体の『賞』事情 なれ合い、順繰りで受賞 『選ぶ側』のチェック
日刊工業新聞	2005.11.22	製造科学技術センター・IMSセンター、29日に講演会
日本経済新聞	2005.11.21	燃料電池車乗車体験とバスツアー（日経からのお知らせ）
日本経済新聞	2005.11.21	エコプロダクツ2005特別シンポ受講者募集（日経からのお知らせ）
日本経済新聞	2005.11.07	エコプロダクツ2005記念シンポ受講者募集（日経からのお知らせ）
日経産業新聞	2005.11.07	ホンダの燃料電池車「FCX」、出光興産、リース契約。
日刊工業新聞	2005.11.01	コクヨ、紙100%の厚型ファイルを数年内に商品化へ
毎日新聞	2005.10.26	KICS：加盟3社、中国進出果たす /福岡
日刊工業新聞	2005.10.20	びわ湖メッセ2005、滋賀県で開幕—環境と経済を両立
日本経済新聞	2005.10.20	オリエンタル、環境に優しい食品容器、再生段ボールを活用—樹脂並みの強度。
西日本新聞	2005.10.18	福岡県／経済・暮らし＝環境配慮サービスなど実施 地場中小の26件選定
日経産業新聞	2005.10.18	「エコプレミアム」、低環境負荷26件、北九州市が選定。
日刊工業新聞	2005.10.07	エコプロダクツ国際展が開幕、環境配慮性をアピール
毎日新聞	2005.10.06	芝浦特機：小倉南に建設の太陽光発電マンション、エコプレミアムに選定 /福岡
日刊工業新聞	2005.10.06	エコプロダクツ国際展2005、きょうからバンコクで
日刊工業新聞	2005.10.04	ニュース拡大鏡／化学物質管理のガイドライン、各社普及へ第一歩—JGPSSI
日刊工業新聞	2005.09.29	創刊90周年特別号（1）中堅・中小向けビジネス—環境対
日刊工業新聞	2005.08.17	びわ湖環境メッセ2005、10月に滋賀・長浜ドームで開催
日刊工業新聞	2005.08.16	経産省、「環境配慮製品」普及への取り組みで報告書
日経産業新聞	2005.08.12	アジア生産性機構、環境配慮製品のデータ募集（情報プラス）
日本経済新聞	2005.08.12	外国人のための無料法律相談会、他（インフォメーション）
日刊工業新聞	2005.08.04	国際フロンティア産業メッセ、きょうから神戸で開催

新聞名	日付	記事
日刊工業新聞	2005.07.28	サステナブルレポート／CSR前面に(2)サントリーー用水使用量4%削減
日経産業新聞	2005.07.22	日経新製品ウォッチャー(7月25日号)
日刊工業新聞	2005.06.30	三菱電機、環境活動の成果をドキュメンタリー風に報告
日刊工業新聞	2005.06.28	鳥取県産業振興機構、東京・大阪など4展示会への出展者を募
毎日新聞	2005.06.22	四国経済：四国経済産業局がパンフレット作製 リサイクル製品など紹介／四国
日経産業新聞	2005.06.22	独自環境基準「エコプロダクツ」、オリンパス、適合製品8割、2010年度目標。
朝日新聞	2005.06.17	情報ラック／香川県
日本経済新聞	2005.06.09	金沢商工会議所、「エコ大賞」を募集。
日本経済新聞	2005.06.08	日栄紙工、段ボール緩衝材増産—環境ニーズ、倍の日産3万
日刊工業新聞	2005.05.30	ニュース拡大鏡／JGPSSI、化学物質管理の共通指針策定大
朝日新聞	2005.05.25	(産業ツーリズム 記者探訪) 神鋼環境ソリューション播磨製作所／兵庫県
東京新聞	2005.05.12	環境配慮の経営支援 中小企業のごみ減量へ 「審議会」が答申 墨田区
日本経済新聞	2005.04.25	「エコプロダクツ2005」出展者募集(日経からのお知らせ)
日経産業新聞	2005.04.25	エコプロダクツ2005、出展者募集。
日刊工業新聞	2005.04.22	リコー、使用済み製品の回収システムを構築—6月から運用開
日経産業新聞	2005.04.14	中野科学、生分解性樹脂のナイフなど(情報プラス)
日本経済新聞	2005.04.13	フォーク、スプーン、生分解樹脂を活用—中野科学、キャンプ需要見込む。
日経産業新聞	2005.03.28	日経新製品レビュー(3月28日号)
読売新聞	2005.03.01	【遠望細見】おからとお茶殻で猫のトイレ消臭剤 北九州のベンチャーが開発
毎日新聞	2005.02.27	オリジナル・マイバッグコンテスト：石川須賀子さんに最優秀賞／高知
読売新聞	2005.02.22	産廃で肥料／間伐材のかばん…環境に優しい商品紹介 高知でメッセ開催＝高知
朝日新聞	2005.02.18	イベントガイド／高知
日刊工業新聞	2005.02.17	京都議定書発効／産業界の苦悩と現実(2)物流のグリーン化
読売新聞	2005.02.12	【余響】環境保護度、北九州市はどの程度？
読売新聞	2005.02.08	県、マイバッグ運動PRへ 手作り作品コンテスト 18日から高知市で＝高知
日刊工業新聞	2005.02.07	ニュース拡大鏡／電気・電子機器業界、RoHS対策大詰め

グリーンプロダクツ

新聞名	日付	記事
日刊工業新聞	2005.09.13	松下電器、詳細な環境データブックを発刊
日刊工業新聞	2005.07.07	シャープ、昨年度の温暖化ガス排出量削減—太陽電池効果で71%増
日経産業新聞	2005.07.07	シャープが環境報告書、CO2削減目標順調。

環境配慮情報

新聞名	日付	記事
日経産業新聞	2005.06.22	独自環境基準「エコプロダクツ」、オリンパス、適合製品8割、2010年度目標。
日刊工業新聞	2005.03.23	廃棄物・リサイクル小委、製品3Rの高度化で方向性打ち出す

ライフサイクルアセスメント

新聞名	日付	記事
日経産業新聞	2005.12.28	製造から廃棄まで環境負荷評価、重要性増すLCA活用——企業間の比較明快に。
日経産業新聞	2005.12.16	エコプロダクツ2005開幕——東芝の西田社長、基調講演、「製品で地球環境貢献」。
日経産業新聞	2005.12.14	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(6)日清製粉グループ本社——目標見直し。
日経産業新聞	2005.12.09	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(4)住友電気工業——現場の知恵共有。
日経産業新聞	2005.12.08	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(3)横河電機——製品設計にエコ基準。
日経産業新聞	2005.12.06	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(1)ノーリツ——先行企業、徹底研究。
日経産業新聞	2005.12.05	第9回環境経営度調査——製造業、製品の環境対策蓄積進む、非鉄・鉄鋼。
日本経済新聞	2005.12.02	走れ電動二輪車、ヤマハ発が事業拡大——小型化、収納楽に(アングル静岡)
日刊工業新聞	2005.11.28	日本非晶質金属、アモルファス変圧器でLCA—ケイ素鋼と比
日経産業新聞	2005.11.28	日本非晶質金属、電力向け変圧器、環境負荷を評価。
日刊工業新聞	2005.11.14	ピーイーアジア、中小や官公庁へ環境コンサルを展開
日刊工業新聞	2005.10.25	安西ガス協会会長、CO2発生量で石油業界に反論一定例会見
日経産業新聞	2005.10.13	山武、LCAデータ、2700件以上収録。
日刊工業新聞	2005.10.05	山武、LCAのDBソフト日本語版発売
日本経済新聞	2005.09.28	都産木材の住宅、産官学で販促——運送短期間、「環境に優しい」、勉強会通じPR。
日本経済新聞	2005.09.28	都産木材の住宅販促策(首都圏ダイジェスト)
日経産業新聞	2005.09.22	山武、欧州環境評価セミナー(情報プラス)
日刊工業新聞	2005.09.13	クリーンエネルギー・ガスの時代(21)クリーン車の普及に
日経産業新聞	2005.08.24	エーワン製品201点、国際環境ラベル「EPD」を取得。
朝日新聞	2005.08.17	環境負荷削減、食品も勝負 データ蓄積が課題 ライフサイクルアセスメント
日経産業新聞	2005.07.29	プラ処理協、プラ製容器再資源化、ガス化などが有効——6手法を調査。
日経産業新聞	2005.07.12	環境・エネルギー技術——諸国の発想、驚きの連続(Technoonline)
日刊工業新聞	2005.07.08	山武、溶剤・塗装を排除した環境配慮の空調制御盤発売
日刊工業新聞	2005.07.08	経営ひと言/サンデン・田村武弘顧問「環境問題に終わりのない
日経産業新聞	2005.07.04	東洋製缶のアルミ・スチール缶、LCAで第三者認証——全段階の負荷数値を把握。
中日新聞	2005.06.22	CO2減量対策を 県工業会が環境技術研 京都議定書テーマ
日経産業新聞	2005.06.22	独自環境基準「エコプロダクツ」、オリンパス、適合製品8割、2010年度目標。
日本経済新聞	2005.06.17	特集——環境関連技術「愛・地球賞」100件決定、環境汚染物質対策(5件)、他。
日刊工業新聞	2005.06.15	リコー、LCA手法で再生複写機の環境情報を公開
日経産業新聞	2005.06.15	リコー、再生複写機の環境情報公開。
日経産業新聞	2005.06.09	環境保全と企業活動(6)企業間競争で動機づけ(ビズテック)
日経産業新聞	2005.06.07	環境保全と企業活動(4)欠かせない消費者の視点(ビズテック)
日経産業新聞	2005.06.02	環境保全と企業活動(3)負荷の定量化手法続々(ビズテック)
日経産業新聞	2005.06.01	環境保全と企業活動(2)負荷の評価、徐々に普及(ビズテック)
日経産業新聞	2005.05.27	リアプロテレビの高性能化——高温ポリ方式優位(テクノトレ)
日経産業新聞	2005.05.27	第一部小さな先駆者たち(2)コスト削減と好循環(Kyotoを超える)
日経産業新聞	2005.05.13	教えて身近なCO2排出量——東芝プラントシステム、教育ソフト、自治体向け参入。
日刊工業新聞	2005.04.20	経営相談コーナー/「ISO14001規格改訂」について
日刊工業新聞	2005.04.13	ユニカミノルタ、90年比CO2を7%削減—CDM活用も検
毎日新聞	2005.04.04	省エネ型家電：買い替え、もったいない? 「00年が一つの
日刊工業新聞	2005.03.31	パワーシステム、大容量キャパシターを開発—CO2排出50
日経産業新聞	2005.03.28	コンパクトカー——ホンダ「フィット」1位、燃費でリード(製品環境度調査)
日刊工業新聞	2005.02.25	塩ビ工業・環境協会、PVC資料集「05年版」発刊
日刊工業新聞	2005.02.16	日本エネルギー学会、学会賞学術部門に稲葉氏と藤田氏を選定

LCA

新聞名	日付	記事
日経産業新聞	2005.12.28	製造から廃棄まで環境負荷評価、重要性増すLCA活用——企業間の比較明快に。
日経産業新聞	2005.12.14	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(6)日清製粉グループ本社——目標見直し。
日経産業新聞	2005.12.09	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(4)住友電気工業——現場の知恵共有。
日経産業新聞	2005.12.08	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(3)横河電機——製品設計にエコ基準。
日経産業新聞	2005.12.06	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(1)ノーリツ——先行企業、徹底研究。
日経産業新聞	2005.12.05	第9回環境経営度調査——製造業、製品の環境対策蓄積進む、非鉄・鉄鋼。
日刊工業新聞	2005.11.28	日本非晶質金属、アモルファス変圧器でLCA—ケイ素鋼と比
日経産業新聞	2005.11.28	日本非晶質金属、電力向け変圧器、環境負荷を評価。
日刊工業新聞	2005.11.14	ピーイーアジア、中小や官公庁へ環境コンサルを展開
日刊工業新聞	2005.11.04	帝人ファイバー、ペットボトルのケミカルリサイクル—資源生産性2.4倍に
日刊工業新聞	2005.10.25	安西ガス協会会長、CO2発生量で石油業界に反論—一定例会見
日経産業新聞	2005.10.13	山武、LCAデータ、2700件以上収録。
日刊工業新聞	2005.10.05	山武、LCAのDBソフト日本語版発売
日本経済新聞	2005.09.28	都産木材の住宅、産官学で販促——運送短期間、「環境に優しい」、勉強会通じPR。
日本経済新聞	2005.09.28	都産木材の住宅販促策(首都圏ダイジェスト)
日刊工業新聞	2005.09.22	山武、28日に欧の環境動向でセミナー
日経産業新聞	2005.09.22	山武、欧州環境評価セミナー(情報プラス)
日刊工業新聞	2005.09.13	クリーンエネルギー・ガスの時代(21)クリーン車の普及に
日刊工業新聞	2005.09.12	第8回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞、旭硝子などを表彰
日刊工業新聞	2005.09.09	第8回「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」に輝く6件
日経産業新聞	2005.08.24	エーワン製品201点、国際環境ラベル「EPD」を取得。
朝日新聞	2005.08.17	環境負荷削減、食品も勝負 データ蓄積が課題 ライフサイクルアセスメント
日経産業新聞	2005.07.29	プラ処理協、プラ製容器再資源化、ガス化などが有効——6手法を調査。
日刊工業新聞	2005.07.26	三菱マテ、アルミ飲料缶でエコライフ環境ラベルの認証を取得
日経産業新聞	2005.07.12	環境・エネルギー技術——諸国の発想、驚きの連続(Technoonline)
日刊工業新聞	2005.07.08	山武、溶剤・塗装を排除した環境配慮の空調制御盤発売
日刊工業新聞	2005.07.08	経営ひと言/サンデン・田村武弘顧問「環境問題に終わりな
日経産業新聞	2005.07.04	東洋製缶のアルミ・スチール缶、LCAで第三者認証——全段階の負荷数値を把握。
日本経済新聞	2005.07.02	グローバルナイパーフード代表後藤浩成氏——遮熱塗料で夏を乗り切る(グリーン通信)
中日新聞	2005.06.22	CO2減量対策を 県工業会が環境技術研 京都議定書テ
日経産業新聞	2005.06.22	独自環境基準「エコプロダクツ」、オリンパス、適合製品8割、2010年度目標。
日刊工業新聞	2005.06.21	日本ケミコン、丸紅グループと電気二重層キャパシターの米販売で提携
日刊工業新聞	2005.06.15	リコー、LCA手法で再生複写機の環境情報を公開
日経産業新聞	2005.06.15	リコー、再生複写機の環境情報公開。
日経産業新聞	2005.06.09	環境保全と企業活動(6)企業間競争で動機づけ(ビズテック塾)
日経産業新聞	2005.06.07	環境保全と企業活動(4)欠かせない消費者の視点(ビズテック)
日経産業新聞	2005.06.02	環境保全と企業活動(3)負荷の定量化手法続々(ビズテック塾)
日経産業新聞	2005.06.01	環境保全と企業活動(2)負荷の評価、徐々に普及(ビズテック)
日経産業新聞	2005.05.27	第1部小さな先駆者たち(2)コスト削減と好循環(Kyotoを超える)
日経産業新聞	2005.05.13	教えて身近なCO2排出量——東芝プラントシステム、教育ソフト、自治体向け参入。
日刊工業新聞	2005.04.13	コニカミノルタ、90年比CO2を7%削減—CDM活用も検
毎日新聞	2005.04.04	省エネ型家電：買い替え、もったいない? 「00年が一つの分岐点」
日刊工業新聞	2005.03.31	日本ケミコン、電気二重層キャパシターの生産能力を6倍に増
日刊工業新聞	2005.03.31	パワーシステム、大容量キャパシターを開発—CO2排出50
朝日新聞	2005.03.20	脱「大量廃棄」が課題(さらば浪費社会：10 未来を選ぶ)
日刊工業新聞	2005.01.25	日本テトラパック、レトルト対応紙容器で固形食品向けに参入
日刊工業新聞	2005.01.10	【豆ニュース】未踏科技協会エコマテリアル研究会、LCA手法講習会を開催

ライフサイクルマネジメント

新聞名	日付	記事
日刊工業新聞	2005.12.06	外資系第三者認証機関、横浜で活発な動き—製品の追跡・流通
朝日新聞	2005.11.25	武田、薬効を「再開発」改良、特許保護も期待 既存薬、業績のカンフル剤に【大阪】
日刊工業新聞	2005.11.07	デュフラインランド、スタッフ増員し製造物の追跡管理を強化
日刊工業新聞	2005.10.18	富士通、外部記憶装置システムで新サービス—従量課金制を導
日経産業新聞	2005.06.03	最先端医療、新市場を開く—新薬開発で主導権競う、薬、効率的に（新産業羅針盤）
日経産業新聞	2005.05.13	アストラゼネカ—糖尿病治療薬「AZ242」（わが社のパイプライン）=訂正あり
日経産業新聞	2005.04.28	塩野義とアストラゼネカの「コレステロール」、安全性、国際基準で調査—営業戦略。
日刊工業新聞	2005.04.01	日建設計など、建物の投資判断システムを共同開発
日本経済新聞	2005.03.25	日本工営（会社人事）
日経産業新聞	2005.03.25	日本工営（会社人事）
日経産業新聞	2005.02.22	ストレージ管理ソフト、データ保存場所、定期的に見直し、日立が新製品。

ライフサイクル管理

新聞名	日付	記事
日刊工業新聞	2005.12.09	IT今が旬／米EMC副社長のポール・ゲッツ氏
日刊工業新聞	2005.12.02	ネクステック、フォー・リンクを子会社化
日刊工業新聞	2005.11.08	ERPを超えて／巨人SAPの新戦略（4）HCM、CRM分
日刊工業新聞	2005.11.04	マーキュリー、対日戦略で製品群を統合提案—ライフサイクル
日刊工業新聞	2005.10.31	ファソテック、製品総合コンサルで新会社設立
日刊工業新聞	2005.09.07	e—文書で変わる（8）富士通LCMサービス—文書管理を一
日刊工業新聞	2005.08.17	自動車業界・今日的課題（上）全体最適のSCM構築を
日刊工業新聞	2005.06.24	ストレージ大手の米EMC、箱売りから脱却—キーワードはI
日刊工業新聞	2005.06.15	クラウドテクノロジーなど、サービス指向アーキテクチャー普及
日刊工業新聞	2005.06.08	米PTC、2社を買収—PLMソフトの機能強化し拡販
日経産業新聞	2005.06.06	41億ドル投資、危うい賭け、米サン、記憶装置専業を買収—低成長のテーブ型。
日刊工業新聞	2005.05.26	富士通、サービス事業復活へ—今年度営業益目標1750億円
毎日新聞	2005.05.25	キャンパスNOW：学園情報 京都コンピュータ学院「新校舎竣工記念講演会」ほか
日刊工業新聞	2005.05.16	IBM、システム構築などの有形無形ノウハウを資産化
日刊工業新聞	2005.05.13	米メイトリックスワン、業界特化型の製品PLMソフト開発に
日刊工業新聞	2005.05.12	オConnell米メイトリックスワンCEO、PLM導入意義を強
日刊工業新聞	2005.05.11	米メイトリックス、協力企業と連携強化—PLMソフト最新版
日刊工業新聞	2005.05.10	米メイトリックスワン、ユーザー会議開催—PLMの導入事例
日刊工業新聞	2005.04.26	インタビュー／米ポーランド社長兼CEOのデール・フラー氏
産経新聞	2005.04.11	「UGS PLMソリューションズ」生産工程管理ソフト、合併で一貫性強化
日経産業新聞	2005.04.05	日本IBM、ワコムを代理店に—仏ダッソー製製品管理ソフト、販売窓口を一本化。
日刊工業新聞	2005.03.10	富士テクノ、XVL3次元データのASPサービス開始
日経産業新聞	2005.02.28	仏ダッソー・図研、電機・電子機器、開発を効率化、PLM事業で提携。
日刊工業新聞	2005.01.31	大塚商会、日本IBMとe—文書法関連システムで協業

環境効率

新聞名	日付	記事
朝日新聞	2005.12.20	未確認45%、消えぬ危険 ブランドに傷、懸念 松下温風機・欠陥 【大阪】
読売新聞	2005.12.16	松下が環境効率の経産省局長賞を辞退 温風機事故で
日本経済新聞	2005.11.30	第2部・地球環境経済人サミット特集——パネル討論、東芝執行役専務庭野征夫氏。
日経産業新聞	2005.11.02	第2部地球環境経済人サミット特集——東芝執行役専務庭野征
日経産業新聞	2005.10.31	豊田自動織機、2010年度までの5年間、CO2排出10%
中日新聞	2005.09.21	来月、環境ビジネスメッセ 国内外の企業、団体が参加 長浜エコテク繚乱愛地球賞の100技術(下) 自然や水資源保護——伝統と科学を融合。
日経産業新聞	2005.09.15	特集——環境関連技術「愛・地球賞」100件決定、環境汚染物質対策(5件)、他。
日本経済新聞	2005.06.17	環境保全と企業活動(6) 企業間競争で動機づけ(ビズテク
日経産業新聞	2005.06.09	環境保全と企業活動(3) 負荷の定量化手法続々(ビズテク
日経産業新聞	2005.06.02	「上原宜昭個展」、他(インフォメーション)
日本経済新聞	2005.04.22	東芝、2010年までに環境効率2倍へのビジョン策定
日刊工業新聞	2005.03.04	環境効率、東芝、2010年度に1.2倍目標。
日経産業新聞	2005.03.04	

ファクター

新聞名	日付	記事
日本経済新聞	2005.09.18	愛・地球賞特集——記念シンポジウム、未来みつめ環境の世紀、求められる技術。
日経産業新聞	2005.09.02	優れた環境技術「愛・地球賞」、豪の研究者や佐賀大が受賞。
日本経済新聞	2005.08.22	「愛・地球賞」記念シンポ、受講者募集(日経からのお知らせ)
日本経済新聞	2005.08.15	「愛・地球賞」シンポジウム、9月1日、名古屋で、受講者募
日経産業新聞	2005.08.15	「愛・地球賞」シンポジウム、9月1日、名古屋で——受講者
中日新聞	2005.06.06	われら地球人 愛・地球博から Think Globally, Act Locally ロッキーマウンテン研究所CEO エイモリー・ロビンスさん(57) 『ムダナ
朝日新聞	2005.03.27	「環境優先」を武器に 有識者・現場からの提言(さらば浪費社会:11 未来を選ぶ)
読売新聞	2005.03.26	地球温暖化防止シンポジウム CO2削減、待ったなし=特集
日経産業新聞	2005.03.09	ファクター——生産性向上なども考慮に(環境キーワード)

環境リスクマネジメント

新聞名	日付	記事
日経産業新聞	2005.12.20	環境経営躍進の原動力第9回本社調査から(9)ウシオ電機——汚染の有無を常に監視。
日本経済新聞	2005.12.20	実学重視の学科相次ぐ、県内の大学、来春に——神奈川工大、横浜薬科大。
読売新聞	2005.10.08	進学特集 来春新設・改編の近畿の大学・学部・学科=10-11 面見開き
毎日新聞	2005.09.05	公開セミナー：大発生する野生シカ問題——来月開催
日刊工業新聞	2005.03.07	横国大、生態環境リスクマネジメントでシンポジウム開催

付録-3 普及状況に関するヒアリング
環境配慮設計に関する認知度及び実践度の業種別・キーワード別得点

環境配慮設計のプロセス	環境配慮型製品	製品アセスメントチェックリスト	LCA	DfEガイドライン				エコラベル			化学物質管理				
				ISO TR 14062	IEC Guide 114	EU EUP指令	ライフサイクル設計	エコラベル	エコマーク	エコリーフ	EU RoHS指令	J-MOSS (JIS C 0950)	REACH	GHS	PRTR

		開発・設計		営業他		開発・設計		営業他															
		A	B	A	B	A	B	A	B	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
製造業	電気電子機器	認知度	A	7	4	8	8	5	4	0	0	0	0	2	6	5	3	8	3	0	0	4	3
			B	4	7	2	2	3	3	1	1	3	1	1	4	1	1	2	1	0	2	4	
		実践度	A	9	6	9	8	9	4	0	0	1	3	6	4	1	10	5	1	1	9	8	
			B	2	4	2	2	2	2	2	2	1	0	1	2	2	1	1	2	1	1	0	2
	輸送用機械器具(自動車・自動車部品)	認知度	A	6	2	6	5	2	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	1	0	5	5	
			B	0	2	0	1	3	4	0	0	0	1	2	4	1	1	0	0	0	2	2	
		実践度	A	5	4	3	2	3	2	2	1	0	2	0	0	0	5	0	0	0	7	7	
			B	1	2	2	2	2	4	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	
	一般機械器具(建設機械、産業機械ほか)	認知度	A	3	1	3	1	2	1	0	0	0	2	3	0	1	0	1	2	3	2	3	
			B	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	0	0	
		実践度	A	3	2	3	2	3	3	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	3	3	
			B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
	食品・医薬品(食料品、飲料、医薬品)	認知度	A	2	2	2	2	1	2	0	0	0	1	1	2	1	1	0	1	1	2	2	
			B	1	1	1	1	2	0	1	1	2	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	
		実践度	A	3	3	2	2	2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	3	3	
			B	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
その他*	認知度	A	10	9	12	12	1	4	0	0	0	0	9	11	5	8	2	1	2	10	11		
		B	3	3	4	4	3	4	1	2	1	2	2	1	3	3	2	2	1	1	3		
	実践度	A	10	6	12	8	5	6	0	0	0	2	5	5	2	9	2	2	2	14	15		
		B	4	4	4	4	3	4	0	0	0	0	2	3	1	3	3	3	3	1	0		
建設業	認知度	A	4	4	4	4	0	2	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	2		
		B	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	実践度	A	4	4	4	4	3	2	0	0	4	2	4	4	0	0	0	0	0	0	3		
		B	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		

* 製造業 その他： 家具・装備品製造業、印刷・同関連業、化学工業（医薬品除く）、プラスチック製品製造業、窯業・土木製品製造業、金属製品製造業、その他の製造業を含む

(付録-3 つづき)

廃棄物ガバナンス	リサイクルガバナンス	環境リスクマネジメント	環境リスク管理	環境マネジメント、CSR			3R	リデュース	リユース	リサイクル	家電リサイクル法	自動車リサイクル法	容器包装リサイクル法	EU WEEE指令	地球温暖化			
				ISO14001	グリーン購入法	グリーン調達									CO2	地球温暖化	京都議定書	二酸化炭素排出権取引

製造業	電気電子機器	認知度	A	4	4	5	5	11	5	6	7	7	7	7	8	6	5	5	6	10	9	4	2
			B	0	0	2	2	0	3	3	2	3	3	3	2	5	6	4	0	1	2	3	1
		C	3	3	4	3	0	3	2	2	1	1	1	1	0	0	2	5	0	0	4	8	
		D	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実践度	A	8	8	7	7	9	7	9	8	8	8	8	9	6	5	8	8	9	9	0	0	
		B	1	1	2	2	1	2	2	3	3	3	2	2	1	0	1	1	1	1	1	2	
		C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	2	
		D	2	2	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	3	5	2	2	0	0	7	7	
	輸送用機械器具(自動車・自動車部品)	認知度	A	0	0	3	0	7	5	6	3	6	6	6	7	6	6	4	0	6	6	6	2
			B	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1	0	0	0	2	2	1	1	0	0
		C	1	1	2	2	0	1	1	2	0	0	0	0	1	1	1	5	0	0	1	5	
		D	6	6	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実践度	A	6	6	6	5	7	3	4	4	7	7	7	7	2	5	4	0	6	6	3	0	
		B	0	0	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	
		C	1	1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	
		D	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5	2	2	5	0	0	3	4	
	一般機械器具(建設機械、産業機械ほか)	認知度	A	3	3	4	4	3	3	1	2	4	4	4	5	3	3	2	0	3	3	1	0
			B	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	2
		C	3	2	2	2	3	2	2	3	1	1	1	1	2	2	3	4	2	0	1	2	2
		D	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	3	3
実践度	A	4	4	4	4	3	3	2	3	4	4	4	4	2	2	2	0	3	3	0	1		
	B	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0		
	C	0	0	0	0	2	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	2	1	4	2	2	
	D	2	2	2	2	1	3	3	2	1	1	1	1	3	3	0	5	1	2	2	3	3	
食品・医薬品(食料品、飲料、医薬品)	認知度	A	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0	3	3	3	3	3	
		B	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	D	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
実践度	A	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	1	3	3	1	1	1	
	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	
その他*	認知度	A	6	6	9	8	16	12	9	9	12	14	12	14	10	9	10	2	13	12	4	1	
		B	3	4	4	4	0	3	6	6	5	3	4	3	5	5	4	2	3	4	6	6	6
	C	4	3	3	3	1	2	2	2	0	0	1	0	2	3	3	9	1	0	6	6	6	
	D	4	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	4	4	
実践度	A	11	10	11	10	14	12	12	9	11	13	10	13	8	5	10	4	11	9	1	1	1	
	B	3	4	4	5	0	2	3	6	6	3	4	3	4	4	2	5	2	2	3	3	3	
	C	2	2	1	1	2	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	1	4	4	3	
	D	1	1	1	1	1	3	2	1	0	0	2	0	5	7	5	8	3	5	9	10	10	
建設業	認知度	A	1	1	3	3	4	4	3	2	4	3	3	4	3	0	0	0	3	3	1	1	
		B	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	3	3	0	1	1	1	0	0
	C	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	2	3	
	D	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
実践度	A	3	3	4	4	3	4	3	1	4	3	3	4	2	0	0	0	3	3	1	2	2	
	B	1	1	0	0	1	0	1	3	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	
	D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	4	4	0	0	0	0	0	

* 製造業 その他： 家具・装備品製造業、印刷・同関連業、化学工業（医薬品除く）、プラスチック製品製造業、窯業・土木製品製造業、金属製品製造業、その他の製造業を含む

(付録-3 つづき)

環境配慮設計 のプロセス	環境配慮型 製品	製品 アクセスメント チェックリスト	LCA	DfEガイドライン				エコラベル			化学物質管理				
				ISO TR 14062	IEC Guide 114	EU EUP 指令	ライフ サイクル 設計	エコ ラベル	エコ マーク	エコ リーフ	EU RoHS 指令	J-MOSS (JIS C 0950)	REACH	GHS	PRTR

		開発・設計		営業他		開発・設計		営業他																	
情報通信業	認知度	A	1	1	3	3	1	1	3	3	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		B	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		C	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	3	1	1	2	2	2	2	1	2	1	2	1	
		D	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	2	1	2	
	実践度	A	1	1	3	3	1	1	3	3	3	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	
		B	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	
		C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		D	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	3	3	2	1	2	1	
運輸業	認知度	A	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		B	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	
		C	2	3	2	2	2	4	0	0	0	1	0	0	2	4	3	2	1	2	3	2	3	3	
		D	1	0	1	0	2	0	4	4	4	3	1	0	2	0	1	2	3	0	0	0	0	0	
	実践度	A	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	
		B	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		C	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		D	2	1	2	1	4	2	4	4	4	4	0	1	3	3	4	4	4	4	0	0	0	0	
卸売・小売業	卸売 (建設機械、 住宅関連機器)	認知度	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			C	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
			D	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
	小売 (各種商品)	認知度	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			C	0	0	0	1	1	3	1	1	1	2	1	0	3	4	4	3	5	6	4	4	4	4
			D	2	1	1	0	4	1	6	6	6	4	0	0	3	2	3	4	2	1	0	0	0	0
		実践度	A	3	4	4	5	1	2	0	0	0	0	5	5	0	1	0	0	0	1	4	4	4	
			B	2	2	2	2	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	3	1	3	1	1	
			C	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
			D	2	1	1	0	5	3	6	6	6	5	0	0	5	6	7	7	6	3	2	2	2	
金融・保険業	認知度	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		B	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		C	3	3	1	1	2	3	1	1	1	2	2	2	0	3	1	2	2	2	2	2	2		
		D	0	0	0	0	1	0	2	2	2	1	0	0	2	0	2	1	1	1	1	1	1		
	実践度	A	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		D	3	3	2	2	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
サービス業	認知度	A	2	2	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	3		
		B	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		C	1	2	1	1	2	4	0	0	0	2	2	4	4	1	0	0	0	1	1	1	1		
		D	3	2	3	2	2	2	6	6	6	4	2	2	2	5	6	6	6	3	2	2	2		
	実践度	A	2	2	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	3		
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		D	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	4	5	3	6	6	6	6	4	3	3	3	3	

(付録-3 つづき)

廃棄物ガバナンス	リサイクルガバナンス	環境リスクマネジメント	環境リスク管理	環境マネジメント、CSR			3R	リデュース	リユース	リサイクル	家電リサイクル法	自動車リサイクル法	容器包装リサイクル法	EU WEEE指令	地球温暖化			
				ISO14001	グリーン購入法	グリーン調達									CO2	地球温暖化	京都議定書	二酸化炭素排出権取引

情報通信業	認知度	A	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	1	3	3	2	1	
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	
		C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
		D	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	実践度	A	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	2	0	2	0	3	3	0	0	
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		D	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	1	3	0	0	2	2	
運輸業	認知度	A	0	0	1	2	2	2	0	3	4	4	4	4	1	1	1	0	4	3	1	1	
		B	0	0	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0	2	2	2	0	0	1	1	1	
		C	2	2	2	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	
		D	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	
	実践度	A	3	3	1	2	3	3	2	4	4	4	4	4	2	3	2	0	4	4	0	0	
		B	0	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		C	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	
		D	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	2	4	0	0	2	3	
卸売・小売業	認知度	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		C	2	2	3	3	0	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	
		D	1	1	0	0	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	3	2	2	2	2	
	実践度	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		B	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		C	0	0	1	1	2	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	
		D	3	3	2	2	1	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	
小売業 (各種商品)	認知度	A	5	5	5	5	7	5	4	4	6	6	6	6	3	3	4	0	5	5	3	2	
		B	1	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	2	2	2	0	2	2	1	0	
		C	0	0	1	1	0	1	1	2	1	1	1	0	2	2	1	4	0	0	3	4	
		D	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	
	実践度	A	4	4	5	4	7	5	4	7	5	5	6	5	6	5	2	6	0	6	6	2	1
		B	3	3	1	2	0	2	1	0	2	2	2	1	0	1	0	0	1	1	1	0	
		C	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	3	
		D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	5	0	0	1	3	
金融・保険業	認知度	A	0	0	1	1	2	0	0	3	2	2	2	2	0	0	0	0	3	3	1	0	
		B	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	2	1	0	0	1	0	
		C	1	1	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	2	1	2	1	0	0	1	3	
		D	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
	実践度	A	2	2	2	2	2	1	1	3	2	2	2	2	1	1	1	0	2	2	1	1	
		B	1	1	1	1	0	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		D	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	3	1	1	2	2	
サービス業	認知度	A	3	3	3	3	1	3	2	4	4	4	4	4	4	1	4	0	1	1	0	0	
		B	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
		C	1	1	1	1	3	1	2	0	1	1	1	1	1	3	0	1	3	3	1	4	
		D	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	5	2	2	4	2
	実践度	A	4	4	4	4	1	3	2	4	4	4	4	4	4	1	4	0	1	1	1	0	
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		C	1	1	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	
		D	1	1	1	1	2	3	3	2	2	2	2	2	2	5	2	6	2	5	5	5	

平成 17 年度 経済産業省委託 環境問題対策調査等委託費

循環型経営促進基盤整備事業
環境配慮設計普及状況基礎調査報告書

平成 18 年 3 月

財団法人 製造科学技術センター
東京都港区虎ノ門三丁目 1 1 番 1 5 号
TEL 03(5472)2561